中国都市芸能研究

第六輯

2007

中國城市戲曲研究

第六輯

Journal of the Japan Association for
Chinese Urban Performing Arts

No.6, 2007

中国都市芸能研究会

中國城市戲曲研究會

Published by
The Japan Association for Chinese Urban Performing Arts

ISSN 1347-6084

中国都市芸能研究　第六輯

発行日：　2007 年 12 月 25 日

編集：　© 中国都市芸能研究会（http://wagang.econ.hc.keio.ac.jp/~chengyan/）

デザイン・DTP：　電脳瓦崗寨（http://wagang.econ.hc.keio.ac.jp/）

発行人：　尾方敏裕

発行所：　株式会社好文出版

〒 162-0041　東京都新宿区早稲田鶴巻町 540　林ビル 3F

TEL：03-5273-2739　FAX：03-5273-2740

ISSN 1347-6084

中国都市芸能研究　第六輯

目　次

陝西省南部における道情皮影戯の分布と伝播

道情皮影戯在陝西省南部地區的分布與傳播……山下　一夫　4

拉戯はなぜ生まれたのか？——民国前期の音享受に関する一考察——

拉戯的出現——關於民國前期音響享受的考察……尾高　暁子　13

陝西皮影戯 2007 年度夏期現地調査報告

2007 年暑期陝西皮影戯實地考察報告 …… 37

2007 年夏期陝西現地調査の日程と概要

2007 年暑期陝西河南實地考察之日程與概要 ……氷上　正　38

2007 年夏期陝西皮影戯現地調査要録

2007 年暑期陝西皮影戯調査摘要 ……川　浩二・千田　大介・山下　一夫　42

北京潘家園所得芸能・映画資料目録　附：解説

北京潘家園所得戯曲、曲藝、電影資料目錄　附：解說……千田　大介　53

『劇説』校注　附：訳注稿 (4)…… 一

中国古典戯曲・伝統演劇関連文献の Web 公開について …… 36

中文提要…… 108

執筆者紹介 …… 109

中国都市芸能研究会 2006 年度活動記録 …… 110

陝西省南部における
道情皮影戯の分布と伝播

山下　一夫

＊　本稿は、日本学術振興会科学研究費・基盤研究Ｂ「近現代華北地域における伝統芸能文化の総合的研究」（2005～2007年度、課題番号：17320059、研究代表者：氷上正）による成果の一部である。

1. はじめに

中国に「道情」という芸能がある。おおまかにいって、「道教的な内容」の物語を「漁鼓」と「簡板」という楽器を用いて上演するというものだが、内容的には以下の三種類がある。

⑴韻文道情。道士が韻文を歌う一種の小曲である。講唱文学は一般的に、長短句による「楽曲系」と斉言句による「詩讃系」のどちらかに分類されるが、この韻文道情はその両方に跨っている。これは「道士が歌えば」、いわば何でもこの韻文道情というカテゴリーに入ってしまうので、他の講唱文学とはすこし扱いが異なってくるためである。実際、宋代には「鼓子詞と同じである」という記述があるが[1]、これはつまり「鼓子詞」を道教文脈で上演すれば「道情」になってしまう、ということを意味している。また、金元代には全真教の祖師たちがさかんに道情の創作を行い、全国を遊行して漁鼓と簡板を用いた上演をして回ったが、この二種の楽器を使うのは、おそらくこの頃から始まるものと思われる。なお、現在では全真教の道士たちによる上演は行われなくなっている。

⑵説唱道情。おそらく⑴から発展し、韻文と散文を交互に演ずる説唱芸能である。韓湘子故事・荘子嘆髑髏故事など、「道教的」な物語を行う。上演形式としては以下の二種類がある。(a) 上演者一人が唱う形式。上演者は道

[1]　宋・周密『武林舊事』巻七に以下のようにある。「後苑の小使いが三十人、息気を整えて道情を唱ったところ、陛下が言った。それは、張倫が撰したところの鼓子詞であろう、と。（後苑小廝兒三十人、打息氣唱道情。太上云、此是張倫所撰鼓子詞。）」

士ではないが、寺廟で上演が行われるなど、なお宗教的文脈を残す。漁鼓と簡板を用いる。(b) 一人が唱って数人が唱和する形式。上演者は、「経典」を参加者全員で「唱和」しているという感覚で行っているものと思われ、芸能というより、いわば民間信仰的な「宗教活動」であると考えられる。

⑶戯劇道情。漁鼓と簡板を用いる伝統演劇の一種。⑵から発展したものと思われるが、上演者はもはや「ただの芸人」であり、道教や民間信仰の担い手による「宗教活動」ではなくなっている。中国全土に様々な種類のものが存在しているが、⑵から受け継いだ漁鼓と簡板による上演というスタイルと、韓湘子故事・荘子嘆髑髏故事の演目とを持っていることが共通点としてあげられる。逆に言えば、この二つの要素を持つことは「道情」であることのメルクマールとなる。

さて、陝西省では、上に挙げた三つの中で言えば⑶に属する、道情による皮影戯（影絵芝居）が数種行われている。本論文は、うち調査を行った陝西省南部――「陝南」の状況について検討し、合わせて陝西省全体の皮影戯の分布と伝播について考えてみたいと思う。

2. 商洛道情

商洛道情皮影戯は、洛南県と商洛市の県境付近が中心地で、かつては商洛市（以前の商県）・洛南県・丹鳳県・鎮安県・山陽県・商南県・柞水県の、「地級」の商洛市の全域で行われていた。また、関中地区の臨潼にも流入し、関中臨潼道情皮影戯を形成している。

起源については、「白米虫」という人物を創始者とするという伝承が行われている。商洛の道情皮影戯芸人である李仁杰が「我知道的商県皮影戯」で述べているところによれば、以下の

通りとなる。

明末清初に、「白米虫」というあだ名の独り者の男性が（原籍が臨潼県回回道の人で、小さい頃から商洛の某所で道情皮影戯の上演を覚えた）、洛南と商県の境界にある薬子嶺一帯にやって来て居を構え、貧しい子供を何人か弟子に取り、繁忙期には農作業をし、普段は皮影戯の稽古をした。「白米の蒸し飯」が大好物だったので、現地の人々はかれを白米虫と呼んだのである。白米虫の皮影戯班ができたことで、現地の人々に無限の楽しみがもたらされ、上演地域も次第に広範囲になってゆき、洛南・商県の四方数十里の地では非常に人気となった。白米虫が亡くなった後、弟子たちはかれを薬子嶺に埋葬した[2]。

「明末清初」というのは、民間芸能がその起源を語る際によく行うレトリックなので、多少割り引いて考える必要はあるだろう。また「商洛の道情皮影戯」が、「商洛の某所で道情皮影戯の上演を覚えた人物」によって「創始された」とするのは矛盾する言い方であるが、おそらくこれは無理に商洛のオリジナルの芸能であるとしたいためにこうした表現になったものと思われる。重要なのは「白米虫」の原籍が「臨潼県回回道」であるという部分である。これについて、楊翰青の「談陝西皮影道情・介紹商県道情的源流」で、商洛の道情皮影戯芸人である李仁述が、父でやはり皮影戯芸人であった李興臣から聞いた話として紹介されているものでは、以下のようになっている。

商県の道情はすでに320年の歴史がある。明末の崇禎年間に、関中の「白米虫」というあだ名の人物が、商県にやって来て道情を伝えた（これ以前には老乱弾が唱われていた）。それから道情はこの土地に根を下ろし、発

[2] 明末清初，有个外号叫“白米虫”的单身汉（原属临潼县回回道人，从小即在商洛某地学会演唱道情皮影戏），飘落到洛南和商县交界的药子岭一带安了窝，又收了几个穷孩子为徒，忙时务农，平时学戏，由于他最爱吃“白米蒸饭”，所以当地群众都叫他白米虫。白米虫的皮影戏班成立后，给当地群众带来无限欢乐，演出地域也愈来愈广阔，在洛南、商县方园数十里地非常红火。白米虫去世后，他的徒弟们把他埋在药子岭。（李仁杰口述、段德功整理〈我知道的商县皮影戏〉，《商县文史资料》第四辑，1987年，106頁。）

展し始めた。この人物は現地で亡くなり、商県の東郷拌湯嶺路の側の川辺に埋葬された。以前は、道情芸人やあらゆる伝統演劇の芸人がここを通りかかると、焼香をして故人を偲んだものである[3]。

こちらではっきりと白米虫が関中からやってきて道情を伝えた、としている。なお、「崇禎年間」というのも「明末清初」と同様、あまり信用の置けるものとも思えず、民国期の芸人が焼香をしたというのだから、単に伝説上の人物というよりも、かれらと師弟関係の系譜が繋がる時代の人間と考えた方が自然だろう。そして、『中国戯曲志・陝西巻』「道情」には以下のように記述されている。

咸豊・同治年間（1851-1874）に、関中の臨潼行者村の道情芸人である白米虫が（米を食べるのが好きなため、「白米虫」と呼ばれた）、商県に南下し、小磨溝の王彦杰の祖父の家にやって来て、戯班を作って弟子を取った。これによって道情は商洛地区に流入した[4]。

実際、商洛で皮影戯の戯班が活動していたことが確認できるのは同治年間以降なので、白米虫の実際の生存年もおそらくその頃であろうと思われる[5]。いずれにしても、商洛道情はこのころ白米虫によって関中の臨潼から伝えられたものと思われる。

さて、商洛道情皮影戯で行われている演目について、前出の李仁杰は以下のように述べている。

皮影戯の伝統演目は、「空から飛んできて霧の中へ消え、天高く飛び地面の下を行く」といった類の神話的演目が多い。例えば、以下のようなものが挙げられる。

[3] 商县道情，已有三百二十年的历史，约在明末崇祯年间，有外号“白米虫”者，关中人，到商县传授道情（以前唱的老乱弹），从此道情在商地扎根生长发展起来。此人临终死于当地，埋葬于商县东乡拌汤岭路旁河边。过去道情艺人，以及所有戏曲艺人，路过至此，均焚香纪念。（杨翰青〈谈陕西皮影道情·介绍商县道情的源流〉，《陕西省第一届皮影、木偶戏观摩演出大会会刊》第9期，1956年，3頁。）

[4] 咸丰、同治年间（1851—1874），关中临潼行者村道情艺人白米虫（因爱吃大米，故名“白米虫”），还南往商县，以小磨沟王彦杰祖父家为基地，组班授徒，使道情传入商洛地区。（《中国戏曲志·陕西卷》，125頁。）

[5] 例えば、『中国戯曲志・陝西巻』では、同治七年に張天泰が始めたもののほか、幾つかの皮影戯班の名前が挙がっている。詳細は以下の通り。同治七年（1868），洛南桑岭兴办的张天泰班，历时较长，共经四代。除此，还有洛南灵口的张福海班，兑山的刘中喜班，保安的赵朝娃班、张西云班，永丰的谢德班，石门的樊虎娃班，及商县的李柯义、王彦杰、李兴臣、杨江湖、杨花蜡班等。光绪八年（1882），丹凤竹林关徐明启办的成顺班，后历徐崇福、徐盛荣等辈，先后相传五代，其艺术造诣及影响，久为民间所传颂。

『封神演義』劇の『陰門陣』『黄河陣』『七剣書』、『西遊記』劇の『白鼠洞』『毛臉羽』『火焔山』『黒水河』『通天河』、神鬼劇の『升天橋』『迂蓮橋』『定風珠』『韓湘子翹課』『杭州売薬』『八仙台』『漢天城』『五雷陣』『九源山』『蘭関山』『楊堂咬布袋』『挽芝山』『牡丹山』『罵閻王』『蛟龍駒』『閻岔山』、民間伝説の劇だと『三英図』『訪江南』『金鐘記』『訪蘇州』『百花庵』『征湖北』『騙馬記』『紅灯記』などがある[6]。

商洛道情皮影戯は、「神話的演目が多い」という点で、「道情」本来の「道教的要素」を残していると言える。特に『韓湘子翹課』などの韓湘子故事の演目を有しているというのは重要な点であろう。

音楽面については、2007年度の調査報告で概観したとおり[7]、「漁鼓と簡板」を使っており、なおかつメインの唱い手に対して他の上演者たちが和する、「幇腔」を行っていることが観察される。「幇腔」は弋陽腔系演劇などにも認められる要素であるが、道情のそれは説唱段階における参加者の「唱和」に由来しているものと思われる。

3. 安康道情

安康道情は、安康市の安康市・洵陽県・白河県を中心に、漢中市や関中地区でも行われ、さらにかつては四川省北部地域などにも流入していた。

起源については、商洛における白米虫に似て、「頼世魁」なる人物によって創始されたという伝承が行われている。前出の楊翰青は以下のように述べている。

安康道情の老芸人である唐全理・劉金有が先人たちから伝えられた話によると、二百年前には安康の皮影戯も

[6] 皮影戏的传统剧目多为空里来、雾里去、天上飞、地下行的一些神话剧目。如：封神戏里的“阴门阵”、“黄河阵”、“七剑书”；西游戏中的“白鼠洞”、“毛脸羽”、“火焰山”、“黑水河”、“通天河”；神鬼戏里的“升天桥”、“迂莲桥”、“定风珠”、“韩湘子逃学”、“杭州卖药”、“八仙台”、“汉天城”、“五雷阵”、“九源山”、“兰关山”、“杨堂咬布袋”、“挽芝山”、“牡丹山”、“骂阎王”、“蛟龙驹”、“阎岔山”；民间风情戏“三英图”、“访江南”、“金钟记”、“访苏州”、“百花庵”、“征湖北”、“骗马记”、“红灯记”等。(李仁杰前揭論文、110頁。)

[7] 「2007年夏期皮影戯調査概要」(本誌所収) 参照。

碗碗腔だったが、頼世魁の皮影戯班から道情に変わったのだという。頼先生は安康八区奈家湾の人で、何種類かの腔調を演じることができ、人戯の役者の出身であった。当時、かれが率いる道情皮影戯班のメンバーは全員頼家の同族子弟であったが、かれ以降安康には道情の種子が伝えられ、現在に至るまで五世代二百年の歴史を持つ[8]。

「二百年」という言葉を信じれば乾隆末年のこととなるが、「五世代」だとするともう少し時代は下り、商洛と同様に同治年間ごろのものとなるはずである。現在行われている碗碗腔皮影戯と同じものなのかどうかは検討の余地があるにしても、道情が碗碗腔に取って代わったというのは注目すべき記述だと思われる。また、黄笙聞は以下のように述べている。

万暦年間に安康には頼世魁の著名な戯班があった。すなわちこの頃には、（道情が）皮影の形式で陝西省南部や陝西省北部に伝わり、様々な流派を形成し始めていたのだといえる。…各地の皮影戯で言えば、関中地域が根拠地で、安康や商洛はいずれも秦嶺を越えてこれが直接南に伝わっていったものである[9]。

「万暦年間」という記述ももとより信ずるには足りない。むしろここでは、関中の道情が安康に伝わった、ということが重要であろう。先ほど見た記事と合わせれば、商洛と安康の道情皮影戯はいずれも関中地域から、おそらく同治年間ごろに伝わって現地化したものだということになる。一つの劇種を単一の人間が「創始」したとは考えづらいが、少なくとも当該地域にその劇種を持ち込んだキーパーソンが存在したことは確かだろう。それが、商洛では白米虫、安康においては頼世魁であっ

[8] 据安康道情老艺人唐全理、刘金有等根据先辈传说，在二百年前时，安康的皮影，还是碗碗腔，自赖世魁领皮影班始改为道情。赖先生是安康八区奈家湾人，会几种腔调，是大舞台演员出身。那时他领的皮影道腔班所有一切人员均系赖家同族子弟，从此安康传下了道情种子，于今五代已有二百年的历史。（杨翰青前揭論文、4頁。）

[9] 万历年间就有安康赖世魁的著名戏班。自然在此前后，也就以皮影形式相继传遍陕南、陕北，开始形成各个流派。…若按路线划分，当以关中为基地，安康、商洛都属逾秦岭直接南传。（黄笙闻〈陕西道情戏〉，李汉飞编《中国戏曲剧种手册》，中国戏剧出版社，1987年，200頁。）

たものと思われる。

さて、安康道情皮影戯の演目について、『中国戯曲曲芸詞典』では以下のように述べられている。

> 演目は四、五百存在し、秦腔や漢調二黄、漢調桄桄の常演演目とほぼ同じである[10]。

また、『中国戯曲志・陝西巻』では以下のように言う。

> 伝統的な演目は千二百あまりあり、多くは歴史物語に取材した劇や民間説話による劇で、神仙道化を題材とする劇は多くはない。演目の特徴としては、本戯が多く、折戯は少ないという点にある。『粉妝楼』『文天祥』など、十何日も上演可能な連台本戯もある。文戯は歌に重点があり、韻文はきらびやかで美しく、また武戯は上演技術に重点がある。常演演目に、『大鬧紅灯』『広寒図』『荊釵記』『五侯山』『六巧図』『雄黄剣』『反冀州』『黄花舗』『筆硯仇』『快活林』『盤蛇山』『張良売布』などがある[11]。

2006年度の調査報告で述べたように[12]、音楽面では商洛と同様に「漁鼓と簡板」を使い「幇腔」を行うのだが、演目は伝播の過程で秦腔・漢調二黄・漢調桄桄などの影響を受けたのか、「神話的」なものは少なくなっており、商洛とはあまり重ならない。特に韓湘子故事が常演演目の中に見あたらないことは注意が必要であろう。自らが「道情」であるといういわば「証拠」の一つを、安康道情は失ってしまっているのである。

4. 陝西省の皮影戯

さて、陝西省の皮影戯は、地域で分けるとおおよそ以下のよ

[10] 剧目约有四、五百个，大都与秦腔、汉调二黄、汉调桄桄常演剧目相同。(《中国戏曲曲艺词典》，上海辞书出版社，1981年，236頁。)

[11] 传统剧目有一千二百余本，多为历史故事戏和民间故事戏，神仙道化题材戏不多。剧目特点是：本戏多，折戏少，还有连台本戏《粉妆楼》、《文天祥》等，可演十几天。文戏重唱工，词藻秀丽，武戏重表演技巧。常演剧目有《大闹红灯》、《广寒图》、《荆钗记》、《五侯山》、《六巧图》、《雄黄剑》、《反冀州》、《黄花铺》、《笔砚仇》、《快活林》、《盘蛇山》、《张良卖布》等

[12]「2006年夏期皮影戯木偶戯現地調査要録」(『中国都市芸能研究』第五輯、2006年）参照。

うな分布となっている。

陝北：陝北道情
関中：碗碗腔、華県老腔、阿宮腔、弦板腔、秦腔
西部：灯盞頭碗碗腔、隴東道情
漢中：灯影腔
南部：安康道情、商洛道情、漢調二黄

道情皮影戯は、安康道情と商洛道情のほか、さらに陝北道情と隴東道情が存在するが、前者は山西省および甘粛省から流入したもの、後者は甘粛省から流入したもので、いわば「外来種」である。

関中で行われている皮影戯のうち、分布が最も広範囲に亘るのは碗碗腔であり、その範囲は、西部にまで延びて灯盞頭碗碗腔まで及んでいる。碗碗腔は「西路秦腔」の別名があり、おそらく（やや古い）秦腔の亜種の類であろうと想定される。安康で道情が行われる以前に碗碗腔が行われていたというのが事実とすれば、その伝播は一度だけに留まらず、何度かの波があったものとも考えられるが、現在行われているのは基本的には光緒年間に爆発的な流行を見て各地に定着したものと考えられる（こうした状況は、隣の山西省においても同様である）。

また、阿宮腔は「北路秦腔」の別名があり、やはり秦腔の亜種の一つと見なしうる劇種だが、注目すべきはその形成過程で道情皮影戯の影響を受けたと言われていることである。商洛道情も安康道情も関中から伝わったことを考え合わせれば、現在では行われていないが、かつては関中に広範囲に道情皮影戯が存在していたことが想定されるのである。それが、その上に新興の碗碗腔と秦腔の波が被って消滅してしまったのであろう。これに対して、商洛や安康は山間部であったために、古い層である道情が残ったものと考えられる。

しかし、関中から完全に道情皮影戯がなくなってしまったという訳ではない。幇腔という点で言えば、関中の多数の皮影戯の中で、弦板腔が唯一幇腔を用いた上演を行っている。弦板腔も清末に出現した新興の皮影戯で、阿宮腔と同様に形成過程で道情の影響を受けたとされているが、秦腔の一種とは見なされておらず、位置づけが難しい劇種である。幇腔という点で考えれば、弦板腔こそはかつて行われていた関中道情皮影の生き残りで、「漁鼓と簡板」も「韓湘子故事」も捨ててしまって新劇種となったものと言えるのではないだろうか。

5. おわりに

華県の老腔は、その名が示すとおり碗碗腔の流行を見る前から存在していた比較的古い皮影戯である。おそらく地理的な要因もあって古層が残存したものであろう。そうすると、非常に雑多に見える陝西省の多数の皮影戯は、既存の「道情皮影」と「華県老腔」の上に、秦腔系「レイヤー」が重なったもの、というように整理して考えることができるのではないだろうか。すなわち、一つには「碗碗腔」の爆発的拡大を生み、もう一つには秦腔系を元に「道情皮影」の影響を受けた「阿宮腔」や、「道情皮影」が「非道情化」した「弦板腔」などを生むという段階を経ることで、現在の分布が成立していったものと考えられるのである。

そうすると今度は、その秦腔系「レイヤー」が一体どこから来て、人戯の秦腔とどういう関係を持つものであるのかということが問題になってくるが、これについては今後の課題としたいと思う。

拉戯はなぜ生まれたのか？

――民国前期の音享受に関する一考察――

尾高　暁子

＊　本稿は、日本学術振興会科学研究費・基盤研究Ｂ「近現代華北地域における伝統芸能文化の総合的研究」（2005～2007年度、課題番号：17320059、研究代表者：氷上正）による成果の一部である。

１．はじめに

拉戯とは、京劇をメインとする伝統劇の歌やせりふを、擦弦楽器で肉声そっくりに模倣する芸能である。実際には模倣の対象は伝統劇とはかぎらず、語り物や民謡、鳥や獣の鳴き声、他の楽器音にいたるまで、あらゆる音響をふくんだ。21世紀の今日ではごく一部の地域に名残をみるにすぎないが、1920-30年代には中国の都市部を中心に一世を風靡した。ことに上海では寄席芸としてのみならず、アマチュア組織が催す同楽会や遊芸会でおなじみの演目であった。こうした席ではプロの芸人にも声がかかったが、プロはだしの腕前で喝采をあびるアマチュアもいたのである。当時の上海では、娯楽は現代人が想像する以上に重要な社会的役割を期待されていた。アマチュア組織は娯楽を介して成員の親睦を促し、彼らが頻繁に開催する募金目的の遊芸会では、多くの観客を動員する力を求めた。こうした切実な目的のために多彩なプログラムが準備されたが、そこには爛熟期にあった京劇や、これに付随する諸芸能ももちろん含まれた。拉戯もその一つである。

拉戯の奏者は芝居の唱腔を行当や流派の違いに応じてひきわけ、場合によっては伴奏まで一人でこなす。それもたった一挺の擦弦楽器を用いてである。また世界広しとはいえ、擦弦楽器で多様な音響をここまで徹底的に模倣する芸能は、おそらく他に例をみない[1]。国楽大師と称される劉天華も1922年に北京で三弦拉戯を学び、自身の二胡作品の創作の糧としたといわれ

[1]　アフリカのサバンナ地帯にも、楽器音で語りを模倣する太鼓ことばや笛ことばが発展し、日常会話から歴史物語までを表現する［川田1988: 35］。同地帯も声調言語を用いるので、言語習慣と楽器音の表現方法との関連性を指摘する者もある［Hughes 2000］［Tsukada 1995］。しかし拉戯ほど模倣対象が広く徹底した表現は、おそらく他地域に例をみない。

る[2]。拉戯の芸態は劉にとっても注目にあたいする存在だったのだろう。

しかし拉戯はそのマイナーさゆえに、これまで考察の対象にはならなかった。第一に、拉戯は芝居の人気に便乗した「物まね芸」であること。民国期には他にも戯謎相声（芝居をネタにする漫才）や双簧（一種の二人羽織、しばしば芝居ネタで笑いをとる）など、芝居と一蓮托生の諸芸能が流行したが、いずれも二次的な芸として消え去る運命をたどった。第二に、拉戯は言葉をともなわない音真似であること。このため語り物でもなく器楽とも呼べない雑芸として、位置づけは曖昧であった。第三に、拉戯の担い手の多くが貧しい盲目の芸人であったこと。社会の底辺から生まれた際物的な芸能として、まっとうな芸術を相手にする者からは冷ややかな視線をあびがちであった。このため拉戯芸人の活動記録もきわめて乏しいのである。

本稿はこの拉戯にあらためて目を向け、拉戯の生成をとおして当時の伝統芸能の状況をふりかえり、民国前期における音文化の動態をさぐる。最初に楽器音による模倣芸の系譜を俯瞰してから、拉戯生成の経過を整理する。ついで拉戯隆盛の拠点であった上海のアマチュア組織が諸活動で拉戯をどう享受したか確認する。対象とする時期は、拉戯が出現する 1920 年ごろからブームが下火となる 1930 年代半ばまでとし、おもに『申報』本埠増刊版の団体消息記事から、主要な拉戯芸人と市民活動の足跡に光をあてる。あわせてこの特異な芸能が急激な発展をとげた背景について、基本的な検討を加えたい。

2　咔戯・吹戯・吹唱
——気鳴楽器による模倣芸の系譜

拉戯について記述する前段階として、ここではまず中国で発展した楽器音による模倣芸の系譜を概観する。中国の民間芸能では、楽器音による模倣芸は二つに大別される。

[2] 劉天華は、1922 年北京大学音楽伝習所講師として北京に赴任した。その後、京劇や大鼓、三弦拉戯を学んだ [劉 1997: 239]。通説では鳥の囀りを模倣する二胡曲「空山鳥語」は、拉戯の技法をもとに作られたという。ただし同曲の初稿は 1918 年にすでに存在し、来京後の学習が直接影響を及ぼしたのかは不詳。

第一が咔戯・吹戯・吹唱などとよばれるタイプで、嗩吶や管子などダブルリードの気鳴楽器で主奏し、打奏楽器群や擦弦楽器をともなう。現在の分布地域は山東、山西、河南、河北、遼寧など北方各地にまたがるが、遼寧省（とくに大連）には山東省から伝播したと考えられるため、実質的な中心は華北一帯といえるだろう。同地域に共通するのは、嗩吶の故郷とよばれる山東省をはじめ、ダブルリード楽器の根拠地であることと、ダブルリード楽器で主奏するアンサンブルが、冠婚葬祭や年中行事に欠かせないことだ。

咔戯を『中国音楽詞典』は次のように説明する（以下ブラケット [　] 内は筆者の補）。

> 咔戯、[中国] 北方民間器楽の演奏形式。口哨 [ダブルリードの意] あるいは咔哨と声を一緒に発音して人声を模倣し、よく知られた伝統劇の唱段を演奏する。咔哨は普通の嗩吶のリードと同じだがやや大ぶりで柔らかく、3 センチ前後の侵子（先が少しすぼまった銅製の管 [いわゆるオーボエ属のステープル]）に差し込んで吹く。演奏者は模倣する旋律の種類によって、瓢箪や牛角で作った咔碗 [一種の拡声器] や銅製のラッパ碗のどちらかを選び、異なるノイズを加えて歌の旋律を奏する。また咔哨と海笛 [嗩吶の一種] と普通の口哨を順番に演奏し、異なる人物の交互唱を表現したり、テンポを速めて高揚した雰囲気を演出する [中国芸術研究院音楽研究所 1985: 205-206]。

以上は咔戯の平均像で、実態は地域ごとに異なる。咔戯は慶弔時に鼓楽や吹打演奏者の重要なレパートリーであり、儀礼の転換時によく演奏される。たとえば山西省潞城市賈村で三日間にわたって催される賽社儀礼では、二日目の後半と三日目の最

後に吹戯を上演する。これによって、神を楽しませる前半から人を楽しませる後半への転換があきらかになる。同地では楽戸[3]が嗩吶、咔碗、糜子、笙で、地元の上党梆子、上党落子、秧歌、鼓書など各種の伝統音楽を奏する。伝統劇の吹戯では、生旦浄丑の役柄を表現しわけると同時に、伴奏楽器の音響まで本物さながらに模倣する[4]。

嗩吶の郷、山東省の魯西南鼓吹楽も咔戯の宝庫である。嗩吶隊（嗩吶、笙、打奏楽器で構成）は葬礼や祖先儀礼、廟会、元宵節に不可欠だ。鼓吹楽のレパートリーは俗曲小令と高度な演奏技巧を披瀝する曲牌、咔戯の主要3部分から成り、この他に流行歌も含む。これら3要素を儀礼の目的ごとに対比的に使いわける。咔戯で豫劇や棗梆、二夾など地元の伝統劇を模倣するときには、奏者は技巧を駆使して各人の得意演目をたっぷり演奏し、観衆を大いに喜ばせるという [楊 2007: 86-87]。

二百年以上の歴史をもつ河北の吹歌は、主要演目の伝統曲牌と咔戯の2部からなる。咔戯では各種のダブルリード楽器で河北梆子や豫劇の旋律を演奏する。その際に俳優の裏声と地声の別や、明るい旋律と哭腔（梆子系統に独特な悲壮感ただよう旋律系統）の違いも吹きわける。河北には咔戯から嗩吶の独奏曲に転じた民間楽曲の「打棗」がある。これは河北梆子「趙連代借閨女」を民間芸人が咔戯にアレンジし、それを現代の民族器楽奏者が嗩吶用に編曲したものである。本来の咔戯版は大小嗩吶と把攥子（俗称を咔戯）、口弦（口琴）、笙、笛、管子、打楽器群からなり、実に特異な編成をもつ。演奏時には、人声を模倣するために鼻音を交え、あるいは口に含んだリードの音響を咔碗という拡声器で拡大するなど、音質を変化させるために様々な工夫がこらされる [朱 2004: 53-55] [5]。

[3] 山西省だけに残る、宮廷の命により音楽を演奏した奴隷階級者の子孫。漢代以来太常寺の管轄に置かれ規範化が進んだため、今日までの伝承過程で変動の幅が非常に小さいと考えられている。現在は上掲の儀礼楽の中心的な担い手である。[項 2001] ほか。

[4] 以上の内容については次のサイトを参照した。山西賽社與楽戸文化国際学術研討会：潞城市賈村両天半賽社儀式内容簡介 http://www.nuoxi.com/display.asp?cate=&id=483

[5] 他に下記サイトを参照した。「世代相伝的吹歌」http://oldpages.hebnews.cn/20021018/ca190352.htm (2002-11-22 15:25:40)

3　弾戯、拉戯――弦鳴楽器による模倣芸の系譜

3-1 三弦弾戯

拉戯は小三弦を弾奏する模倣芸、三弦弾戯を前身とする。清代末期の都市部では、男女 3、4 人一組の盲芸人が三弦を演奏して街をめぐるようになった。中でもずば抜けた腕前で知られたのが北京の王玉峰である。彼は得意な歌と胡弓を生業としたが、本来の身分は清朝に仕えた漢軍正黄旗人だったので、八国連合軍による北京侵略では、彼らの前で歌うことを潔しとしなかったという。その後は三弦を専門とし、譚鑫培や龔雲甫ら京劇の名優が歌う旋律を三弦で模倣することを思いついた。王は三弦一挺であらゆる芝居、あらゆる音響を再現できた。それは殆ど神がかりの域に達していたという。清末民国初期の文人、楊寿楠は『覚花寮雑記』の中で王玉峰の優れた技芸を描写し、京劇の唱腔から戦場の叫喚にいたるまで、真に迫った描写力だと絶賛した[6]。天橋に出演した当時、毎回観客の数は五六百人に達したという。また《梁渓類稿》によれば、彼は箏、琵琶、簫、管などいずれにも通じ、ことに三弦は比肩するものがなかった。王玉峰の三弦弾戯は、北方では盧成科 (天津 1903-1953) らによってひき継がれ、南方では、民国初期に上海に進出した後に弟子とした邱聘卿に受け継がれた [陳 1981] [張 1988: 129-130]。

3-2 三弦拉戯

三弦拉戯とは三弦の第三弦、つまり一番高音の弦を胡弓の弓で擦奏する演芸である。誰が本当の創始者なのかは断定しにくいものの、上海で三弦拉戯の人気を長年支えたのは、二人の盲芸人、邱聘卿と沈易書であった。

邱聘卿は上述の王玉峰に師事し、三弦弾戯を学ぶ過程で擦弦の三弦拉戯を考案した。王玉峰が北京からもたらした三弦弾戯は、たった一挺で森羅万象を表現する点が醍醐味であった。邱

[6] 王玉峰の卓越した技量を『覚花寮雑記』は以下のとおり記す：光宣之間，京師王玉峰弾三弦，号絶技。余秋夜觴客招之奏技。先倣梨園皮簧諸劇，譚鑫培之須生，王瑶卿之青衣，金秀山之黒頭 (俗呼外曰須生，旦曰青衣，浄曰黒頭)，行腔使調，無不逼肖。次作僧寺梵唱，鐃鈸鐘魚，一時併作。復為蒿里之歌，其声凄清，如古峡猿啼，秋空雁唳。最後作戦場声，刀剣磨撞，万馬蹴踏，征鼙殷地，哀角横秋，令人神魄惊悚，衆音繁会之時，忽裂帛一声，駘然遽止。

聘卿は弾奏から擦奏に奏法は変化させたが、三弦一挺で演奏するスタイルは踏襲したので、邱の拉戯は北方拉戯と称された。上海の日刊紙『申報』の遊芸広告欄によれば、1920年4月19日の初出演いらい、邱は新世界の常連として活躍し、1920年代なかばに人気のピークを迎えたが、1930年代に入ると広告欄への掲載がめっきり減る。1932年に新新屋頂花園に出演後は、上海技芸芸員総連合会遊芸一覧表（以後「一覧表」）、つまり地元上海の各種寄席芸人の営業用リストに名をつらねるのみで、遊芸場への出番はあまりなかった可能性が高い。1936年から37年にかけて、同表に「邱聘卿、拉戯加唱崩崩戯」という文句が見える。そのころ人気上昇中の崩崩戯（のちの評劇）をとりいれ、人気挽回をはかったことが窺われる。

上海拉戯界のもう一人の大物、沈易書は、占い師から拉戯芸人に転身した人物である。彼の芸風は南方拉戯とよばれ、京胡、月琴、鼓板の伴奏をともなった。この編成は明らかに京劇の伴奏音楽を模倣したものである。沈にかぎらず、上海蘇州一帯の三弦拉戯では、ほんらい京劇が演目の圧倒的多数を占めたもようである。沈易書は1920年9月から新世界に登場し[7]、一足先に出演し始めた邱聘卿をおさえて、いきなり番組表の中央に名前を刻んだ。それ以来彼も邱聘卿とともに新世界の常連となる。人気絶頂の1925-26年には、新世界は申報紙上で沈易書の単独広告すら掲載した[8]。この当時、アマチュア主催の遊芸会でも客演依頼を頻繁にうけていた。しかし1928年ともなると彼の人気にも翳りがみえ、一覧表に「南方拉戯沈易書、四班合演（戯謎相声、童子武術、中西戯法の三種と抱き合わせで出演する、という意味）」との宣伝文句が読み取れる。同年の一覧表では「南方拉戯沈易書、全班場面各派生旦洋操小曲電灯檯面。蒙貴府相邀…」との記載もあり、京劇各派の生旦ほか劇の唱段のほかに、流行歌などもレパートリーに加え、個人宅での演奏依頼が入るのを待っていたことがわかる。1930年代には

[7] 『申報』1920,9.1

[8] たとえば『申報』1926,3,12本埠増刊（二）には、以下の広告文が載った：「北部自由庁日四点五十分起夜九点五十分起由大芸術家沈易書三弦拉戯一時生旦浄丑南北名劇以及時新小調鑼鼓弦索唯不唯妙肖極指法撥捺之能事誠拉戯中之傑出才也」。一晩二回の公演、多彩な演目、拉戯界の傑出した大芸術家などの記載が、ドル箱芸人としてのステイタスの高さを物語る。

大世界の小一層に出演の場を移すが、1934 年以降、少なくとも申報紙上では沈の名を全く見かけなくなった。

沈と邱をのぞくと三弦拉戯の出演者は極めて少ない。拉戯全盛期に一時だけ現われのが、蘇州の王春普 [9] や吉評三 [10] である。ただし出演期間は短く、吉は 1927 年以降に戯謎相声へと転じた。なお演目表では出演者名を記さず「拉戯」とだけ記載する場合があり、それが三弦拉戯か他の拉戯なのかは不詳である。いずれにしても沈と邱を凌ぐ者が結局現れなかった、というのが実態だろう。

[9] 『申報』1924,7,20 十七頁（第五版）。大世界の広告欄で、新たに加わる新遊芸として、楊春山の十様巧耍、栄旺亭の盲唖双簧とともに紹介された。王春普は蘇州で単弦拉戯を考案した顧伯年（後述）の師匠である。

[10] 『申報』1924,10,7　本埠増刊（二）「拉戯偶記」によると、吉は「能京劇時曲大鼓軍楽」とあり、伝統音楽以外にブラスバンドをレパートリーに加えたことがわかる。

3-3 二弦（擂琴）拉戯

3-3-1 “絲弦大王”王殿玉

上海を拠点とした沈易書や邱聘卿らに対して、天津を本拠地として全国で活躍したのが王殿玉（1899-1964）である。山東省鄆城の貧しい農家に生まれた彼は、8 歳で天然痘にかかり両眼を失明する不幸にみまわれた。しかし逆境にもめげず 9 歳で三弦の師匠につき語り物「瞎腔」の修業にはげんだ。恵まれた天分とずば抜けた勤勉さで、王はそれからも古箏、四胡、楊琴、墜琴など多くの楽器をものにする。鄆城一帯は山東屈指の音楽郷として知られ、箏曲山東派の中心地でもある [11]。王の音楽的な感性に郷土の環境はおそらく大きな影響を及ぼしたことだろう。

[11] [成 1993: 9] によれば、伝統的な山東派は魯西南の菏沢地区と魯西の聊城地区に伝承され，ことに菏沢地区の鄆城と鄄城一帯は“鄆鄄箏琴之郷”と謳われる。

15 歳の時、二挟弦戯班づきの墜琴奏者となってから、劇団と各地を転々とする生活が始まった。やがて自分で改良した二弦で拉戯を演奏し頭角をあらわす。1930-40 年代には、北京・天津・上海・武漢ほかをめぐり圧倒的な人気を獲得した。観客は彼を「絲弦聖手」や「絲弦大王」とよび、どんな音響でも模倣してしまう絶技に驚嘆したのである。1920 年代初めに、初めて山東から上海に登場したときは、彼もまだ駆け出しでレパートリーこそ少なかったが、京劇の唱段はいずれも真に迫り、語り物の大鼓「藍橋会」では完璧さで聴衆を圧倒した。このと

き王殿玉の登場があまりにセンセーショナルだったので、沈易書も脱帽したという [陳正生 2004]。その後も数年おきに上海の遊芸場に出演し、1924 年には大世界の招きで京劇「機房教子」と莉花大鼓の「独占花魁」、小調「孟姜女」を披露した。このときも新聞は、沈・邱と人気を二分する実力ありと称えた [12]。1932 年 1 月には、上海出演第三回目として先施楽園に登場した [13]。

王殿玉が生涯に開拓した演目ははば広い。その筆頭が京劇の梅・程・譚・馬・余各派の唱段で、つぎに評劇・河北梆子・河南豫劇における著名な俳優の唱段を得意とした。また灘簧・京韻大鼓・河南墜子・山東大鼓などの語り物音楽や、民間の小調、映画の挿入歌、笙管合奏や打楽器の音声、はては犬や鶏の鳴き声や生活音にいたるまで巧みに再現した。1951 年に天津に定住した後、王は源信曲芸団に加わり中国音楽家協会会員となる。1950 年代初めに二弦の名称を擂琴と改め、それまで単に「拉戯」と呼ばれた芸能も、1958 年に天津で「擂琴拉戯」に改称された。王殿玉の継承者が育ち新演目の創作が進んだ天津では、擂琴拉戯が今でも代表的芸能と位置づけられている。

なお 1950 年代に擂／雷琴と命名した理由については、なぜか記録が見当たらず、擂／雷のいずれが正式かも定かではない。雷も擂（「太鼓を打つ」の意）も、擦弦楽器には似つかわしくない大音響を連想させる。おそらく王殿玉にとって、音量の増強は改良の重要なポイントだったので、首尾よく目的を達した自信をこめて擂／雷の字をあてたのだろう。

3-3-2 小三弦から擂琴への改変

王殿玉が擂琴（以下「擂琴」に統一）を改良した前後の状況はどうだったのか。王は山東にいた 20 歳ごろから拉戯に専念し、はじめは墜琴で地元の民謡や地方劇の唱腔を演奏したらしい。その間に、多様な音響を真に迫って演奏したいという欲求にかられて、墜琴の改良に着手した [14]。墜琴は墜子ともよば

[12]『申報』1924,3,28　本埠増刊二頁掲載の「拉戯偶誌」（ペンネーム野樵の記名原稿）中に以下の記載がある：滬上拉戯能手、有沈易書、邱聘卿等。易書為南派名家、邱則為北派之健将、現大世界又聘得拉戯名手王殿玉、其芸亦甚不弱、可與沈邱分庭抗礼、前夕殿玉奏「機房教子」生旦並挙、字句清晰、頗覚悦耳、続奏莉花大鼓之「独占花魁」音韻娓婉、曲尽其妙、其拉出之音浪、酷似劉大愛之腔調、故聴者采声不絶、施又奏小調「孟姜女」亦甚動聴、苛能再従芸術上研求、則進歩詎可限量哉。

[13]『申報』1932,1,1　本埠増刊（五）参照。

[14] 王殿玉は楽器の改良にとどまらず、多様な音声を模倣しやすい独自の指法や技巧も開発した [劉 1987: 262]

れる二弦の擦弦楽器で、河南省各地に分布する語り物「墜子書」の主要伴奏楽器である。長めの棹を生かした幅広いポルタメントを特徴とし、語り手の歌の旋律にそったオブリガードも巧みである。墜子書の伴奏者は、墜子を演奏しながら脚につけた響板を打ち合わせてリズムを刻む。

実は墜琴も1900年代初めに小三弦をもとに改良された楽器である。「河南墜子書」は、河南の語り物音楽「道情」と「穎歌柳」の芸人が、清末から共演を繰りかえした結果、融合した芸能である。もともと「穎歌柳」の伴奏には小三弦と太鼓をもちいた。その小三弦を基本的な構造や各部位の形状は保ったまま、三弦を二弦とし、共鳴胴の表裏に張った蛇皮を薄い桐板にかえたのである。表板には響孔はなく裏板に透かし彫りを施す。小三弦から墜琴への最大の変化は、撥弦から擦弦へと奏法を変えたことである。これによって伴奏の旋律が変化したばかりでなく、演唱の旋律にまで影響を及ぼしたといわれる。現行楽器の全長は90-95センチ程度で、小三弦の平均全長96センチよりやや短い。これに対して共鳴胴は小三弦より小型なので、比率からすると棹が小三弦より長めである。弓毛は現代の二胡とおなじく両弦の間に挟まれる。音域は約2オクターブ半、四度調弦である[劉東升 1992: 245]。

小三弦から墜琴への転換はその後の語り物芸人に一つの指針を与えた。1920年代には河南曲劇の芸人達が、小三弦をもとに共鳴胴を円筒状に変えた二弦の擦弦楽器を考案した。これを墜胡（俗に曲胡や二弦ともよばれる）という。全長は約90センチで小三弦より短めである。共鳴胴の素材は銅製か紅木製で、形状は円筒か八角形の2種類がある。墜琴との違いは、共鳴胴の表側に大蛇の皮をはり、裏側に透かし彫りのある板を張る点である。筒長8センチに対して直径が11センチと、他の胡弓類にくらべて筒長がかなり短い。音域は2オクターブ半、四度調弦（ラ―レ[1]）、澄んで柔らかい音色をもつ。墜胡は河南曲

劇や豫劇、山東呂劇、山東琴書などの伴奏楽器として現在も幅広く演奏される [劉東升 1992: 245]。

王殿玉の擂琴はこの墜胡をもとに 1920 年代末に考案された。1920 年代末、すでに山東にも伝播した墜胡を、王が擂琴作成の参考にしたと考えるのが妥当だろう [劉 1992: 245][15]。擂琴と墜胡の形や材質、構造は大同小異である。ただし擂琴の共鳴胴は円筒形を定番とし、墜胡より一回り大きい。また背面を中空のまま開放したので音量が増し、張りと伸びのある音色を得た。調弦は五度か四度、音域は 3 オクターブ半にわたり、墜琴や墜胡より 1 オクターブ広い。擂琴には大小 2 種類がある。小擂琴の全長は約 90 センチ、大擂琴は 110-113 センチである。前者は絹弦をはり後者はスチール弦を張る。今日天津を中心とする伝承地域では、拉戯といえば大擂拉戯をさす。

[15] [劉 1987: 262] は墜琴をもとに改良したと述べ、墜胡をもととする [劉 1992:245] と食い違う。ここでは刊行年の新しい後者に従う。

3-4 単弦拉戯

単弦拉戯は名前のとおり単弦を擦奏する。創始者は顧伯年（1904-1971）といわれる [16]。

蘇州生まれの顧伯年は、幼いころ蘇州栄和堂科班京劇小班で修業し、また旧式のマジック [17] も学んだ。1922 年から三弦拉戯の芸人、王春普に弟子入りし、やがて三弦を単弦にかえた独自の拉戯を打ち出した。その後に蘇州をはなれ、雑技や魔術もみせる大道芸人となったが、漂泊生活はことのほか苦しく一家は辛酸をなめる。この間に息子の耀宗（1931-）は 7 歳を迎え、父の助手をつとめ始めた。父は仕事の合間に読み書きと京劇の唱段を教えたという。一家は 1941 年には放浪生活に終止符を打ち、伯年は故郷の蘇州にもどると知人と京劇団をたちあげた。堂会や廟会で薄謝を稼ぎ生計を支えるためである。伯年は息子が 13 歳になると京胡を教え、自身が単絃拉戯を演奏する際に伴奏をさせた。耀宗は当時をふりかえり、「各唱段を上手に演奏するには、まずきちんと歌える必要がある。音楽の記憶を心から口へ、口から手へと自身の身体の中で移し変えて行

[16] 以下顧伯年と顧耀宗については、[劉志斌 2003] と [武漢説唱団 1998] を参照した。

[17] 原文は古彩戯法。

くことが、拉戯の修業だった」と述懐している。

伯年は解放前に、蘇州、杭州、安慶、漢口、吉林など諸都市をめぐった。1946 年には東北の中山倶楽部の招聘を受けて単身東北に赴き、京劇の楽師となった。さらに吉林省の人民解放軍東北線政治部宣伝隊京劇団に所属、同団の楽師となる。1949 年に上海が解放されると伯年は蘇州にもどり、解放直後の上海に移って職に就いた妻子と、ようやく再会を果たした。上海では拉戯を捨てて仕立て屋になった息子を、父は再び単弦拉戯の道に引き戻し、自分の伴奏をさせるために太鼓の奏法を教えた。1951 年 11 月には、武漢民衆楽団の募集に応じて、顧親子と仲間たちはすぐ一座を結成し武漢に赴いた。これを機に顧親子は武漢に定住し、単弦拉戯も武漢の芸能として定着したのである。親子は 1953 年に発足した武漢市曲芸隊に入隊、語り物の団員として朝鮮戦争の前線で慰問演奏も行った。1957 年には所属が雑技団にかわり、雑技との共演が続いた。1959 年に福建前線の慰問をさかいに、同年また曲芸隊に異動した。

伯年の拉戯は剛柔自在といわれる。京劇の生・旦・浄の持ち味を存分に表現し、演奏した演目の選段は 30 をこえる。武漢への移住前、顧親子が上演した伝統劇は京劇だけだったが、武漢に移ってから、聴衆にあわせて地方劇をレパートリーに加えたという。最終的に伯年の演目は 50 以上、京劇・崑曲・楚劇・漢劇・黄梅戯など各種劇の選段や歌曲も含まれた。ただし顧伯年は建国前の上海で演奏した経験はない。演奏技量はトップ奏者とは開きがあったと考えられる。

単弦拉戯奏者で上海での出演が確認できるのは、1923 年から新世界に登場した達明舟や沈易芝である。ただし彼らの活躍も数年で下火になった。このほか 1930 年代前半には、複数の雑芸芸人が協演する天馬団にも単絃拉戯が含まれたが、出演者は不詳である [18]。

[18]『申報』1932,1,29　本埠増刊（五）参照。

3-5 空中拉戯と女子拉戯

上記 3 種のほかにも、遊芸場には空中拉戯や女子拉戯、魔術拉戯などが上演された。

空中拉戯は朱渭濃の創作芸で、1923 年 2 月の大世界にお目見えした。朱は当時の上海ではかなり名の売れた京胡奏者で、元群芳会メンバーとして京劇「狸猫換太子九曲橋」の一部を編曲し、1924 年春には新世界で翁梅倩の京胡伴奏もつとめた。越舞台で人形劇の上演を手がけるなど新しい創作芸に関心があり、空中拉戯はその一環といえるだろう。空中拉戯は宙ずりか高所での上演を指すようだ。朱はさらに工夫をこらし、1924 年 7 月には電灯喇叭空中拉戯を「新発明」して新舞台に登場した。この際には一家眷属が京胡、班鼓、三弦、月琴の伴奏で脇をかためた[19]。空中拉戯は話題を提供したのみで間もなく姿を消した。

1933 年から 35 年にかけては、先施デパート内の先施楽園で筱湘雲が女子拉戯を上演した。拉戯芸人はそれまで男性のみだったので、京劇の坤班や粤劇の坤伶ブームにあやかり新路線を追求したのであろうが、ブームの再燃にはつながらなかった。1930 年代には、魔術拉戯や奇抜な見世物志向の演目が散見されるが、どれも単発におわっている。

3-6 拉戯流行の経過

以下に、ここまで見た拉戯の生成と流行の経緯について要点をまとめたい。

3-6-1 流行の前提——三弦奏者の供給

拉戯が流行した第一の前提は三弦奏者の出現だった。主要な供給源は、清末の都市部にあらわれた盲人三弦奏者のグループである。盲人演奏者は清代中期から増えたというが、当時は単独で行動し、楽器も三弦とはかぎらず、女芸人はしばしば妓女同様の扱いをうけた。彼らが清末に集団行動を始めた理由は未調査だが、自衛の一策とも言えるし、清末の経済発展につれて、

[19]『申報』1924,7,30 本埠増刊（二）「拉戯偶談」の下記記事を参照：「近日滬上拉戯甚多、邱聘卿之三絃拉戯、沈易書之南方拉戯、達明舟沈易芝之単弦拉戯、数人皆為拉戯妙手、今有著名琴家朱渭濃、新発明電灯喇叭空中拉戯、且有全班場面、如其兄金貴之京胡、金元之班鼓、其姪生宝之弦子、金宝之月琴、全家合配、堪称殊聯璧合、今在新世界自由庁所拉各種戯曲小調、較前在大世界共和庁大有進歩。」

集団生活をまかなう報酬を得たため、とも考えられる。二つ目の供給予備軍は、山東の王殿玉のような各地の語り物や伝統劇の芸人である。清代の語り物は小三弦をなんらかの形で伴奏に含んだので、三弦を演奏する芸人は多かった。そして民国初期に語り物が発展する途上で、別の種目に吸収され、伝統劇へと転化する種目も生じた。種目の変動と芸人の生活状況は無縁ではなく、故郷を捨てて活路を都市部に求める者も現れただろう。そして三つ目の供給予備軍として、京劇芸人や京劇修業の経験者も加えるべきだろう。晴眼の拉戯芸人がいたのは、拉戯を演奏できる人間が伝統芸能の諸ジャンルにまたがり、それぞれ人材を供給したからと考えられる。

3-6-2 流行の前提：撥弦から擦弦への奏法改変

三弦の奏法が撥弦から擦弦へと変わったことも、拉戯成立の大前提である。変化の要因はいくつか考えられる。一つは盲人三弦奏者の競争意識だろう。観客にアピールする芸をいかに作り出すかは芸人にとって死活問題である。王玉峰の三弦弾戯を学んだ邱聘卿が拉戯を考案したのも、こうした野心のあらわれであろう。事実、神がかりと評された王玉峰の芸は実質的に一代限りで絶え、北方の継承者も技量は師にはるかに及ばなかった。邱聘卿にかぎらず、小三弦を撥弦から擦弦にかえることを思いついた芸人は、各地に何人もいたはずだ。彼らは互いの存在を知らず、あるいは知ったとしても特に連携する意識もなく、それぞれに演奏を続けた。それが実態だろう。

奏法改変のもう一つの要因は、河南の墜琴誕生の原動力となった、理想的な伴奏の探求である。漢族の語り物や伝統劇音楽はヘテロフォニーを旋律の構成原理とする。つまり基本の旋律は一つで、複数の奏者がいる場合は、互いにタイミングをずらしたり、分割したり、あるいは引き伸ばして装飾的に演奏する。語り物ではヘテロフォニーの原則にしたがいながら、歌い手の旋律を伴奏者が彩る。この着かず離れずの装飾、つまり襯

托のよしあしが上演の出来栄えを左右し、伴奏者の責任も重い。その意味では、音を持続しながら音程を変えられる擦弦楽器が、原理的には撥弦楽器よりはるかに優れものである。しかしすでに小三弦で様式感が確立されていれば、奏法を変える発想は生まれにくい。墜琴が誕生したのは、河南墜子がこれから生まれようとする発展の途上にあったためだ。いずれにせよ、河南墜子の芸人は理想的な襯托をストレートに追求し、目的を達したといえる。

3-6-3 南方拉戯の地方性

上海での上演記録によると、拉戯には上海蘇州などを中心とする南方拉戯と、北京の王玉峰や山東の王殿玉に発する北方拉戯の二系統があった。ともに演目の中心は京劇であるが、上演形態には出自の違いを窺わせる相違点がある。南方拉戯はほんらい京劇の模倣に特化し、京劇らしさを強調するため京胡・月琴・板鼓で伴奏した。いっぽう北方拉戯には伴奏がない。伴奏の有無は些細な問題と映るが、実際には聴衆に全く異なる印象を与え、演奏者にもメンバー調整や報酬の分配など負担が生じる。こうした煩雑さをいとわず、南方拉戯が京劇式の上演スタイルをとり続けたのは、南方拉戯が成立当初から京劇班と互助関係にあった可能性を示唆する。単弦拉戯をはじめた顧伯年も幼いころ京劇の科班に入り、拉戯芸人となった後も京劇の楽師を兼ねた。また空中拉戯を大舞台に持ち込んだ朱渭濃も京劇の琴師であった。これらの状況証拠から推測できるのは、南方拉戯は京劇が南方に完全に浸透した後に京劇の模倣を目的として成立し、上演には京劇科班との連携が不可欠であったこと、また拉戯芸人自身も京劇界との関係が深く、科班出身者からの転身もありえたことである。その反面、三弦一挺で勝負する純然たる音の模倣芸としては、北方拉戯に表現力の上で差をつけられたのではないだろうか。

3-6-4 北方拉戯の地方性

拉戯の地方性に注目するならば、北方拉戯にあたえた咔戯の潜在的な影響は見過ごせない。前掲の王殿玉以外に記録が残る北方の芸人にも、咔戯の影響が濃厚だからである。

張次渓の『人民首都的天橋』には拉戯奏者が 2 名紹介される[張 1988: 130-132]。一人は盲芸人でリードの馬（哨子馬）、もう一人が胡胡の李（胡胡李）である。彼らの出演時期と出身地は明記されていない。ただし張の記載は 1850 年代から 1951 年（同著の執筆年）を対象とするので、早ければ咸豊年間、遅ければ民国後期となるだろう。リードの馬は四弦胡琴で詞曲や話し言葉、虫鳥の鳴き声を模倣した。擦弦だけでは不足な音響は口に含んだ口哨（嗅吶のリード）で補ったという。馬が使う四弦胡琴、つまり四胡は内蒙古から東北、華北にかけて分布し、これは彼が北方出身者であることの傍証となる。また口哨は咔戯の典型的な音具である。もう一人の胡胡の李は元宦官で、アヘンを吸ったかどで宮廷を追われ、天橋の芸人に身をおとしたという。彼は梆子腔の擦弦楽器、胡胡児で「斗小牌」や「画扇面」などの曲牌を模倣したという。一説では李は山西の出身者で、それを裏付けるように、胡胡児は山西省のローカルな擦弦楽器である。

このように記録に名前をとどめる拉戯奏者 3 人は、咔戯実践者か咔戯が流行する地域の出身だった。「咔戯」は華北地方の俗語だという[20]。いつからこの言葉があったのかは不詳だが、咔戯が各地の重要な儀礼に組み込まれ、地元の梆子系統の伝統劇を中心に模倣することからして、伝統劇の隆盛期からほどたたず概念化されたのではないか。いずれにせよ、用語の存在は、北方の咔戯が人々の意識の中で顕在化していることを意味する。擂琴と嗅吶は別種の楽器だが、ポルタメントと持続音を得意とする点で酷似する。咔戯に親しんだ者が弦鳴楽器にその発想を持ち込んだ可能性は十分である。なお張次渓の記述よると馬も

[20]『山西楽戸研究』の著者、項陽氏（中国芸術研究院音楽研究所研究員）のご教示による。

李も京劇を演奏していない。二人は京劇に無関心だったのだろうか。流行にめざとい芸人の性分からして、それは考えにくい。むしろ彼らの活動時期が後三傑から始まる京劇のスターラッシュ以前であり、それゆえ京劇にとらわれず身近な題材を選択したのではないか。

4　上海の同楽会と遊芸会の拉戯

4-1 同楽会と遊芸会の目的

民国期には、上海のさまざまな団体が伝統音楽や洋楽のアマチュア活動を展開した。団体の結成目的は千差万別で、本来音楽とは無関係な集団が大半である。かれらは例外なく娯楽を重視し、その中に音楽や演劇、スポーツ、囲碁などを含めたのだった。またさらに勉学を勧め、診療や理髪のボランティアを行う団体もあった。彼らの活動の幅広さには驚かされる。たとえば1910年に創立された精武体育会は、中国拳法の普及を目的とする体育奨励組織である。同会は会員の「知育補充」を重視し、以下の諸項目を教授した：弦楽、ブラスバンド、京劇、粤楽、書法、絵画、中国医学、負傷手当、救急、写真、狩猟、兵操、演説ほか [陳 2001: 34]。1930年代半ばまでは、主に上流階級がこれらの団体の参加者であったが、1930年代後半からは、経済発展を支える中産階級（企業のサラリーマンなど）が力をもった。彼らは抗日救国運動の高まりにつれて、大衆的な職員組織「聯誼会」を結成した。聯誼会も娯楽をふくむ諸活動を進めた [岩間 2005: 145-7]。注意すべきは、大衆化した彼らの活動も、その幅広い内容や基本方針を従前の団体から受け継いだことである[21]。本稿は拉戯の流行期に限定するため、聯誼会の活動には触れない。

さて、民国前期の上海で管弦楽隊をもつ団体には、土山湾貧児院[22]、精武体育会、倹徳儲蓄会、広東浸信会、聖約翰大学（セント・ジョーンズカレッジ）などがある。また伝統音

[21] [岩間 2005] は、聯誼会の多様な活動を詳細に記述したが、従前の団体との関連性については言及していない。聯誼会の加入者と従前団体の加入者には社会階層の違いはあるが、階層を越えて活動内容や嗜好が受け継がれた点は指摘すべきだろう。

[22] 1864にイエズス会神父が設立した。児童の自立を促すために工芸や美術教育を行ったことで知られる。同院児童のブラスバンドは市内の各種儀礼に頻繁に出演し、これも収益の一つになっていた。

楽を実践する民間団体も数多く活動した。代表的なものだけでも、文明雅集[23]、鈞天集[24]、清平集[25]、精武体育会絲竹楽隊[26]、倹徳儲蓄会の絲竹楽隊[27]、大同楽会[28]、国楽研究社[29]、少年宣講団、中華音楽会、霄霓楽団、辛酉学社、友声旅行団国楽組（国楽研究会の前身）、凇社ほか枚挙にいとまがない。

諸団体の第一目的は、同楽会（＝親睦会、懇親会）を通じてメンバーの親睦を深める―感情の連絡―ことである。各種学校で期末に開く成績報告会も、児童生徒の能力や技芸を披露する場であり、ときに娯楽を交えることもあった。これも一種の同楽会である。諸団体のもう一つの活躍の場は、記念事業や義捐のための遊芸会だった。記念事業では組織の創立や周年記念、春節や国慶節の祝賀、国恥記念などが典型的な事例である。義捐では災害や戦災の被災者に対する義捐活動、各種学校の運営資金調達が大半を占めた。たとえば1925年に五卅事件が発生した際には、日本企業に抵抗してストライキを敢行した労働者を支援するため、上海市をあげて援工遊芸会が催された。そして上海の音楽団体や著名な票房が次々と参加したのである。

4-2 同楽会、遊芸会の演目と拉戯

次に同楽会や遊芸会に登場した主な種目をあげよう。

> 演説、笑話、国技／中国拳術、舞踊、火棍、歌唱、ヴァイオリン、ピアノ、ハーモニカ、国楽／絲竹、琵琶、話劇（正劇、趣劇）、京劇、崑劇、粤楽、説書、大鼓、木蘭辞、蘇灘、口技、拉戯、双簧、戯謎相声、魔術、映画、蓄音機

以上のように種目はヴァラエティにとみ、諸団体の定常的な活動となった娯楽種目も含まれる。国楽／絲竹や京劇、ヴァイオリン、ピアノ、ハーモニカ、新劇、拳術などがそれに該当す

[23] 1911年結成、上海福州路と山西路の交差点にあった文明茶楼が活動拠点。
[24] 1915年結成、浙江路の宁波路茶楼が活動拠点。
[25] 1917年に勧工銀行の職員が結成。
[26] 1909年結成。
[27] 1919年結成。
[28] 1919年結成。
[29] 1919年結成。

る。なかには崑曲のように清代以前から引き継がれた、古典的知識層のステイタスシンボルも含まれる。しかし一見して、これらの種目が時代の先端をゆく上海のイメージの投影であることがわかるだろう。たとえば近代ナショナリズムの副産物である国技。民国期に女学生が進出した「体育」に含まれる舞踊や火棍。爛熟期を迎えてスターを輩出する京劇とこれに伴う諸芸。地元で伸び盛りの語り物蘇灘。中国のどこよりも早く導入されたラジオにレコード、市民が熱中するマジック等々。

投影されたイメージは先端性ばかりではない。当時の上海人のキーワード「滑稽」も大量に投入された。たとえば話劇は滑稽味を強調する趣劇とまじめな正劇に二分され、その他の種目名にもことさらに「滑稽――」と銘うち、人々に笑いを提供することを強調した。

このような体質をもつ同楽会や遊芸会で、拉戯はどう享受されたのだろうか。以下は 1920 年代前半の同楽会と遊芸会から、拉戯を含む催しをランダムに拾ったものである。主催者（団体）の社会的地位や出身地、年齢層、会の目的もまちまちだが、全盛期の拉戯はこうした違いとは無関係に幅広く歓迎された。

拉戯奏者を拾い出すと、プロでは三弦拉戯の沈易書と単絃拉戯の達明舟の二人、アマチュアでは国楽研究社の陳道中、凇社の仏儂君や呉彭濤、先施楽団の顧増寿らが常連だったとわかる。ことに沈易書の出演回数はとびぬけて多く、催しに華をそえる豪華ゲストとして参加者が期待をもって迎えたことが読み取れる。アマチュア奏者は全員が絲竹合奏の愛好者である。アマチュアとはいえ、彼らの所属団体や彼ら自身も事実上セミプロ以上の実力をもち、新聞にも同楽会の種目で拉戯だけをとりあげ賛辞を送る評が載った[30]。同楽会／遊芸会の種目は多岐にわたり、主催団体のメンバーだけでは上演できない。そこで各演目を得意とする他団体や個人に出演を依頼する。拉戯も状況は同様といえるだろう。

[30] 陳道中が滬南民立中学の同楽会に出演した際の評は、『申報』1924,1,6 本埠増刊（二）に見える：「三娘教子」、音調生旦可分、宛如名伶口唱一般、聴之津津有味也。

時期	主催者・目的	演　目　（　　）内は上演者名・団体
1921,4,9	倹徳儲蓄会・第二回懇親会	午後の部；全員合唱、女子精武体育会演技，ヴァイオリン合奏（本会弦楽団）、新劇（本会員、鄭正秋が隣人役で客演），幻術。 晩餐会余興：崑曲（崑山東山新社）、三絃拉戯（邢友氏）、京劇（本会員）、幻術、奏楽
1922,1,9	麦倫書院・龍華孤児院義捐の遊芸会	国技（精武体育会）、三絃拉戯（沈易書）、滑稽戯法、麦倫書院自編の新劇「空労碌」、ピアノとヴァイオリン合奏（華徳女史と二人の子息），京劇唱段「武家坡」など、孤児院軍楽隊による来賓送迎
1923,6,5	辛茜学社・遊芸会	銅楽（精武体育会音楽隊）、代表報告、絲竹（辛茜学社音楽部）、舞踏（広肇女学）、火棍と木蘭舞（中国女子体育学校）、泰西絃楽（浸信会）、国技（精武女子体育会）、韓江音楽（潮州音楽会）、琵琶（辛茜学社音楽教員許仙君）、来賓談話、幻術、三絃拉戯（陳道中君）、崑曲（陳梁富保女史）、国技、胡琴合奏（呂文成と甘時雨）、滑稽舞踏（精武体育会）
1924,5,3	普益社・会員交誼大会	演説、唱詩、拉戯、拳術、崑曲、映画、京劇三出（普益社曲芸部）
1926,3,30	益智中学・遊芸会	歌舞（黎明暉）、歌劇・拉戯・魔術（培立団）、新式双双簫（友誼団）、アメリカ映画、国楽（中国音楽社）

以上の種目名は、申報の本埠増刊版の団体消息欄から拾いだしたものだが、紙幅が限られるため演目はめったに記されない。ごくまれに記された演目は、プロ・アマチュアをとわず、「三娘教子」「武家坡」「四郎探母」である。なかでも「武家坡」の頻度が一番高い。これらの演目は、当時の拉戯レコードでも複数の会社が録音しており、人気の高さをものがたる[31]。こうした上演の状況は1920年代を通して殆ど変化しなかった。ただし20年代末に寄席芸としての人気にかげりが出ると、同楽会での上演も減り始める。拉戯にかわる新手の人気種目が現れたというわけではなく、上演状況のマンネリで拉戯への関心が薄れたためであろう。

1930年代に入ると、本埠増刊面はたびたび紙面を変更し、団体消息も1932年以降消えてしまう。一部のエリート学校や特定団体の情報を、新聞で広報する時代ではなくなったということか、あるいは、ふくれあがる映画演劇情報を掲載するためだったのか。原因は不詳だが、1930年代前半から同楽会情報

[31] 当時の拉戯レコードの正確な発行数はわからない。新中国建国後に、中国唱片社が上海の外資国産レコード会社の保有レコードを没収して作製したリストによると、以下のレコードが確認できる。：三弦拉戯「三娘教子（百代唱片）」「武家坡（高亭唱片）」「四郎探母（高亭唱片）」「蓮英夢驚（高亭唱片）」「轅門斬子（高亭唱片）」（以上はすべて沈易書の演奏）、単弦拉戯（麗歌唱片、杜貞福・果万林演奏）「汾河湾」「客先生算命」、単弦拉戯（笑然居士によるもの）「彩楼配（高亭唱片）」「武家坡（高亭唱片）」「三娘教子（勝利唱片）」「武家坡（勝利唱片）」「四郎探母（勝利唱片）」[中国唱片社 1964: 218-9]

は確認できなくなった。義捐遊芸会の情報はかわらず大々的に報じられた。1931 年の満洲事変以来、抗日運動は高まりをみせ、また被災難民の義捐遊芸会も並行して行われた。こうした催しには上海の多数のアマチュア諸団体が参加した。1933 年１月には、東北難民救済の義捐遊芸大会が新世界で開かれている。ダンスホール開催、京劇票友の上演、アマチュア話劇とならんで、沈易書も「三弦滑稽」の演目で出演した。しかしこの当時、大規模な遊芸会で拉戯が上演される機会は少なかった。

4-3 興隆と衰微の理由

拉戯がアマチュア組織の催しで歓迎された理由は、団体の多くが京劇への格別の関心と愛着を抱いていたことである。当時、多数の団体が京劇部を持ち、京劇愛好者のたまり場である票房が結成した団体もあった。彼らにはプロはだしの実践経験と、たしかな鑑賞能力があった。拉戯という玄人芸を享受するに素地は十分だったのである。

衰微の理由はいくつか考えられる。新しいスターの不在や芸のマンネリはもちろん敗因である。それ以上にアマチュア活動にとってマイナスだったのは、拉戯演奏の困難さだろう。拉戯は擦弦楽器の演奏能力と他の芸能の素養を同時に必要とする。擦弦楽器を含む絲竹合奏があれほど流行した当時でも、拉戯奏者として名をとどめた者は一握りだった。レパートリーも広げにくく、結局プロの登場を仰がざるをえない。アマチュア組織にとって、同楽会や遊芸会は本来メンバーが技芸を披露する場である。メンバーを抱える団体は互いに連携し多彩な種目を上演する。この状況自体が娯楽を介した「感情の連絡」であり、社会的な機能を果たす緩やかで幅広いネットワークの基本だったといえる。こうした原理からみれば、拉戯は同楽会や遊芸会にはふむきな芸能だった。

5　おわりに

拉戯は盲芸人の特異な才能と創意工夫の産物であった。彼らの鋭い聴覚とずばぬけた記憶力なしに拉戯は生まれなかっただろう。それにしても、演奏者の出自、楽器、芸態、上演演目のいずれも一定せず、擦弦楽器で人声その他を模倣することのみが同一性とは、稀有なことこの上ない。拉戯には、清末民国前期に芸能諸ジャンルが追い求めた新しさの探求が重なりあう。撥弦から擦弦へと転換した三弦。咔戯の他楽器への応用。新しい唱腔を開拓し進化をとげる京劇。もともと無関係ないくつもの試みが、模倣というキーワードによって一つの芸能に結び付いたのだった。

筆者は沈易書が残した「武家坡」の録音を特別な期待をこめて聴いた[32]。だが「人声そのままに旦浄の唱腔を再現した」はずの演奏は、なぜか単調な胡弓の音にしか聞こえない。つくづく門外漢を痛感すると同時に、拉戯の演奏者と聴衆間の高度な共犯関係を目撃した、という実感をもった。拉戯の音響は聴衆に「そう聴こえる」ものではなく、聴衆が「そう聴く」ものなのだ。聴衆は拉戯の調べと耳の中に蓄えた聴体験をてらしあわせ、微細な音程変化、装飾音、音質、音高、テンポなどからみて、それが何者なのかを瞬時に無意識に判断する。彼らの耳は、たしかに薛平貴と王宝釧の対話を聴いたのだ。

拉戯とは、演奏者と聴衆が、ある芸能について分厚い聴体験を共有して初めて成り立つ芸能であった。その意味では、京劇を筆頭とする民国期の芸能がいかに深く浸透したかを、拉戯ほど端的に物語る材料はないだろう。

[32] 波多野太郎、三浦勝利、村松一弥監修『中国伝統音楽集成――史料としてのSP原盤復制』日本コロムビア1980、第三部説唱に収録。レコード番号GB7024B面。この集成には拉戯はこの1曲のみ収録されている。

参考引用資料 (著者名アルファベット順)

陳公哲『精武会50年』瀋陽、春風文芸出版社、2001

陳汝衡「三弦弾戯王玉峰」『芸術世界』1981(1), p.17

成公亮「山東古箏」『中国古箏名曲薈萃 (上)』上海、上海音楽出版社、1993，pp.5-8

Hughes, David. "No nonsense: the logic and power of acoustic-iconic mnemonic systems" *Ethnomusicology* vol. 9/11, 2000

岩間一弘「民国期上海の新中間層」東京大学大学院総合文化研究課地域文化専攻博士論文、2005

景蔚崗「山西民間吹打楽申論」『中国音楽学』2000, 第二期

川田順三『聲』東京、筑摩書房、1988

劉東升他編著『中国楽器図志』北京、軽工業出版社、1987

劉東升主編『中国楽器図鑑』済南、山東教育出版社、1992

劉育和編『劉天華全集』北京、人民音楽出版社、1997

劉志斌「単弦拉戯表演芸術家　顧耀宗」『武漢文史資料』2003,12 号、pp53-57

『申報』1920-1936

党志剛「墜琴與河南墜子——" 趙派河南墜子 " 対墜琴演奏技芸的拓展」『東方芸術』2005,12 期

Tsukada Ken'ichi "Fanti Druming from a 'Phonaesthetic Perspective'" Proceedings of the 33rd ICTM World Conference, Canberra, January 1995, pp.5-11

武漢説唱団「中国芸壇一絶——単弦拉戯表演芸術家顧耀宗先生簡介」『湖北文献』1998(126)、pp.35-37

項陽『山西楽戸研究』北京、文物出版社、2001

楊紅「民族音楽学田野中的音楽形態研究——魯西南鼓吹楽的音楽文化風格探析」『中国音楽』2007, 第一期 pp. 82-92

張次渓『人民首都的天橋』（中国曲芸研究資料叢書）、北京、中国曲芸出版社、1988

張偉『滬瀆旧影』上海、上海辞書出版社、2002

中国唱片社編『中国唱片廠庫存旧唱片摸版目録　内部資料』上海、1964

中国民族民間器楽集成全国編輯委員会編『中国民族民間器楽集成山東巻』新華書店、1994

中国芸術研究院音楽研究所編『中国音楽詞典』北京、人民音楽出版社、
1984
朱頴「嗩吶経典名曲――『打棗』」『楽器』2004,5 期、pp.53-55
陳正生（上海芸術研究所）「20 世紀初上海民族器楽海派精神述略」
（2004/08/07 掲載)
http://suona.com/people/pe20040807.htm
山西賽社與楽戸文化国際学術検討会：潞城市賈村両天半賽社儀式内容簡介
http://www.nuoxi.com/display.asp?cate=&id=483
世代相伝的吹歌
http://oldpages.hebnews.cn/20021018/ca190352.htm　(2002-11-22 15:25:40)

中国古典戯曲・伝統演劇関連文献の Web 公開について

中国都市芸能研究会では、中国古典演劇・戯曲、同人が個人的に、あるいは各種研究プロジェクトを通じてデジタル化した中国伝統芸能や戯曲研究関連のデータを集積・整理して、公式 Web サイト上で公開しています。現在までに公開が完了した文献は以下の通りです。

戯曲作品：『元曲選』、『六十種曲』、『綴白裘』

存目：『録鬼簿』、『曲海総目提要』

筆記・史料：『南詞叙録』、『花部農譚』、『清代燕都梨園史料』

論著：『宋元戯曲考』、『唐宋大曲考』、『戯曲考源』、『古劇脚色考』、『優語録』、『録曲余談』、『顧曲麈談』、『晩清文學叢鈔』、『道咸以来梨園繫年小録』、『中国劇』

このほか、『孤本元明雑劇』、『伝奇彙考』、『堅瓠集』なども公開に向けて整理中です。

現代の人文学的研究における、用例検索や文体・字句のパターン分析などが可能なデジタルテキストの重要性については、もはや贅言を要しないでしょう。他の分野に比べてデジタル化の遅れている中国戯曲・演劇分野の研究インフラ整備を、本研究会では今後とも鋭意進めていく予定です。

中国都市芸能研究会 Web サイト

http://wagang.econ.hc.keio.ac.jp/~chengyan/

陝西皮影戲
2007年度夏期現地調査報告
千陽
灯盞頭碗碗腔皮影戲
周至
弦板腔皮影戲
西安
碗碗腔皮影戲
商洛
道情皮影戲

2007年夏期
陝西省現地調査の概要

氷上　正

＊　本稿は、日本学術振興会科学研究費・基盤研究Ｂ「近現代華北地域における伝統芸能文化の総合的研究」（2005～2007年度、課題番号：17320059、研究代表者：氷上正）による成果の一部である。

はじめに

2007年度夏期も昨年までに引き続き華北地域の伝統芸能に関する現地調査を実施した。今回は陝西省南部に調査の重点を置き、西安を拠点に陝西省の千陽（汧陽）県・商洛市・周至（盩厔）県の皮影戯に対する調査を行った。また今回の調査で、ほぼ陝西省の主要な皮影戯分布地は網羅することとなった。

昨年と同様に西安から車をチャーターして調査地に移動、調査を終えてその日のうちに西安に帰る、というペースで日程を進めた。今年度は比較的天候に恵まれ、酷暑や大雨に見舞われることもなく順調に調査を行えた。

しかし商洛市における調査では白家山村まで行くさい、市中心部から車で一時間ほど移動したところで、脇道の入り口中心に置かれた、一メートルほどの立方体形のコンクリート塊に行く手をはばまれた。大型車、とくにトラックが入り込んで農作物や森林資源を窃盗するのを防ぐため、障害物として作られたものであるらしい。我々がチャーターしたバンはそこを抜けられず、けっきょく小型車とオートバイによるピストン輸送で目的地と往復したが、砂利だらけの山道をヘルメット無しで乗るオートバイ後部座席はなかなかのスリルであった。

商洛市白家山村への道

今年度の調査における大きな変化

は、2006年5月に中国国務院が発表した「第一次国家級非物質文化名録」に各地の皮影戯も指定され、陝西省では渭南市・華陰市・富平県・乾県がリストに上がっていたことにともなうものであった。昨年までは比較的自由に各地の劇団や芸人と連絡を取り、公演も含めた取材を行うことができたが、今期からは県や市の文化局への事前連絡が求められることが多くなり、やや手続きが煩瑣になってきた。むろん、各地の演劇・芸能とその劇団に関しては文化局が詳細な情報を把握し資料を整理していることも多く、協力関係を築くことはむしろ不可欠といえる。しかしもし文化局担当者の取材への同行が義務化されるようなことがあれば、おのずと話が違ってこよう。当地への皮影戯の流伝、上演文脈や演目など、調査の項目によっては事前に指導が入りバイアスがかかるおそれもある。とくに各地で復活しつつある宗教儀礼における上演に対しては圧力がかけられる懸念が大きい。慎重に趨勢を見守りたい。

丁景唐氏・丁言昭氏と

鼓楼の皮影影人展示

今回の調査メンバーは氷上・千田・山下・川・戸部の五名である。現地調査に当たっては、昨年までに引き続き陝西省民間芸術劇院の楊飛・李淑文夫妻に各地の関係機関・劇団・芸人との連絡手配をお願いした。さらに今年度は一部調査にご子息である楊青氏にもご同行いただいた。多忙の中、協力いただいたことに特に感謝したい。

千陽李愛姐の繍花展示室

日程

8/21　氷上・千田・山下・川
成田空港より上海に移動。上海泊。

8/22　午前：木偶戯・皮影戯研究家である丁言昭氏を訪問、インタビュー。
午後：上海市内にて資料収集。

8/23　氷上・千田・山下・川
上海浦東空港より西安に移動。
戸部　成田空港より上海経由で西安に移動。

8/24　午前：鐘楼・鼓楼にて楊飛氏所蔵影人の展示を見学。
午後：宿泊ホテル内で、かつて西安徳慶皮影社で活躍した老芸人にインタビュー。碗碗腔皮影戯音楽演奏を記録。

8/25　午前：車にて千陽県に移動。
午後：千陽市街にて民間工芸の制作および展示を見学。南寨村に移動して布芸を見

上：商州地区文化館にて
下：白家山村皮影楽隊と

学、灯盞頭碗碗腔皮影戯の上演を見学・撮影、老芸人へのインタビュー。

8/26　午前：車にて商洛市に移動。陝西省商州地区文化館を訪問した後、同市白家山村に移動、昼食。

午後：白家山村皮影楽隊の上演見学・撮影、老芸人へのインタビュー。同市磨溝村に移動。磨溝村皮影戯隊の上演を見学・撮影、老芸人へのインタビュー。

磨溝村皮影戯隊戯箱

8/27　戸部　帰国。

氷上　終日：西安市内にて休養。

千田・山下・川

午前：車にて周至県に移動。周至県収蔵家協会を見学。同県王家河村に移動。周至県西秦木偶皮影芸術団による弦板腔皮影戯の上演を見学・撮影、老芸人へのインタビュー。

午後：西安に帰着。

8/28　北京に移動。

8/29 ～ 9/4　北京にて各自文献資料調査後、順次帰国。

上：周至県収蔵家協会にて
下：王家河村関帝廟の廟会

2007 年夏期陝西皮影戯
現地調査要録

川　浩二・千田　大介・山下　一夫

1. はじめに

2007 年度夏期調査の概要を、芸人へのインタビューおよびインフォーマントから提供された資料などに基いて以下に纏めておく。なお、以下の内容は主にインタビューによって得られた知見をまとめたものであり、文史資料・新編地方志その他先行文献資料の記述とのつきあわせは必ずしも行っていないので注意されたい。

2. 西安碗碗腔皮影戯（旧徳慶皮影社）

（1）上演情報

a) 日時

2007 年 8 月 24 日

b) 場所

西安・天域凱莱大酒店

旧徳慶皮影社

c) 劇団

旧徳慶皮影社

唱・月琴：李世傑（73）

板胡：夏鈞栄（65）

二弦：聶四季

梆子・碗碗：李宏博

d) 上演演目

《金婉釵・大審》、《王允献連環》、《金婉釵・借水》

（2）インタビュー要録

a) 劇団の沿革

1951年、西安市内の北大街に碗碗腔皮影戯の劇団として徳慶皮影社が設立される。劇団の名称は、中心メンバーであった謝徳竜と石隆慶の二人の名前に由来する。ところが石隆慶は程なく喉を壊して離脱。謝徳竜が社長、盧成福が副社長として劇団を運営。社員は多くが渭南碗碗腔皮影戯の出身であった。『沙家浜』などの「現代戯」や、『逼上梁山』など「整理改編」を経たもの等、いずれも党の方針に沿った演目を上演。

1956年には陝西省戯曲研究院が碗碗腔皮影戯の「人戯化」の実験を行おうとしたが、謝徳竜が同意しなかったため実現しなかった。1959年、北京で開催された全国皮影匯演に参加。文化大革命が始まると解散を命じられる。

1985年、謝徳竜逝去。1997年に文化局の主導で徳慶皮影社が「復活」したが、名前は同じでも内容は全く異なっており、旧徳慶皮影社メンバーは自分たちの後継団体であるとは見なしていない。

b) 李世杰氏の経歴

1934年生まれ。7歳より陝西省渭南県信義郷上太荘の皮影戯芸人であった父・李映愷（1995年に91歳で逝去）について皮影戯を学び、12歳の時に初めて舞台に立つ。1951年に徳慶皮影社に参加、1954年には“前首”となり、文化大革命による劇団の解散まで担当。1984年、陝西省戯曲研究院の所属となり、碗碗腔を教える。1996年、張芸謀の映画『秋菊の物語』で碗碗腔の演奏を担当。現在、陝西省戯曲研究院に所属（退休）。

インタビュー風景

c) 旧時の上演

解放前、渭南には十以上の皮影戯班が

あり、慶事や廟会で上演を行っていた。廟会は竜王廟・関公廟・観音廟などさまざまな寺廟で行われ、関公廟では関公戯を、観音廟では菩薩の本事を演じた。これら“神戯”や“鬼戯”を行う廟会上演は解放後次第に禁止されていった。また、上演契約に際して“合同”は作成せず、班主が顧客と口頭で行った。

d) 上演地域

西安市を中心とした陝西省だが、外地にも赴いた。

e) レパートリー

李十三の“十大本”など。劇本は“口伝心授”による。

f) 戯価

徳慶皮影社は党の組織の一部であったため、団員には一定の給与が出ており、戯価という形での交渉は無かった。

g) 祖師爺

関公

3. 千陽灯盞頭碗碗腔皮影戯

(1) 上演情報

a) 日時

2007 年 8 月 25 日

b) 場所

陝西省千陽県南寨鎮宣伝文化活動中心

千陽インタビュー風景

c) 劇団

千陽灯盞頭碗碗腔皮影演出団

唱・平鼓：李貴傑（78）

笛子：張友誠（65）

唱・鐃：成宝玲（65）

板胡：張徳財（60）

灯盞頭：斉存譲（62）

月琴：斉長潤（71）

挑線：謝紅麗（36）

d) 上演演目

『香山還願』、『遇良橋・送子選段』

(2) インタビュー要録

上演に先立ってインタビューを行った。インフォーマントは李貴傑氏を中心に劇団全員。同席した文化局の係員が代わりに答えるシーンも目立った。また、劇団員各氏は解放後、1950年代以降の状況については知っているが、解放前の状況については詳しくなかった。

なお、灯盞頭碗碗腔皮影戯に関しては、千陽県文化局がまとめた『灯盞頭碗碗腔概述』(以下『概述』)があるので、それに基づいて補足した。

a) 起源

千陽県南寨鎮南寨村斉家背後が発祥地。

※『概述』によると、発祥時期は2～300年前、清末から1930年代が最盛期で、鳳翔・宝鶏・隴県、甘粛省の霊台・平涼などに伝播したという。名称からして華県一帯の碗碗腔皮影戯との関連が窺えるが、両者の関係を示す伝承はないようである。

※『概述』によると、文革後に成立した県劇団は、1990年代に一度途絶えている。今回調査した劇団は、2003年に老芸人を集め人材育成して組織したもの。

b) 李貴傑氏の芸歴

灯盞頭

灯盞頭碗碗腔の著名な芸人であった斉宝魁の弟子。もともと秦腔の役者であったが、1959年から斉について勉強し、二十数歳で初めて皮影戯を演ずる。当時、かれの入った皮影劇班は“斉宝魁班”と呼ばれた。文革が始まってからは演じなくなった。

c) 著名芸人

斉宝魁が最も著名。斉宝魁は主に民国期から文革前にかけて活躍。

※『概述』によると斉宝魁の生没年は 1894 ～ 1984。斉宝魁の表記は、文献により保魁・保奎など一定しない。『概述』に従う。

当時、皮影戯班は戯箱の名で斉宝魁班などと呼ばれた。

50 年代、斉宝魁班の他に、沙奴娃班・柳家鼠班・馮万栄班など十数劇団があった。

d) 上演地域

50 年代は専ら千陽県内でのみ上演していた。解放前は、鳳翔・宝鶏・隴県・霊台・平涼などにも上演に赴いていた。

e) レパートリー

伝統劇目には『香山還願』・『審壇子』などがある。なお、『双地獄』は劉全進瓜故事を演ずる。

※会場に掲示されていた紹介パネルによると、『万福蓮』・『王宝和番』・『金碗釵』・『玉山聚義』・『剪紅灯』・『五鼠鬧東京』・『哪吒鬧海』・『双親四官』・『状元祭塔』・『双地獄』などがある。

現代劇は上演したことがない。解放後も伝統劇を上演していた。『封神演義』ものは無かった。観音故事には『香山還願』がある。

千陽灯盞頭碗碗腔皮影戯上演風景

f) 上演文脈

李氏によれば、廟会での上演は無かった。蓋房子などの際に上演される。

g) 台本

暗記する。成宝玲氏は 5 ～ 6 本戯を覚えている。

h) 戯価

50 年代は 20 元前後。解放前については分からない。

i) 上演時期

農民が業余で演ずるため、農閑期の上演が多い。

j) 祖師爺

なし。

k) 影人

購入する。千陽県城西の侯家坡に影人を彫刻する農民がいる。

l) 人戯化

1959年に灯盞頭碗碗腔の人戯が作られる。県劇団はまだ存続しているが、秦腔劇団に変わっている。

4. 商洛白家山村道情皮影戯

（1）上演情報

a) 日時

2007年8月26日

b) 場所

商洛白家山村

c) 劇団

商洛白家山村皮影楽隊

d) 上演演目

《封神榜・三関》

（2）インタビュー要録

a) 劇団の沿革

白根勝は解放直後に19歳で皮影戯の学習を始めた。学校には通っていないため、文盲。商洛白家山村皮影楽隊はかれの一族で組織している。武聖廟（関公廟）・火神廟・五神廟などの廟会上演や、慶事上演を中心に活動。

b) 上演地域

商洛市（地区）が中心。

商洛白家山村皮影楽隊上演風景

c) レパートリー

『大鬧天宮』、『香山還願』、封神榜故事、楊家将故事など。

※韓湘子故事は行われていない。

d) 劇団の構成

唱：白根勝（72）

喇叭：白鉄勝（63）

鐃：白安治（58）

笛子：白喜善（55）

扦子：白安良（42）

板胡：白思慶（60）

板胡：白水牛（52）

水子：白連鋒（33）

e) 祖師爺

なし

f) 音楽

幇唱を行い、また漁鼓と簡板も用いる。

g) 由来

明末に“白米虫”という“流浪漢”がこの地に道情皮影戯をもたらした、とされている。

5. 商洛磨溝村道情皮影戯

（1）上演情報

a) 日時

2007 年 8 月 26 日

b) 場所

商洛磨溝村

c) 劇団

商洛磨溝村皮影戯隊

d) 上演演目

《黒水河》

(2) インタビュー要録

a) 劇団の沿革

磨溝廟村皮影戯隊は1970年代からある民間劇団（50年代に県人民政府が組織した商県皮影社とは関係がない）。近年、張文強（享年80）、楊啓金（享年86）などの老芸人が相次いで逝去し、危機的状況にある。本来は7～8人で上演するはずが、当日も4人のみで行った（そのため、本来あるはずの漁鼓・簡板も用いなかった）。現在の団長は王建良で、1977年（18歳のとき）、磨溝廟村皮影戯隊の王彦杰に弟子入りした。劇団で用いる影人は自分たちで製作している。1980年代には還願戯の上演が多く、また廟会上演も行う。現在は慶事上演が主。

磨溝廟村皮影戯隊上演風景

b) 上演地域

商洛市（地区）が中心。

c) レパートリー

20～30ほど。韓湘子故事、封神榜故事のほか、『山花姑娘』、『一文銭』など。

d) 劇団の構成

磨溝廟村皮影戯隊インタビュー風景

提門：王建良（47）

板胡：薛明学（74）

板胡：范文哲（53）

管箱：王更深（52）

e) 戯価

1970年代は13～15元、1980年代は200～300元、2000年以降は600元を超えた。

f) 祖師爺

なし。ただし、現在上演前に観音（生子娘娘）を拝している。

g) 音楽

幇唱はあるが、当日は漁鼓と簡板は用いていなかった。

h) 由来

昔、名前は忘れたが、ある“流浪漢”が当地に道情皮影戯をもたらしたとされている。

※“白米虫”のことを指すものと思われる。

6. 周至県弦板腔皮影戯

（1）上演情報

a) 日時

2007 年 8 月 27 日

b) 場所

陝西省周至県王家河村

c) 劇団

周至県西秦木偶皮影芸術団

演出・喇叭：朱彦斌 (64)

操作：張富堂 (65)

二胡・操作：趙巨水 (57)

司鼓・打板：馬志超 (73)

二胡・釘鑼：朱彦勛 (76)

板胡：馬満堂 (59)

二胡：王平全 (56)

周至県収蔵協会にて。左が韓明徳氏。

d) 上演演目

『張奎破澠池』（『封神演義』より）

（2）インタビュー要録

インフォーマントは劇団の各氏。

a) 劇団の由来

同劇団は実質的には業余芸人で構成さ

れていた「周至県広済鎮西歓楽皮影劇団」が母体となっている。周至県には本来皮影戯・木偶戯それぞれの県劇団があったが、それとの直接の継承関係はない。劇団はいずれも 80 年代に活動停止、20 年来劇団が存在しなかった。2006 年に韓明徳氏が出資して芸人を集め、劇団を組織して 2006 年 5 月 1 日に周至県城で上演した。

※韓明徳氏は周市県収蔵協会会長で、文化財取引によって財をなした人物。

b) 上演地域

劇団成立以来、西安市・戸県・洛南県などで上演。

※旧時の上演地域は礼泉県弦板腔とほぼ重なる。

c) レパートリー

台本は古い台本から写したもの。伝統演目 70、現代劇 10 ほど。かつて、礼泉県の弦板腔皮影戯と台本の交換をした。このため礼泉県と周至県の弦板腔のレパートリーは全く同じである。

周至県西秦木偶皮影芸術団上演風景

d) 芸歴

馬志超

60 年代に礼泉県で皮影戯を学ぶ。そのころ周至県周辺には孟家村・西歓楽・朱家査の三つの劇団があったが、西歓楽はすでに活動が半停止状態になっており、馬氏がかつて孟家村の有名芸人であった候三を招いて教えを請い、朱家査の杜智才らとともに上演することになった。候三の没後、その台本を受け継いだ西歓楽は伝統劇 70、現代劇 10 ほどのレパートリーを

周至県西秦木偶皮影芸術団と

得るに至るが、文革後には没落、劇団は活動停止におちいっていた。

馬満堂

60 年代に周至県馬召鎮から西歓楽に参加し、候三に皮影戯を学ぶ。

e) 戯価

60 年代には 8 元から 10 元。

f) 祖師爺

なし。

g) 上演地域・文脈

周至県城を中心に周辺各地から要請を受けて上演。

h) 旧時の習俗

文革後 80 年代までは年間数十回上演していた。皮影戯は専ら夜に演じられ、もっとも上演が多かったのは小麦の収穫後の 7 ～ 9 月。廟会でも演じていた。

i) 上演形式

台本を見ながら演ずる、「翻書影」形式。4 から 6 人で操作と演奏を行う。当地では「四人忙」と称し、一人が複数の楽器を担当することもままある。

j) 影人

県劇団で用いられていたものと他地域から購入したもの。影箱（人形のセットではなく箱そのもの）は県劇団で使われていたもの。

k) 音楽

弦板腔。

l) 舞台

皮影戯専用ではなく、木偶戯も上演できるもの。鉄パイプの組み立て式で、影幕は地上から 1 メートル以上の高さになる。

北京潘家園所得芸能映画資料目録

附：解説

千田　大介

はじめに

北京の東三環南路、潘家園橋付近に位置する潘家園旧貨市場は、1990 年代半ばに自然発生的に形成された青空フリー・マーケットであるが、中国経済のバブル的発展が誘発した骨董収集ブームに後押しされて着実に規模を拡大し、今や中国最大規模の巨大蒐集マーケットにまで成長している。

1990 年代半ば、草創期の潘家園は石印本・宝巻・影巻などの資料が安価かつ大量に入手できる場所として注目を集め、それらの資料を購入・収集した報告や目録が複数の日本人研究者によって発表されている。中国都市芸能研究会でも、数多くの皮影戯影巻を、潘家園で購入している。

それらの古書は次第に流通量が減少するとともに価格が高騰したため、2000 年前後には研究者が個人で収集・購入するのは少々ためらわれるような状況になった。一方、同時期には解放初期から 1980 年代にかけて出版された書籍や档案の類が多く見られるようになった。北京旧城内の大規模再開発が本格化したことにともない、大量の不要になった資料が潘家園に流れ込んだものである。

筆者は、そのようにして潘家園に流出したと考えられる伝統演劇・映画関連の資料を、2000 年以降に数次にわたって大量に購入した。それらには、日本国内には収蔵されていない書籍のほか、解放後の文化政策を研究する上で極めて有益であると思われる資料が数多く含まれている。

以下、目録に先立ち、それら資料の概略および学術的価値について概術する。

資料の概要

前述のように、以下で紹介する資料は、いずれも筆者が2000年から2003年にかけて潘家園で購入したもので、合計730点、大半が伝統劇・映画等の台本である。

伝統劇台本は、2001年3月と2002年2月にまとまった量を購入した。前者はB5判の油印鈔本、後者は小型の活字本が中心で、いずれも中央人民広播電台旧蔵資料である。多くは1950～60年代の文革前の時期、いわゆる17年期のもので、一部に1980年代のものも含まれている。このほか、2002年の秋と2003年の夏に購入したものが十数部含まれる。

映画関連資料は2002年の夏にまとまって購入したものである。こちらも大半が17年期のもので、文芸映画の台本はさほど多くないが、ドキュメント映画や啓蒙・教育映画の台本が多数含まれる。また、映画に関連する技術の解説資料などもある。旧蔵者については判然としないが、表紙に「電影局」と書かれたもの（『“宝草”試種記』、C-scr-e-2）や、国家電影局に宛てた台本審査依頼の書簡がはさまったもの（『帯翅膀的媒人』、C-scr-e-9）が見られることから、国家電影局の関連機関で廃棄されたものが市場に流出したものと推測される。

このほか点数は少ないが、音楽・説唱芸能などの楽譜・台本や、ラジオ劇台本など見られる。

資料的価値

これらの資料は、機関の移転や改組にともなって廃棄されたものと推測される。表紙に「不要」と記された資料が見受けられることがその証左となる。それらはラジオ放送や映画管理などの業務においては不必要だと判断された資料なのであろうが、

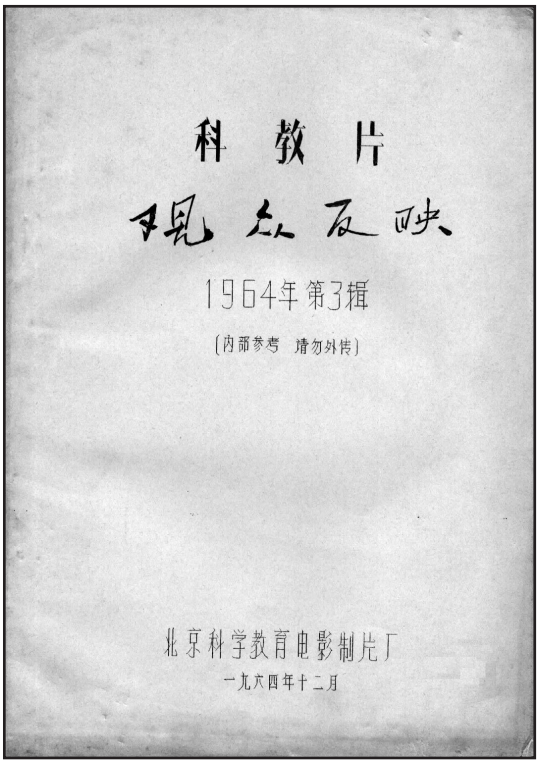
しかし、学術研究上の立場からすると、有用な資料が多数含まれている。

映画関連資料

映画の台本資料は、前述のように大半が17年期のものであり、しかもドキュメンタリーや教育・啓蒙映画が大半を占めている。数十年を経た現在では、ニュース資料的価値や教育・啓蒙的意味が失われているため、中国国内でVCD・DVDなどの形で再版される可能性は乏しく、また台本資料の入手・再版も望めないものであり、資料の希少性は高い。

教育・啓蒙映画では、農村の巡回上映で放映されたのであろう農業・牧畜などの知識を啓蒙するものが最も多いが、そのほかにも、衛生知識を啓蒙するもの、科学知識や地域・民族などを紹介するもの、さらには防空壕の堀りかたといった中ソ対立時期の時代性を移したと思われるものなど、さまざまなジャンルのものが含まれる。

台本以外では、映画を上映した際の観客の反応・問題点などをまとめた『観衆反映』（C-etc-11 ～ 13）が注目される。中国の映画は共産党のプロパガンダメディアの一つと位置づけられており、興行収入を目的とするものではなかった。しかし、制作側には観客の反応を調査して以後の制作にフィードバックして、プロパガンダや教育の効果を高める必要があり、そのために調査員や農村巡回上映スタッフによるレポートがまとめられたものと思われる。いずれも1964 ～ 65年にかけてのもので、当時の


科教片

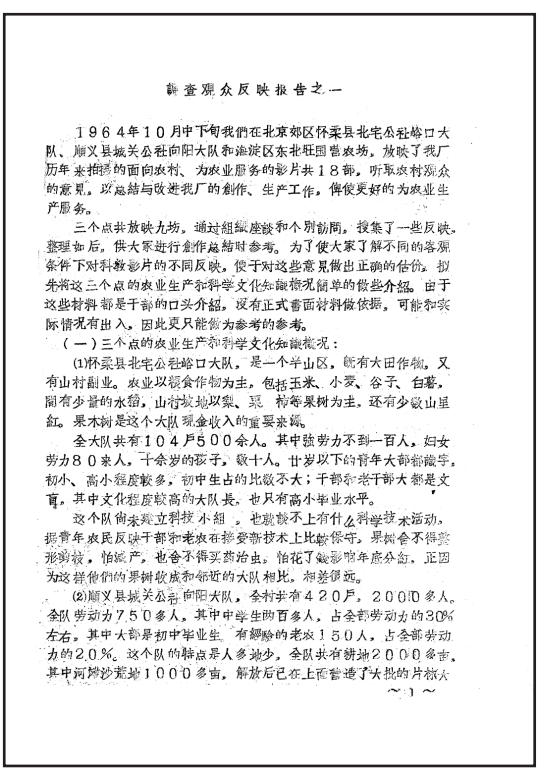
观众反映

1964年第3辑

（内部参考　请勿外传）

北京科学教育电影制片厂

一九六四年十二月


調查觀众反映报告之一

１９６４年１０月中下旬我們在北京郊区怀柔县北宅公社峪口大队、顺义县城关公社向阳大队和海淀区东北旺国营农场，放映了我厂历年来拍摄的面向农村、为农业服务的影片共１８部，听取农村观众的意見，以总結与改进我厂的創作、生产工作，做好更好的为农业生产服务。

三个点共放映九场。通过組織座談和个别訪問，搜集了一些反映。整理如后，供大家进行創作总結时参考。为了使大家了解不同的客观条件下对科教影片的不同反映，便于对这些意見做出正确的估价，拟先将这三个点的农业生产和科学文化知識概况簡单的做些介紹。由于这些材料都是干部的口头介紹，沒有正式書面材料做依据，可能和实际情况有出入，因此更只能做为参考的参考。

（一）三个点的农业生产和科学文化知識概况：

(1)怀柔县北宅公社峪口大队，是一个半山区，既有大田作物，又有山村副业。农业以粮食作物为主，包括玉米、小麥、谷子、白薯，間有少量的水稻，山村坡地以梨、枣、柿等果树为主，还有少数山里紅。果木树是这个大队現金收入的重要来源。

全大队共有１０４戶５００余人。其中强劳力不到一百人，妇女劳力８０来人，十余岁的孩子，数十人。廿岁以下的青年大都識字，初小、高小程度較多，初中生占的比数不大；干部和老干部大都是文盲，其中文化程度較高的大队长，也只有高小毕业水平。

这个队尚未建立科技小組，也就談不上有什么科学技术运动，据青年农民反映干部和老农在指导农业技术上比較保守。果树舍不得整形剪枝，怕減产，也舍不得买药治虫。怕花了錢影响年底分紅，正因为这样他們的果树收成和邻近的大队相比，相差很远。

(2)顺义县城关公社向阳大队，全村共有４２０戶，２０００多人。全队劳动力７５０多人，其中中学生約百多人，占全部劳动力的30%左右。其中大都是初中毕业生，有經驗的老农１５０人，占全部劳动力的20%。这个队的特点是人多地少，全队共有耕地２０００多亩，其中河灘沙荒地１０００多亩。解放后已在上面普遍了大批的片林大

～１～

『観衆反映』（C-etc-11）

映画制作状況や上映状況を考察する上で貴重な資料であるばかりでなく、当時の科学知識教育の実態や農民・民衆の教育水準を理解する上でも恰好の資料であると言えよう。

伝統劇・芸能関連資料

本資料には多くの地方劇台本が含まれる。蒲劇・河南曲劇などの地方劇に関しては、口述を整理した伝統劇目が多く含まれているが、それらの多くは排印本が刊行されておらず、閲覧・入手が極めて困難である。また、各地方劇の新作劇台本が数多く含まれるが、その大多数はいまや上演されることのないものであり、台本を収蔵する機関は中国にもほとんど無い。これらも 17 年期の地方演劇の実態を検討する上で、恰好の資料であると言えよう。

稿本、第～次修訂本など、定本完成以前のバージョンが多く見られることも特色として挙げられよう。例えば、『白毛女』はいわゆる八大革命様板戯の一つとして知られるが、X-jj-1 の京劇版は「未定稿」であり、後に出版された排印本やスコアとの比較によって、様板戯の制作過程の一端が明らかになるものと期待される。様板戯としては京劇『沙家浜』（X-jj-26）も、1965 年に滬劇から京劇に移植された最初期の版の油印本である。このほか、北方崑曲『文成公主』（X-bk-4 ～ 6）のように、第三次修訂排練本・油印本・排印本など、複数のバージョンが揃っているものも見られる。

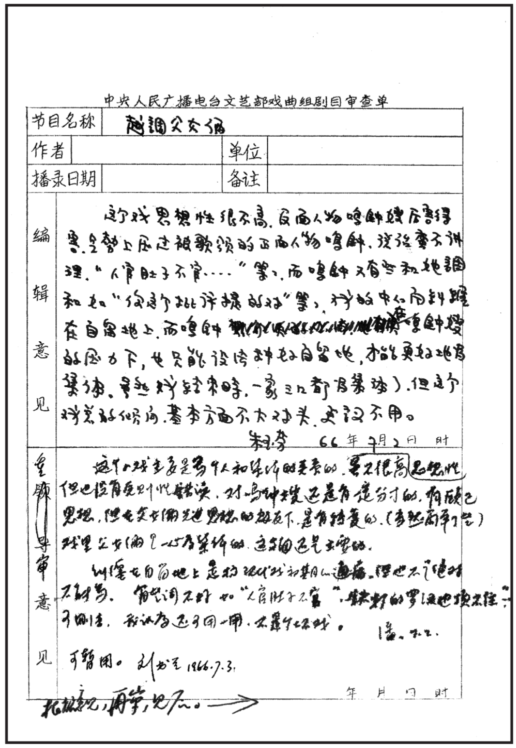
台本以外では、朝鮮戦争の際の慰問団の活動を地域・芸能種類ごとにまとめた統計資料が注目される（表紙が失われタイトルが不明のため、目録中では『中国人民第三次赴朝慰問文工団報告』（X-etc-21）と仮称する）。

ラジオ放送と伝統芸能

前述のように、本資料の戯曲関連資料の大半は中央人民広播電台の旧蔵に係るが、それらの中には放送審査の用紙がはさまったもの、あるいは直接書きつけられたものが見られる。中

国において、番組・映画などの制作に先だって厳重な台本審査が行われていることが知られているが、その手順や方法は部外秘であり、断片的な情報は関係者の談話や証言で漏れ伝わってくるものの、審査用紙を実際に目にすることはほとんど不可能である。

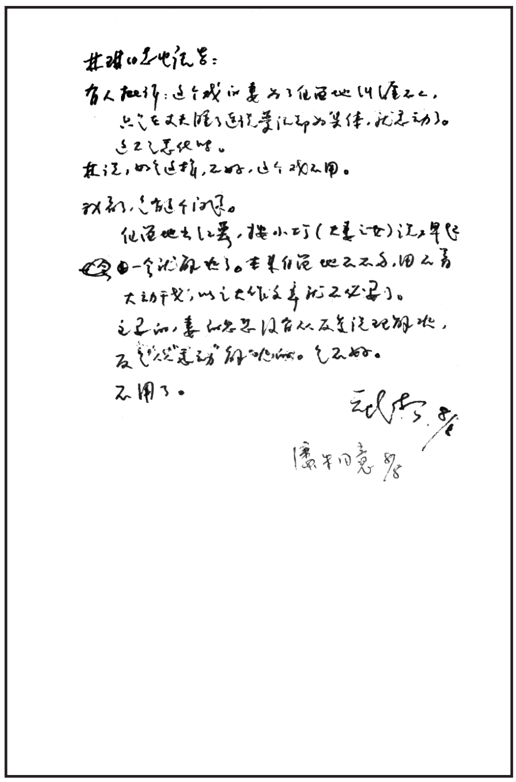
放送審査コメントが附されたものは、三十数点見られる。簡単に「不用播」とだけ書かれたものもあれば、詳細に審査コメントが書かれたものもある。例えば、越調『父女俩』（X-hnyd-3）には、「中央人民広播電台文芸部戯曲組稿箋」と「中央人民広播電台文芸部戯曲組劇目審査単」の二種の審査用紙が附され、次のような審査コメントが見える。


中央人民广播电台文艺部戏曲组剧目审查单

节目名称	越调父女俩		
作者		单位	
播录日期		备注	

编辑意见

重审意见



越調『父女俩』審査コメント

這個戲思想性很不高。反面人物鳴鐘嫂厲害得害，氣勢上壓過被歌頌的正面人物鳴鐘。……建議不用。（編輯意見，66.7.2）

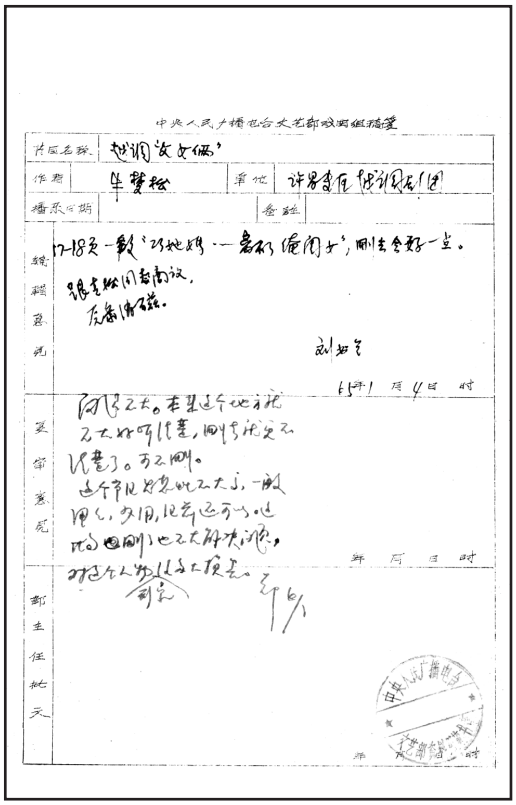
這個戲主要是寫個人和集體的關係的，思想性雖不很高，但也沒有原則性的錯誤。……我以為還可用一用，不是個壞戲。（重審，7.2）

暫可用。（7.3）

有人批評：這個戲的妻為了自留地糾纏不已……我都想這個問題。……不用了。(8.8)

康朱同意。（8.8）

放送すべきでないとする意見に、二次審査でそれほど悪くはないとの修正意見が付き、一月を置いて再び審査がなされ、最終的に不採用が決まっ


中央人民广播电台文艺部戏曲组播音

节目名称 越调"父女俩"

作者 牛赞秋 单位 许昌专区豫剧团

播音日期 备注

编辑意见 17-18页一段"刘地主……名叫'偏闭女'"删去全部一页。

领导意见 删如是

1957 1 6日 时

部主任批示 阿多文夫。本里这个地方就文化水平可能差，删与此文化程度了。为之删。这个地方好像比较多，一般讲，文化，比较这方面，这地方删一些文化好大问题，对这个人物比较有损害。

1/6

越調『父女俩』審査コメント

ている。

最初の意見では、悪役が手強すぎて、共産党の農業集団化に向かおうとする主人公を圧倒していることなどから「思想性」が低いと判断されているが、これは当時のラジオ放送で何が重視されていたのがを如実に物語るものであり、八大様板戯で集大成される革命現代劇の善悪二分的人物形象の系譜を考察する上でも興味深い資料である。また、中央の大メディアの放送審査が、如何に地方劇に対して監督・指導機能を発揮していたのかを、具体的に知ることができるし、審査用紙の様式から、審査が通常二段階ないしは三段階で行われたことなど、審査手順もわかる。

このほか、中央人民広播電台での放送資料として実際に使われたとおぼしい、手書きで歌詞を改めたり上演時間を記入した資料も多く見られる。

これらの資料をもとに、審査コメントと台本の内容とを対照研究したり、あるいはラジオ局による台本改訂の実態を精査したりすることで、十七年期のメディア政策の実態やその伝統劇に対する影響を具体的に解明できるものと期待される。

おわりに

以上に紹介したように、本資料は閲覧・入手が困難であるという希少性のみならず、研究上の価値も大いに認められ、今後、演劇学にとどまらずメディア論・社会史・政治史などさまざまな立場から総合的に研究されるべきものであると考える。その全貌は、以下の目録をご参照いただきたい。

なお、本資料は個人所蔵に係るため、管理上の問題から、当面中国都市芸能研究会同人に向けて研究資料として公開し、しかるべき時期に図書館等に寄贈して一般公開するものとする。

凡例

一　本目録は千田大介が北京潘家園で収集した伝統劇・伝統芸能・映画などの関連資料、約 730 点の目録である。

一　分類は、全体を戯曲・曲芸・歌劇・話劇・音楽・電影・広播・文史哲・其他の九種に大別し、それぞれ資料の性質に基づき下部分類した。

　い　戯曲劇種の排列順は、『中国戯曲劇種手冊』の掲載順に従った。

　ろ　映画資料は台本資料とその他に二分し、台本資料はさらに、故事片・記録片・教育片に分類した。

一　書皮・封面等が失われ題名がわからないものについては、[]（ブラケット）内に仮題名を記入した。

一　タイトル後に「A」と記したものは 2001 年 3 月購入分、「B」と記したものは 2002 年 2 月購入分であり、いずれも中央人民広播電台の旧蔵に係わると思われる資料である。

一　形態情報については以下のように略記した。

油：油印本　排：排印本　復：カーボン紙コピー本
鈔：鈔本　洋：洋装本　簡：簡易製本本（ホチキスどめ、ペーパーファスナー製本等）　散：未製本

一　表記は繁体字で統一した。

1. 戲曲

1.1. 京劇

白毛女　未定稿，中國京劇院演出本　A

歌劇原著：賀敬之、丁毅，京劇改編：馬少波、范鈞宏　油鈔　簡　B5　61 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-jj-1**

京劇　陳三與五娘

1979　昆明市京劇團　油鈔　簡　B5　32 頁　**X-jj-2**

赤壁之戰　後部初稿

鈔　簡　B5　68 頁　**X-jj-3**

狄青風雪奪征衣　京劇　A

林彥、魯揚、馮育坤、陳嘉章　油鈔　簡　B5　18 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-jj-4**

現代京劇　東鄰女　主旋律曲譜

造腔：王蘭秋、黃山、林慶華　1981　福建省京劇團　排　洋　B4　25 頁　**X-jj-5**

董小宛　A

1958　油鈔　簡　B5　130 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-jj-6**

九場京劇　洞庭洲　修改本　A

1977　複鈔　簡　B5　76 頁　**X-jj-7**

封侯恨　京劇　A

張桂軒先生藏本，張桂軒、曾憲洛整理　1957　南京市文化局劇目工作委員會　油鈔　簡　B5　10 頁　**X-jj-8**

《舊劇集成》第六冊　趕三關、別寒窯　京朝派標準戲詞　A

潘俠風主編　1939　博雅書局　排　洋　B5　30 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-jj-9**

高亮趕水　重修本　A

中國京劇院文學組、翁偶虹編劇　1958　油排　簡　B5　26 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-jj-10**

革命現代京劇短小唱段選集　B

國務院文化組文藝創作領導小組編　1974　人民音樂出版社　排　洋　B6　130 頁

※ 北京市運輸公司二場圖書館舊藏　**X-jj-11**

洪湖赤衛隊　京劇，北京京劇二團演出本　B

范鈞宏、袁韻宜改編　1964　中國戲劇出版社　排　洋　B6　88 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-jj-12**

紅嫂　京劇，唱詞　A

油鈔　簡　B5　2 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-jj-13**

京劇　蝴蝶盃　B

關戍　1954　北京寶文堂書店　排　洋　B6　87

頁 **X-jj-14**

化子罵相 京劇 A

張桂軒先生藏本，張桂軒、曾憲洛整理 1957 南京市文化局劇目工作委員會 油鈔 簡 B5 11 頁 **X-jj-15**

紀念荀慧生先生

1981 四川人民出版社 排 洋 B6 101 頁 **X-jj-16**

江漢漁歌 A

田漢 中國京劇院二團 油鈔 簡 B5 78 頁

※ 附唐山京劇團演出說明 **X-jj-17**

節振國 修改本 A

唐山京劇團集體創作 1964 油鈔 簡 B5 80 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-jj-18**

節振國 京劇，選場 A

鈔 簡 B5 4 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組劇目審查單〉 **X-jj-19**

[京劇選段] A

鈔 簡 B5 4 頁

※《女起解》、《龍鳳呈祥》、《宇宙鋒》、《轅門射戟》 **X-jj-20**

京劇韻解 A

北京市文史研究館作者館員徐凌霄 1959 油鈔 簡 B5 61 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-jj-21**

呂布與貂蟬 A

1981 北京軍區戰友京劇團 油鈔 簡 B5 28 頁 **X-jj-22**

京劇劇本 納諫記 初稿 A

孫方山 北京京劇團 油鈔 簡 B5 59 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-jj-23**

人面桃花 A

歐陽予倩 1982 桂林戲曲學校實驗桂劇團 油鈔 簡 B5 25 頁 **X-jj-24**

三家福 根據藐劇整理 A

中國京劇院文學組整理，范鈞宏、陳延齡執筆 複鈔 簡 B5 91 頁 **X-jj-25**

北京京劇團 沙家浜 A

1965 油鈔 簡 B5 42 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-jj-26**

上任 京劇，黑龍江省戲曲學校實驗劇團演出本 B

王毅 1966 中國戲劇出版社 排 洋 B6 40 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-jj-27**

京劇 十兩銀 B

何遲 1955 北京寶文堂書店 排 洋 B6 17 頁 **X-jj-28**

全本 孫夫人劇本 B

排 簡 B6 8 頁 **X-jj-29**

頭集　太平天國　京劇　A

創作委員會集體討論，王飛鴻編劇　油鈔　簡　B5　73 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-jj-30**

京劇　無底洞　中國京劇院一團演出本　B

景孤血整理　1958　北京寶文堂書店　排　洋　B6　34 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-jj-31**

雁翎甲　A

油排　簡　B5　76 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-jj-32**

楊八姐智取金刀　A

安娥　1963　雲南京劇院　油排　簡　B5　62 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-jj-33**

京劇　楊任挖目　A

老藝人薛永昇珍藏本　恩施京劇團　油鈔　簡　B5　13 頁

※ 中央電台舊藏　**X-jj-34**

京劇　瑤山春　主旋律譜

1974　廣西壯族自治區代表團　油鈔　簡　B5　85 頁　**X-jj-35**

京劇　瑤山春

廣西壯族自治區京劇團創作組集體創作，周民震執筆　1974　廣西壯族自治區代表團　排　簡　B5　54 頁　**X-jj-36**

1964 年京劇現代戲觀摩演出大會參考資料（四）

1964　排　洋　B5　24 頁　**X-jj-37**

忠王李秀成　A

複排　簡　B5　54 頁

※ 後部有缺　**X-jj-38**

1.2. 北方崑曲

紅霞　新崑曲　A

原作：石漢，改編：金紫光、黃勵　北方崑曲劇院　油排　簡　B5　57 頁　**X-bk-1**

明代大戲劇家湯顯祖原著崑曲傳統名劇　牡丹亭　演出本　A

劇本整理：時強、傳雪漪　1981　北方崑曲劇院　油鈔　簡　B5　100 頁　**X-bk-2**

跳牆看棋（西廂記）　崑曲　A

教師：韓世昌，譯譜：吳南青　北方崑曲劇院　油鈔　簡　B5　17 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-bk-3**

文成公主　第三次修改排練本　A

許寶駒遺作，黃勵、時強等整理　1960　北方崑曲劇院　油鈔　簡　B5　63 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-bk-4**

文成公主　A

許寶駒編劇，黃勵　時強、白雲生整理　排　簡　B5　14 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　剪報

X-bk-5

文成公主　崑曲：新編歷史劇　A

原著：許寶駒，改編：翁偶虹、黃勵　時強、白雲生、陳延齡　北方崑曲劇院　油排　簡　B5　56 頁　X-bk-6

西廂記　A

雜劇原著：（元）王實甫，崑曲改編：馬少波　1982　北方崑曲劇院　油排　簡　B5　61 頁　X-bk-7

八場新編歷史劇　血濺美人圖　北方崑曲劇院演出本　A

陳奔、滌新、習誠、王亙、肇桓　油排　簡　B5　53 頁

※ 中央台舊藏　X-bk-8

1.3. 河北梆子

戲曲藝術片　“蝴蝶盃”選曲　河北梆子唱腔　B

陳其芬記譜整理　1959　中國電影出版社　鈔　簡　A6　61 頁　X-hbbz-1

河北梆子表演專業劇目教材　樊江關　B

北京市戲曲學校編　中國戲劇出版社　排　洋　B6　31 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　X-hbbz-2

空城計　河北梆子，唱詞　A

排　洋　B5　3 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　X-hbbz-3

河北梆子表演專業劇目教材　三擊掌　B

北京市戲曲學校編　中國戲劇出版社　鈔　簡　B6　11 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　X-hbbz-4

1.4. 評劇

評劇　愛情　B

劉文卿、紫江　1957　劇協天津分會戲曲劇本創作委員會、天津市文化局劇目組　油鈔　簡　B6　75 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　X-pj-1

評劇　白洋淀的春天　北京市第一屆戲曲觀摩演出劇本選　B

李克、羅揚　1955　北京大眾出版社　排　洋　B6　62 頁

※ 中央廣播事業局資料室舊藏　X-pj-2

遼寧戲曲叢書，評劇　百花台　B

月影　1957　遼寧人民出版社　排　洋　B6　50 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏　X-pj-3

棒打薄情郎　評劇　A

複排　鈔　簡　B5　44 頁　X-pj-4

評劇　別當小事　B

炬令改編　1958　吉林人民出版社　排　洋　B6　15 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　X-pj-5

渤海怒濤　十二場現代劇　B

天津市評劇院集體創作　1960　天津市評劇院印　油鈔　簡　B6　112 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-6**

擦亮眼睛 A

張弓弩原作，中國評劇院改編演出本 1955 油鈔 簡 B5 64 頁 **X-pj-7**

陳三五娘 評劇本 A

整理：鮑金樓 1955 北京民眾評劇團 油鈔 簡 B5 80 頁

※ 附演出說明書 **X-pj-8**

現代大型評劇 春光曲 根據金劍同名話劇改編 A

改編：李浩章 1964 黑龍江省戲劇工作室 排洋 B6 97 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-9**

春花曲 A

根據馮德英小說苦菜花改編，高琛 中國評劇院 油鈔 簡 B5 67 頁

※ 附《劇目介紹》 **X-pj-10**

春色滿園 評劇 A

秉注、清揚 1960 油鈔 複鈔 簡 B5 34 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-pj-11**

春香傳 A

中國評劇院 油排 簡 B5 77 頁 **X-pj-12**

打狗勸夫 未定稿 A

油鈔 簡 B5 29 頁

※ 廣播事業局文藝廣播編輯部舊藏 第一屆全國戲曲會演大會劇目 **X-pj-13**

丹河曲 評劇 B

蘇寧 吉林人民出版社 排 洋 B6 76 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-pj-14**

黨的女兒 A

林杉原著，上海市人民淮劇團改編 1958 北京實驗評劇團藝委會 排 簡 B5 69 頁 **X-pj-15**

評劇《杜鵑山》唱腔簡介 A

瀋陽評劇院一團 王其珩 1963 鈔 簡 B5 23 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-16**

杜十娘怒沉百寶箱 評劇 A

何遲 195? 油鈔 簡 B5 39 頁 **X-pj-17**

評劇 奪陣地 B

黑龍江省評劇團集體創作 1965 北方文藝出版社 排 洋 B6 31 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-18.1~2**

關漢卿名著評劇改編本 緋衣夢 B

高琛改編 1958 北京寶文堂書店 排 洋 B6 24 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-pj-19**

評劇 夫婦合作 附曲譜 B

旅大市評劇團集體改變，譚芳業執筆，張引、劉長海記譜 1956 遼寧人民出版社 排 洋 B6 102 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏 **X-pj-20**

評劇　夫妻合作　B

心羽原著，旅大評劇團集體改編，譚芳業執筆　1955　遼寧人民出版社　排　洋　B6　38 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-21**

夫妻挑戰　遼寧省代表隊演出　旅大運輸公司業餘文攻對集體創作　B

韓旭執筆　中國公路運輸公會全國委員會文藝會演宣傳組　油鈔　簡　B6　22 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-22**

評劇　夫妻之間　北京人民藝術劇院下廠組集體創作　B

紀有誠改編　1954　北京寶文堂書店　排　洋　B6　23 頁

※ 中央廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-23**

評劇　婦女代表　B

孫芋原著，楊紫江改編　1954　天津通俗出版社　排　洋　B6　72 頁

※ 中央廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-24**

評劇　感親孝祖　B

李芳田、蘇寧整理，蘇寧執筆　1958　吉林人民出版社　排　洋　B6　34 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-25**

評劇　告金扇　B

吉林省文化局戲曲研究室、百花社編輯，李岱校訂　1957　吉林人民出版社　排　洋　B6　38 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-26**

評劇　告金扇　B

吉林省文化局戲曲研究室、百花社編輯，李岱校訂　1957　吉林人民出版社　排　洋　B6　38 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-27**

歌唱社會主義建設的突擊手　評劇聯唱　A

鈔　簡　B5　12 頁　**X-pj-28**

小型評劇　公社花開幸福來　B

中國評劇院專業、業餘作者集體創作　1960　中國戲劇出版社　排　洋　B6　12 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-29.1~2**

閨女大了　六場生活喜劇　A

編劇：李漢雲、高歌　天津評劇院　油排　簡　B5　75 頁　**X-pj-30**

評劇　閨女的心　B

話劇原著：胡蘇，評劇改編：伍懷秋　1954　北京寶文堂書店　排　洋　B6　30 頁

※ 中央廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-31**

十場工人鬥爭史劇　海河兒女　A

楊紫江、趙穎、劉文卿　1963　天津市評劇院　油鈔　簡　B5　72 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-32**

海河兩岸鮮花開　評劇　A

天津市評劇團　油鈔　簡　B5　43 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-33**

評劇　韓梅梅　B

馬烽原著，光波改編　1955　北京寶文堂書店
排　洋　B6　41 頁
※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-34**

群眾演唱叢刊　好媳婦　評劇　B
蔣振亞　1964　北京出版社　排　洋　B6　40 頁
※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-35**

何氏賣身　評劇　A
喬世恒口述，任永安整理　鈔　簡　B5　23 頁
X-pj-36

全國文藝節目交換資料，評劇　紅色的種子　A
吉林人民廣播電台文藝部　油鈔　簡　B5　38 頁
※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附演出說明書　**X-pj-37**

戲劇小叢書，小評劇　花衣衫　另《勝利年》　B
梨園等　1958　遼寧人民出版社　排　簡　B6　28 頁
※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-38**

評劇　花園會　B
百花社編輯，劉艷霞、成宗瑞口述，蘇寧記錄
1957　吉林人民出版社　排　洋　B6　22 頁
※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-39**

評劇表演專業劇目教材　花園會　B
遼寧戲曲學校編　1963　中國戲劇出版社　排
洋　B6　31 頁
※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-40**

評劇　還是入社好　B
墨林、陳英　1955　遼寧人民出版社　排　洋
B6　22 頁
※ 中央廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-41**

會計姑娘、降龍伏虎、苦菜花　A
散　B5　11 頁
※ 附《會計姑娘》之〈中央台文藝部稿箋〉
X-pj-42

急浪丹心　A
根据同名歌劇整理，天津市評劇院一團演出，根据天津電台意見改本　1966　鈔　簡　B5　43 頁
※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　缺第三場封面作《急浪舟心》 附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組稿箋〉　**X-pj-43**

降龍伏虎　A
作劇：段承濱、杜士俊，改編：胡沙　中國評劇院　油鈔　簡　B5　70 頁
※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-44**

結婚之前　A
原著：駱賓基，改編：集體討論、安西執筆
1965　中國評劇院　油排　簡　B5　60 頁
※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-45**

借馬　A
銀燕　1957　北京市評劇團　油鈔　簡　B5　13 頁　**X-pj-46**

金印記（上・下）　評劇　A
中國評劇院整理演出本　油排　簡　B5　38・52 頁　**X-pj-47.a~b**

評劇　井上風波　A

趙國海　1964　春風文藝出版社　排　洋　B6　25 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-48**

評劇　競賽　小歌舞劇　A

趙永江、張樣華　油鈔　簡　B5　10 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-49**

哭井　評劇　B

齊東整理　1959　北京實驗評劇團藝術室　油鈔　簡　B6　14 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-50**

評劇　快嘴李翠蓮　B

1957　上海文化出版社　排　洋　B6　19 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-51**

雷公　春節文藝叢書之八　B

察哈爾省文聯籌委會　排　洋　B6　41 頁

※ 本為新編晉劇劇本　**X-pj-52**

李十娘　評劇整理本　A

劉保緜整理　油鈔　簡　B5　29 頁　**X-pj-53**

李雙雙　評劇　A

根據李准小說《李雙雙小傳》改編，改編者：黃秉法、陸清揚　1960　鈔　簡　B5　60 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-54**

李雙雙　評劇，根據李准電影劇本《李雙雙》改編　B

高琛、郭啟宏等集體討論，高琛執筆　1963　中國戲劇出版社　排　洋　B6　79 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-55.1~2**

評劇　李雙雙　B

原著：李准，改編：任峰、老邊、任煒、之凡　1963　春風文藝出版社　排　洋　B6　72 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-56**

北京市戲曲劇目選　李雙雙　評劇　B

李准原著，高琛、郭啟宏等集體討論，高琛執筆　1964　北京出版社　排　洋　B6　74 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-57**

李雙雙　評劇　A

原著：李准，改編：高琛　中國評劇院　油排　鈔　簡　B5　62 頁

※ 付演出說明書　**X-pj-58**

烈火丹心　B

黑龍江省評劇團藝術室編劇，吳家來執筆　1964　北方文藝出版社　排　洋　B6　88 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-59.1~2**

劉翠屏哭井　評劇　B

錢醉竹改編　旅大市府文化局評劇團　油鈔　簡　B6　56 頁　**X-pj-60**

劉伶醉酒　評劇　A

唐山市實驗評劇團　油鈔　簡　B5　15 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-61**

劉雲打母　評劇　B

1957　北京寶文堂書店　排　洋　B6　30 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-62**

戲劇小叢書，小評劇　買琴　B

孫英、萬田、延玉　1958　遼寧人民出版社　排　簡　B6　16 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-63**

評劇　母親　A

根據滬劇改編，瀋陽評劇院　1961　油鈔　簡　B5　60 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組稿箋〉、〈第一屆戲曲青少年演員學員彙報演出節目單〉　**X-pj-64**

評劇　鬧花堂　B

鄧辛安　1960　春風文藝出版社　排　洋　B6　82 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-65**

鬧嚴府　評劇　A

油鈔　簡　B5　73 頁　**X-pj-66**

評劇　霓虹燈下的哨兵　A

根據沈西蒙（執筆）莫雁、呂興臣同名話劇改變，改編：徐固若、王明樓等　1963　瀋陽評劇院二團　油鈔　簡　B5　72 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附演出說明書　**X-pj-67**

年青的一代　“肖奶奶回憶”一段　A

排　簡　B5　1 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　批寫廣播審查　**X-pj-68**

遼寧戲曲叢書，評劇　牛布衣　B

徐汲平改編　1957　遼寧人民出版社　排　洋　B6　60 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-69**

牛郎織女　評劇　B

范鈞宏、何異旭、邱炘、任以雙編寫，黃雨秋整理　中央文化部第一屆全國洗去觀摩演出大會　排　洋　B6　32 頁

※ 北京人民廣播電台編輯部文藝科舊藏　**X-pj-70**

評劇　女貨郎　B

曹克英改編　1964　春風文藝出版社　排　洋　B6　18 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-71**

新評劇　女組長　B

北京市評劇公會業務組　1953　北京自強書局　排　洋　B6　27 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-72.1~2**

一九六五年全國電台文藝節目交換文字資料　評劇選段資料　A

1965　遼寧人民廣播電台　油鈔　簡　B5　22 頁

※《六號門》、《沙家浜》、《紅燈記》、《江姐》、《椰林兒女》、《黛娜》、《霓虹燈下的哨兵》、《瓊花》、《豐收之後》　**X-pj-73**

戲劇小叢書，小評劇　巧鳳改嫁　B

慕人改編　1958　遼寧人民出版社　排　簡　B6

12 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-pj-74**

青春紅似火 評劇 A

改編：胡沙、高琛、劉敏庚 1966 油鈔 簡 B5 89 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 《革命戰友》，《在工地上》，《去接王傑的槍》 附演出說明書 **X-pj-75**

人往高處走 評戲 B

馬德明改編 1954 河北人民出版社 排 洋 B6 66 頁

※ 中央廣播事業局資料室舊藏 **X-pj-76**

群眾演唱叢刊 三丑會 評劇 B

劉厚明 1963 北京出版社 排 洋 B6 19 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-77**

三代人 評劇 A

根據沈默君、羅靜電影文學劇本《自有後來人》改編，呂子英、赫增蔭改編 1963 中國評劇院 油鈔 簡 B5 47 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-78**

評劇 三擊掌 B

筱金鈴、菊桂笙、杜維城改編 1957 吉林人民出版社 排 洋 B6 28 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏 **X-pj-79**

評劇 三難新郎

鈔 散 B5 2 頁 **X-pj-80**

三月三 評劇 A

高力澤 1961 中國評劇院二團 油鈔 簡 B5 14 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-81**

山村的姑娘 評劇 B

王昌言 1955 河北人民出版社 排 洋 B6 76 頁 **X-pj-82**

山村女兒 劇本 B

王昌言 1959 北京寶文堂書店 排 洋 B6 59 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-pj-83**

評劇 上任 B

王毅 1965 北方文藝出版社 排 洋 B6 14 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-84**

戲劇小叢書，評劇 誰是女婿 B

溫莉 1958 遼寧人民出版社 排 簡 B6 44 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-pj-85.1~2**

時間就是鋼 B

呂君樵 1958 北京寶文堂書店 排 洋 B6 20 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-pj-86**

雙教子 戲曲 B

湖北省孝感縣創作編劇，湖北省戲曲學校專業教

研組整理　1965　中國戲劇出版社　排　洋　B6　30 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-87**

評劇曲譜　四姐妹誇夫　B

中國評劇院編，李梓森、劉佩亞編劇，中國評劇院一隊樂隊音樂設計，唐建記譜　1959　音樂出版社　排　洋　B6　24 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-88**

四勸　新評劇，巧蘭演出本　B

齋東改編　1953　北京寶文堂書店　排　洋　B6　18 頁

※ 文藝部唱片組舊藏　**X-pj-89**

宣傳總路綫文藝演唱叢書　四姊妹誇夫　戲曲　B

中國評劇院，孟雨田、胡斌著　1958　河南人民出版社　油鈔　洋　B6　12 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-90**

評劇　唐小煙　B

華含、任桂林　1953　華北人民出版社　排　洋　B6　109 頁

※ 文藝部唱片組舊藏　**X-pj-91**

唐知縣審誥命　A

1956　北京市評劇團抄於濟南　鈔複　簡　B5　30 頁

※ 附剪報　**X-pj-92**

貼窗花　評劇　B

排　簡　B6　3 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏《河北日報》之剪報　**X-pj-93**

王婆罵雞　評劇　B

江風整理　1959　北京寶文堂書店　排　洋　B6　14 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-94**

戲劇小叢書，評劇　忘本回頭　B

仲克　1958　遼寧人民出版社　排　簡　B6　53 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-95**

我們石油工人來大慶

歐陽菊笙唱　鈔　散　B5　4 頁

※ 批寫廣播審查　**X-pj-96**

小姑賢　評劇　A

東北戲曲研究院評劇團　1953　油鈔　簡　B5　30 頁　**X-pj-97**

評劇　小姑賢　B

東北戲曲研究院整理　1954　東北人民出版社　排　洋　B6　14 頁

※ 中央廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-98**

評劇　小女婿　B

曹克英　1953　東北人民出版社　排　洋　B6　98 頁

※ 昭烏達盟京劇團舊藏　**X-pj-99**

新對象　評劇　B

安西　1960　北京寶文堂書店　排　洋　B6　16 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-100**

三幕七場歌劇 心上的人 B

王血波 1953 天津通俗出版社 排 洋 B6 102 頁 **X-pj-101**

三幕七場新評劇 心上的人 B

王血波 1953 天津通俗出版社 排 洋 B6 122 頁

※ 中央廣播事業局資料室舊藏 **X-pj-102**

星星之火 評劇 A

原著：上海人民滬劇團，整理：房山評劇團 油鈔 簡 B5 59 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-pj-103**

修水庫 評劇 A

北京市評劇團 油鈔 簡 B5 17 頁 **X-pj-104**

評劇 胭脂判 B

曹克英改編 1956 遼寧人民出版社 排 洋 B6 52 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏 **X-pj-105**

燕趙兒女 評劇，根據梁斌小說《紅旗譜》改編B

胡沙改編 1959 北京寶文堂書店 排 洋 B6 46 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-pj-106**

楊三姐告狀 老本 A

1957 油鈔 簡 B5 75 頁

※ 卷末寫有：「天津市評劇團進步分團旅津塘演出時劉兆祥老師付真誠幫助完成此本」 **X-pj-107**

評劇 要家當 B

崔寶庫、溫遠 1965 北方文藝出版社 排 洋 B6 17 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-108**

椰林兒女 評劇 A

瀋陽評劇院創作組 1965［錄音］油鈔 簡 B5 6 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組劇目審查單〉、〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組稿箋〉 **X-pj-109**

一場風波 根據石果小說《風波》改編 B

陳正魯編劇 1954 河北人民出版社 排 洋 B6 83 頁

※ 中央廣播事業局資料室舊藏 **X-pj-110**

評劇 一個筆記本 B

張痕 1956 通俗文藝出版社 排 洋 B6 48 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-111**

小型地方戲 一家人 B

六安縣西安集業餘劇團集體創作 1955 通俗讀物出版社 排 洋 B6 30 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-pj-112**

評劇 一顆滾珠 B

哈爾族市評劇團集體創作，嚴流執筆 1965 北方文藝出版社 排 洋 B6 41 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pj-113.1~2**

農村演唱小叢書　一領蓆　B

陳正、胡慶遠、樹原　1963　河北人民出版社　排　洋　B6　46 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-114**

新評劇　一針一線為和平　又名春節獻禮　B

評劇創作研究組編　1953　北京自強書局　排　洋　B6　8 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 《搶種季節》、《一領席》、《老楊醫牛》　**X-pj-115**

遼寧戲曲叢書，評劇　移花接木　B

張痕　1957　遼寧人民出版社　排　洋　B6　65 頁

※ 文藝部唱片組舊藏　**X-pj-116**

評劇　意中緣　B

李笠翁原著，高璟改編　上海文化出版社　排　洋　A6　72 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-117**

意中緣　評劇　A

原著：李漁，改編：高琛　中國評劇院　油排　簡　B5　58 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-118**

現代抒情喜劇　銀河灣　A

張寶申、劉成林　1981　油鈔　簡　B5　78 頁

※ 中國評劇院一團演出本　**X-pj-119**

評劇　銀河灣　曲譜　A

唱腔指導：新鳳霞、張筠青，唱腔、音樂設計：韓振華、曹華、陳金聲、黃平、李玲、于小杜

1982　中國評劇院資料室　油鈔　洋　B4　38 頁

※ 中國評劇院一團演出本　**X-pj-120**

英雄的母親　評劇　A

根據李冰等同志評劇本《母子英雄》並參照當事人馬維樣同志記錄材料《馬母》改編，改編：華黎　1959　北京市通州區評劇團　油鈔　簡　B5　90 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　有前言　**X-pj-121**

英雄列車　評劇　A

中國評劇院改編　湖南省花鼓戲劇院　油鈔　簡　B5　51 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-122**

春節演唱材料　應徵前夕　評劇　B

方澤泉　1955　北京寶文堂書店　排　洋　B6　47 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-123.1~2**

評劇　迎春花開　B

王立夫、張文鳴　1958　遼寧人民出版社　排　簡　B6　48 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-124.1~2**

評劇　迎親記　B

王春霖　1963　春風文藝出版社　排　洋　B6　26 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-125**

評劇　月亮灣　遼東省評劇團演出本　B

劉燧、溫和、劉小石話劇原作，林明德、筱朋影、何路安、李筏、徐甦改編，徐甦執筆　1954　北京寶文堂書店　排　洋　B6　42頁

※ 中央廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-126**

現代戲曲創作叢書　月難圓　八場評劇　B

張福先、張慧文　1982　中國戲劇出版社　排洋　B6　95頁　**X-pj-127**

月難圓

鈔　簡　B5　10頁　**X-pj-128**

戰鬥的青春　評劇，暫名　A

原著：《青春之歌》，原作：楊沫，改編：薛恩厚　1958　中國評劇院　油鈔　簡　B5　89頁　**X-pj-129**

戰鬥的洪流　評劇　A

安西　鈔　簡　B5　22頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-130**

戰士在故鄉　A

倪竟雄、樹人　1958　黑龍江省評劇團　油鈔　簡　B5　96頁　**X-pj-131**

戰士在故鄉　評劇　A

油鈔　簡　B5　62頁　**X-pj-132**

張羽煮海　A

王玉平　油鈔　簡　B5　71頁　**X-pj-133**

防奸反特，評劇　中秋之夜　B

賈承其原作，鷺羽舒改編　1955　遼寧人民出版社　排　洋　B6　29頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-134**

評劇　中秋之夜　附曲譜　B

賈承其原作，鷺羽舒改編，孫康、鄭明耀記譜整理　1956　遼寧人民出版社　排　洋　B6　60頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-135**

鐘聲　A

趙琦、溫遠、崔寶庫　油鈔　簡　B5　16頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-136**

種小麥　評劇　A

喜彩蓮、李思崇、愛麗君　1958　海淀區文化館　油鈔　簡　B5　4頁　**X-pj-137**

群眾演唱叢刊　捉“鬼”計　評劇　B

陸清揚　1964　北京出版社　排　洋　B6　44頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pj-138**

防奸反特，評劇　捉妖記　B

徐甦、何路安改編　1955　遼寧人民出版社　排洋　B6　28頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-pj-139**

評劇　紫鵑試玉　B

吳萍改編　1957　吉林人民出版社　排　洋　B6　24頁

※ 廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-140.1~2**

評劇　走新路　B

徐甦、何路安改編　1955　遼寧人民出版社　排洋　B6　56 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏　**X-pj-141**

1.5. 絲弦

拿秦英　河北絲弦　A

1963　石家莊市絲弦劇團　油鈔　簡　B5　11 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附審查筆記　**X-sx-1**

1.6. 平調

三進士　武安平調　A

邯鄲專區平調落子劇團改編　1963　鈔　簡　B5　26 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pd-1**

三進帳　武安平調　A

邯鄲專區平調落子劇團改編　1963　鈔　簡　B5　15 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-pd-2**

楊廣纂位　濮陽縣眾藝劇團，平調　A

1956　油鈔　散　B5　7 頁　**X-pd-3**

1.7. 皮影

中華人民共和國文化部主辦　木偶戲皮影戲觀摩演出會

1955　排　簡　B5

※ 演出說明六種　**X-py-1**

雙掛印　皮影戲　A

鈔　簡　B5　14 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-py-2**

砸鑾駕　丁振耀　A

鈔　簡　B5　4 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-py-3**

1.8. 蒲劇

山西地方戲曲叢書　甘露寺　蒲州梆子　B

整理者：孫伯友、李寶蘭、樊鐵城、邢全鈺、喬仙慧、喬崗，執筆者：喬崗　1956　山西人民出版社　排　洋　B6　55 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏　**X-puj-1**

鋼鈴計　蒲州梆子原本　A

1956　山西省文化局　排　洋　B5　6 頁　**X-puj-2**

高平關　蒲州梆子原本　A

1956　山西省文化局　油鈔　簡　B5　16 頁　**X-puj-3**

紅梅關　蒲州梆子原本　A

1956　山西省文化局　油鈔　簡　B5　44 頁　**X-puj-4**

淮都關　蒲州梆子原本　A

1956　山西省文化局　油鈔　簡　B5　18 頁　**X-puj-5**

假金牌　蒲州梆子原本　A

1956　山西省文化局　油鈔　簡　B5　40 頁

X-puj-6

個支書 蒲劇 B

賈克 油鈔 簡 B6 22頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 X-puj-7

烈火旗 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 排 洋 B5 5頁 X-puj-8

麟骨床 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 油鈔 簡 B5 44頁

X-puj-9

六月雪 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 油鈔 簡 B5 44頁

X-puj-10

梅降褻 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 油鈔 簡 B5 44頁

X-puj-11

盤陀山 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 油鈔 簡 B5 43頁

X-puj-12

炮烙柱 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 油鈔 簡 B5 32頁

X-puj-13

破金鱉 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 油鈔 簡 B5 28頁

X-puj-14

日月圖 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 油鈔 簡 B5 43頁

X-puj-15

三劈關 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 油鈔 簡 B5 38頁

X-puj-16

山西蒲劇選段 A

油鈔 簡 B5 25頁 X-puj-17

未央宮 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 鈔 簡 B5 12頁

X-puj-18

無影簪 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 油鈔 簡 B5 34頁

X-puj-19

西廂記 蒲劇 A

油鈔 簡 B5 34頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 《女綁子》,《掛畫》,《雙鎖山》,《麟骨床》,《拾玉鐲》,《三對面》,《賣水》,《打路》,《打神告廟》,《救裴生》,《藏舟》,《徐策跑城》 X-puj-20

意中緣 蒲州梆子原本 A

1956 山西省文化局 鈔 簡 B5 46頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 X-puj-21

1.9. 晉劇

春暖花開 中路梆子 B

編劇：集體創作，執筆：許石青　1964　晉中專署文教局　排　洋　B6　64 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-jinj-1**

賜環（鳳儀亭）　晉劇唱詞

鈔　簡　B5　8 頁　**X-jinj-2**

豐收之後　根據同名話劇改編　B

原著：蘭澄，改編：王辛路　1964　山西省晉劇院一團　排　洋　B6　65 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-jinj-3**

山西地方戲曲叢書　風箏誤　B

1958　山西人民出版社　排　洋　A6　89 頁　**X-jinj-4**

好對象　山西梆子　B

藍坡　北京寶文堂書店　排　洋　B6　14 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-jinj-5**

嘉陵怒濤　山西梆子　A

鈔　簡　B5　25 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　太原市晉劇團演出　附評劇《霓虹燈下的哨兵》介紹詞　**X-jinj-6**

困雪山　晉劇抄錄　A

1954 從霍金鳳劇團抄錄　1954　鈔　簡　A5　45 頁

※「排演時根據原本少(ママ)微整理了一下」　山西省榆次專署晉劇團第二分團劇務舊藏　**X-jinj-7**

乞巧圖　山西梆子　A

鈔　簡　B5　113 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-jinj-8**

山西中路梆子　瓊花　根據電影《紅色娘子軍》改編　B

1965　中國戲劇出版社　排　洋　B6　111 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　崑劇劇本批改為晉劇　**X-jinj-9**

秀蓮圖　晉劇

鈔　簡　B5　27 頁

※ 後部有缺　**X-jinj-10**

百花唱本　游鄉　小劇本　B

河南項城縣劇目組集體創作，趙淑忍執筆，張路整理　1966　百花文藝出版社　排　洋　A6　36 頁　**X-jinj-11**

山西人民晉劇二團，整理晉劇本　玉堂春　草本 A

1955　油鈔　簡　B5　86 頁　**X-jinj-12**

1.10. 北路梆子

大報仇　山西梆子　B

山西晉北專區北路梆子劇團演出本　1960　北京寶文堂書店　排　洋　B6　37 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-blbz-1**

燈芯絨　根據西戎同名小說改編　B

傳勳瑞　1964　雁北專署文教局　排　洋　B6　27 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-blbz-2**

江姐　山西北路梆子，唱詞　A

鈔　簡　B5　5 頁　**X-blbz-3**

四川白毛女　山西北路梆子　A

1958　排　洋　B5　20 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　剪《劇本》1958 年第 9 期　**X-blbz-4**

1.11. 二人台

掛紅燈　內蒙二人台

鈔　散　B5　1 頁　**X-ert-1**

秀女放鴨

孫犁　1963　內蒙古自治區文化局　油鈔　簡　B5　6 頁　**X-ert-2**

走西口

1963　內蒙古自治區文化局　油鈔　簡　B5　10 頁

※ 後部有缺　**X-ert-3**

1.12. 秦腔

秦腔　霸王之死　一名楚漢爭　B

薛瀾生　1955　長安書店　排　洋　B6　58 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-1**

秦腔現代劇　半袋麩料　B

雷雨　長安書店　排　洋　A6　31 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-2**

刺梁　秦腔，陝西省青年演員會演　A

1960　咸陽市演出代表團　鈔　簡　A5　32 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-3**

秦腔　貂蟬　A

鈔　簡　B5　14 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-qq-4**

秦腔劇本　芙奴傳　B

何正喜、吉子正整理　1958　長安書店　排　洋　B6　41 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附書信一封　**X-qq-5**

秦腔　櫃中緣　B

孫仁玉遺著，謝邁千整理　1956　長安書店　排　洋　B6　20 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-6**

秦腔　紅旗牧歌　B

徐坦原作，新疆生產建設兵團猛進秦劇團集體討論修改，田苗、楊崑、邱德民、侯崇華執筆

1959　東風文藝出版社　排　洋　B6　58 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-7**

秦腔現代劇　糾紛　B

鳴濤、自操　1959　長安書店　排　洋　A6　22 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-8**

秦腔　九員女將　B

石璞　1959　東風文藝出版社　排　洋　B6　68 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-9**

苦水甜泉　秦腔，小歌劇　A

馮峰　1963　內蒙古自治區文化局　鈔　簡　B5　21 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　缺第一場　用小歌劇《賽烏素溝》廢紙　**X-qq-10**

廉吏風　秦腔　A

鈔　簡　B5　62 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-qq-11**

賣書劈門　秦腔　A

鈔　簡　B5　11 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-qq-12**

秦腔劇本　清官　B

武紀堃整理　1954　長安書店　排　洋　B6　15 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-qq-13.1~2**

秦腔　清官　B

武紀堃整理　1954　長安書店　排　洋　A6　24 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-qq-14**

戲劇叢書　邵巧雲　原名霄懷恨　B

樊粹庭　1950　新華書店西北總分店發行　排　洋　B6　88 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-15**

書臺合婚　秦腔　A

複鈔　簡　B5　11 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-16**

岳飛　B

王平　1957　山西人民出版社　排　洋　B6　78 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-17**

岳家莊　修改本　A

1960　咸陽市演出代表團　複鈔　簡　A5　25 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-18**

正氣歌　秦腔　A

鈔　簡　B5　6 頁　**X-qq-19**

秦腔　周仁回府　B

王紹猷改編　1957　長安書店　排　洋　B6　50 頁

※ 廣播事業局資料室舊藏　**X-qq-20**

秦腔　卓文君　B

孫仲濤、白雨　1956　長安書店　排　洋　B6　58 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-qq-21**

1.13. 同州梆子

二進宮　同州梆子　A

陝西省戲曲學校　1961　鈔　簡　B5　13 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-tzbz-1**

1.14. 眉戶

總路綫宣傳演唱材料，鄜鄠　娘倆趕集　B

謝蒙秋　1958　陝西人民出版社　排　洋　A6　10 頁　**X-mh-1**

鄜鄠　曲江歌女　B

黃俊耀改編　1958　陝西人民出版社　排　洋

B6　78 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-mh-2**

搖錢樹　小型鄙鄴劇　B

侯錚編劇，齋家全配曲　1959　音樂出版社　排洋　B6　22 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-mh-3**

鄙鄴　一張牛皮錢　B

王海容　1957　長安書店　排　洋　B6　10 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-mh-4**

1.15. 柳琴戲

烈火金鳳

鈔　散　B5　1 頁　X-**lqx**-1

1.16. 崑曲

崑劇　釵頭鳳　根據鄭拾風同名蘇劇本改編　A

1981　上海崑劇團　油鈔　簡　B5　34 頁

X-nk-1.1~2

倒銅旗　崑曲　A

油鈔　簡　B5　10 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-nk-2**

東風怒吼　崑曲　A

複鈔　簡　B5　3 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-nk-3**

昊天塔　激孟良　A

油鈔　簡　B5　7 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏

X-nk-4.1~2

紅松林　現代劇教材第七冊，崑曲　A

1959　上海市戲曲學校　油鈔　簡　B5　36 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-nk-5**

活捉羅根元　崑劇　A

徐子權改編　排　簡　B5　11 頁

※ 剪報　**X-nk-6**

崑劇　救風塵　A

關漢卿原著，具庚改編　1958　浙江崑蘇劇團

油鈔　簡　B5　28 頁　**X-nk-7.1~2**

崑曲唱本（一）《李慧娘》選段專輯　B

北方崑曲劇院編印　排　洋　B6　17 頁　**X-nk-8**

爛柯山　A

1982　上海崑劇團　油鈔　簡　B5　20 頁

※ 中央台舊藏　**X-nk-9**

崑曲　十五貫　A

1977　浙江崑劇團　油排　簡　B5　59 頁

X-nk-10

十五貫　崑曲　A

浙江崑劇團　油鈔　簡　B5　16 頁

※〈被冤〉、〈訪鼠〉　**X-nk-11**

戲曲電影資料（41），崑曲　思凡　A

1976　文化部編注　排　洋　B5　9 頁　**X-nk-13**

五人義　崑曲　A

1959　油鈔　簡　B5　40 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-nk-14**

玉簪記 崑劇 A

改編：宋詞 1983 江蘇省崑劇院 油鈔 簡 B5 17 頁

※ 附演出說明書 **X-nk-15**

金華專區代表團演出，崑曲 珠寶行 A

沈瑞蘭整理 油鈔 簡 B5 20 頁 **X-nk-16**

1.17. 淮劇

藍橋會 江淮劇 A

中央人民廣播電台 鈔 簡 B5 9 頁 **X-huaij-1**

1.18. 錫劇

就是你 未定稿

1958 江蘇省常州市錫劇團 油鈔 簡 B5 10 頁 **X-xij-1**

1.19. 盧劇

程紅梅 演出本

1960 安徽省盧劇演出團 排 洋 B5 32 頁 **X-lj-1**

1.20. 滬劇

移植革命現代京劇，滬劇 沙家浜 主要唱段選輯 B

上海滬劇團移植創作 1975 上海人民出版社 排 洋 B6 60 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-huj-1**

1.21. 越劇

革命現代越劇 半籃花生 B

浙江省《半籃花生》創作組 1975 浙江人民出版社 排 洋 B6 60 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-yuej-1**

八場古裝抒情悲劇 春閨夢裏人 根據同名傳統劇目新編

李鐵華 1981 文化部紅旗越劇團 油鈔 簡 B5 59 頁 **X-yuej-2**

越劇 打金枝葉 A

油鈔 簡 B5 58 頁

※〈盤夫〉、〈拾玉蜀〉、〈斷橋〉 缺第 1-4 頁 **X-yuej-3**

斷橋 越調唱詞 A

鈔 簡 B5 1 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 附〈中央人民廣播電台戲曲節目審查單〉 **X-yuej-4**

海外仙山記 中日友誼古典傳奇劇

韓義 文化部紅旗越劇團 鈔 簡 B5 100 頁 **X-yuej-5**

柳毅傳書 越調唱詞 A

鈔 簡 B5 3 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-yuej-6**

盤夫 越劇 A

油鈔 簡 A5 44 頁 **X-yuej-7**

越劇 雙翠蓮告狀 暫名

黃鐘改編 文化部紅旗越劇團 油鈔 簡 B5 55 頁

※ 夾有曲譜 **X-yuej-8**

越劇新歌譜 B

胡國樑 1952 上海武陵書局 排 洋 A6 36 頁 **X-yuej-9**

八場抒情輕喜劇 紫竹林佳話 又名《在阿Q的故鄉》

李鐵華編劇 1980 文化部紅旗越劇團 油鈔 簡 B5 66 頁 **X-yuej-10**

1.22. 採茶戲

採茶戲 五岔口 修訂本 B

《五岔口》創作小組 1965 江西人民出版社 排 洋 B7 33 頁 **X-ccj-1**

1.23. 莆仙戲

家住安源 莆仙戲移植革命樣板戲唱腔選段 B

福建省革命委員會文化局編 1975 福建人民出版社 排 洋 B6 43 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-pxx-1.1~2**

1.24. 高甲戲

人民的安危冷暖要時刻掛心上 高甲戲、梨園戲移植革命樣板戲唱腔選段 B

福建省革命委員會文化局編 1975 福建人民出版社 排 洋 B6 46 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-gjx-1**

1.25. 閩劇

賣柴記 閩劇 A

鄧趙座 1958 油鈔 簡 B6 42 頁

※ 中國戲劇家協會資料室舊藏 **X-mj-1**

永遠衝鋒向前方 閩劇移植革命樣板戲唱腔選段 B

福建省革命委員會文化局編 1975 福建人民出版社 排 洋 B6 66 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-mj-2.1~2**

1.26. 粵劇

獨幕粵劇 打神 A

楊子靜 油鈔 洋 B5 5 頁 **X-gyj-1**

昭君出塞 A

原作：馬師曾 整理：楊子靜 油鈔 簡 B5 14 頁 **X-gyj-2**

1.27. 桂劇

桂劇 西施 A

鈔 散 B5 3 頁

※ 附演員一覽 **X-ggj-1**

[于秀榮介紹] A

複鈔 簡 B5 6 頁

※《戲曲舞台上的年輕人》廣播稿 **X-ggj-2**

1.28. 黃梅戲

幽蘭吐芳 黃梅戲 B

余治淮 1982 安徽省徽州地區演出隊 排 洋 B6 19 頁 **X-hmx-1**

1.29. 花鼓戲

工農兵演唱小叢書，花鼓戲 送貨路上 B

株洲市文藝工作團創作組編劇，劉國祥執筆 1973 湖南人民出版社 排 洋 A6 74 頁

X-hgx-10

1.30. 漢劇

打籠棚 漢劇

徐正奎先生口述 1956 黃岡漢劇團 油鈔 簡 B5 9頁 **X-hanj-1**

雙合蓮 取材于崇陽民間傳說《雙合蓮》 A

編劇：陳牧、胡克慶、余乘國 1979 湖北省漢劇團 油鈔 簡 B5 47頁 **X-hanj-2**

漢劇 五娘吃糠

童松濤：整理初稿 1956 宜昌市和平漢劇團藝委會 油排 簡 B5 9頁 **X-hanj-3**

孝感專區代表團演出，漢劇 張三趕妻

張奇怪整理 油鈔 簡 B5 4頁 **X-hanj-4**

1.31. 豫劇

白毛女 豫劇，唱詞 A

鈔 簡 B5 1頁

※ 附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組劇目審查單〉 **X-yuj-1**

小型宣傳劇目 比比看 豫劇 A

楊蘭春、趙籍身 1958 油鈔 簡 B5 15頁 **X-yuj-2**

革命現代豫劇 朝陽溝 主旋線樂譜，河南省豫劇一團一九七七年一月演出本 A

編劇：楊蘭春，音樂設計：基笑、思暉、宏軒等 1977 河南省豫劇一團 油鈔 簡 B5 142頁 **X-yuj-3.1~2**

革命現代豫劇 朝陽溝 A

楊蘭春 1977 排 簡 B5 66頁 **X-yuj-4**

打牌坊 六場豫劇 A

編劇：信陽專區劇目組，加工整理：趙籍身 1965 中南區戲劇觀摩演出大會河南省代表團 排 簡 B5 35頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組稿箋〉 **X-yuj-5**

大祭樁 大型古裝豫劇 A

1981 河南省新鄉市豫劇團 油鈔 簡 B5 41頁 **X-yuj-6**

大祭樁 A

鄭州市豫劇團 油鈔 簡 B5 22頁

※ 中央人民廣播電台舊藏 **X-yuj-7**

豫劇 大祭樁 A

安陽地區豫劇一團 鈔 簡 B5 22頁 **X-yuj-8**

刀劈楊藩 A

何東營口述 1962 許昌專區豫劇名老藝人座談會劇目組抄錄 油鈔 簡 B5 7頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-yuj-9**

冬去春來 豫劇 A

河南豫劇院集體創作 1960 油鈔 簡 B5 58頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 附演出說明書 **X-yuj-10**

慶祝中華人民共和國成立三十周年獻禮演出　對花槍　A

改編：田漢　安陽市文化局　油排　簡　B5　43頁　**X-yuj-11**

對綉娃　又名：王定保借當　A

1962　許昌專區豫劇名老藝人座談會劇目組抄錄　油鈔　簡　B5　21頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-yuj-12**

二度梅　別重台　豫劇唱詞　A

鈔　散　B5　8頁　**X-yuj-13**

反西唐　河南梆子，係傳統劇目本團在詞句上加以整理　A

濟寧專區人民劇團　1956　油鈔　簡　B5　12頁　**X-yuj-14**

反西唐　豫劇　A

油鈔　簡　B5　44頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-yuj-15**

姑娘心裏不平靜　甬劇　A

胡小孩　河南豫劇院　油鈔　簡　B5　69頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-yuj-16**

觀文　A

1956　鈔　簡　B5　5頁　**X-yuj-17**

漢江女　修改本　A

油鈔　簡　B5　92頁　**X-yuj-18**

鶴歸樓　豫劇　A

樊粹遲　1957　油鈔　簡　B5　101頁　**X-yuj-19**

紅管家

油排　簡　B5　27頁

※ 後部有缺　**X-yuj-20**

洪湖赤衛隊　豫劇唱詞　A

安陽市豫劇院一團　鈔　簡　B5　6頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組劇目審查單〉**X-yuj-21**

紅色三少女　蚌埠專區代表團豫劇演出本　A

1958　油鈔　簡　B5　34頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-yuj-22**

花打朝　A

何凌廣改編　1981　洛陽市豫劇團　油鈔　散　B5　81頁

※ 中央台戲曲組舊藏　**X-yuj-23**

花木蘭　豫劇　A

河南豫劇院一團　1978　油鈔　簡　B5　44頁　**X-yuj-24**

花木蘭　A

1982　鄭州市豫劇團　油鈔　簡　B5　37頁

※ 中央人民廣播電台舊藏　**X-yuj-25**

渾園鏡　豫劇　A

賈窩口述　1962　許昌專區豫劇名老藝人座談會劇目組抄錄　油鈔　簡　B5　10頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-yuj-26**

節振國 豫劇，選段 A

唐山市京劇團，執筆：于英 鈔 簡 B5 1頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組劇目審查單〉、〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組稿箋〉 **X-yuj-27**

豫劇 景廷賓 A

河北省邯鄲專區戲曲研究室集體創作，王煥亭、張鶴齡執筆 1959 河北省邯鄲地區戲劇獻禮代表團 排 簡 B5 20頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 邯鄲專區豫劇一團演出 **X-yuj-28**

豫劇 捲蓆筒 A

河南省鶴壁市豫劇團 複鈔 簡 B5 63頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-yuj-29**

老羊山 根據王景中同志改編本整理 A

邯鄲市東風劇團排演本 1963 油鈔 簡 B5 46頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 附演出說明書 **X-yuj-30**

雷音寺 又名：李白成小出身 A

李順、劉玉梅口述 1962 許昌專區豫劇名老藝人座談會劇目組抄錄 油鈔 簡 B5 14頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-yuj-31**

李雙雙 豫劇，唱詞 A

鈔 簡 B5 2頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-yuj-32**

李淵跑宮 原本，豫劇 A

油鈔 簡 B5 16頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-yuj-33**

反映豫南山區農村階級鬥爭的現代劇目，豫劇 劉氏牌坊 試用本 A

萬哲 1964 信陽專員公署文教局 排 簡 B5 31頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-yuj-34**

罵殿 A

劇本整理：賈振卿 安陽專區豫劇一團 油鈔 散 B5 9頁 **X-yuj-35**

賣苗朗 豫劇 A

王鎮南整理 1957 安陽市豫劇團 油鈔 簡 B5 40頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **X-yuj-36**

母親 豫劇 A

白沉、藍流作劇，夏岡整理 1958 洛陽豫劇一團編導組 油鈔 簡 B5 68頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏 附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組劇目審查單〉**X-yuj-37**

牛郎織女笑開顏 豫劇 A

鈔 簡 B5 13頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **X-yuj-38**

盤山 豫劇 A

候秀真、閻鳳梧口述，安瀾、霍林、于欣整理

開封市文化局 油鈔 簡 B5 12頁 **X-yuj-39**

貧農代表　現代豫劇　A

開專文化局劇目組：集體討論，周耕、陳耀執筆　1964　油鈔　簡　B5　90 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-yuj-40**

普天同慶　小豫劇　B

河南省豫劇一團　1977　河南人民出版社　排洋　B6　26 頁　**X-yuj-41**

齊寡婦起義　A

五景中整理　1956　河南豫劇院　油鈔　簡　B5　62 頁　**X-yuj-42**

人歡馬叫　六場豫劇　A

許文　1965　中南區戲劇觀摩演出大會河南省代表團　排　洋　B5　42 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-yuj-43**

人歡馬叫　許昌專區戲曲院　豫劇二團演出，六場豫劇　A

劉錫年、李樹脩　排　簡　B5　27 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附演出說明書　**X-yuj-44**

推薦革命現代戲曲劇本之十八　山鄉風雲　中南區戲劇觀摩演出節目選　A

編劇：吳有恆、楊子靜、莫汝城，移植：開轉豫劇團編導組　1965　開封專署文化局劇目組翻印　油鈔　簡　B5　52 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組劇目審查單〉**X-yuj-45**

失下沛　豫劇，又名：張飛上吊　A

萬長法口述　1962　許昌專區豫劇名老藝人座談會劇目組抄錄　油鈔　簡　B5　13 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-yuj-46**

栓娃娃　又名：于二姐求子　A

王中華口述　1962　許昌專區豫劇名老藝人座談會劇目組抄錄　油鈔　簡　B5　10 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-yuj-47**

古典諷刺喜劇　唐知縣審誥命　唱腔、音樂、曲譜　A

河南省代表團　1979　油鈔　簡　B5　58 頁　**X-yuj-48**

慶祝中華人民共和國成立三十周年獻禮演出　唐知縣審誥命　A

河南省代表團　排　簡　B5　44 頁　**X-yuj-49**

慶祝中華人民共和國成立三十周年獻禮演出　唐知縣審誥命　A

河南省代表團　油鈔　簡　B5　3 頁

※ 演出說明書　**X-yuj-50**

推磨　豫劇　A

高與旺口述，忤吾整理　開封市文化局　油鈔　簡　B5　22 頁　**X-yuj-51**

五姑娘　豫劇　A

河南省豫劇院三團　1979　油鈔　簡　B5　46 頁　**X-yuj-52.1~2**

五姑娘　曲譜　A

河南省豫劇院三團　1979　油鈔　簡　B5　98 頁

X-yuj-53

洗菜　豫劇　A

鈔　簡　B5　2 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-yuj-54**

小二黑結婚　七場豫劇　A

油鈔　簡　B5　65 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　第 63-64 頁有缺　**X-yuj-55**

一棵樹苗　豫劇　A

編劇：許昌專區寶豐縣豫劇團，執筆：王留現

1965　中南區戲劇觀摩演出大會河南省代表團

排　鈔　簡　B5　8 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附手鈔修改稿　**X-yuj-56**

[豫劇折子戲]　豫劇唱詞，滬劇參考　A

鈔　簡　B5　7 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　《甲午海戰》、《香囊計》、《屈原》、《提寇》　**X-yuj-57**

斬秦英　豫劇　A

邯鄲市東風劇團排演本　1962　油鈔　簡　B5　14 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-yuj-58**

斬子　邯鄲市東風劇團挑演出本　A

1963　油鈔　簡　B5　16 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附演出說明書　**X-yuj-59**

河南省第二屆戲曲觀摩演出大會　戰鬥到拂曉

豫劇　A

編劇：新縣豫劇團　整理：信專劇目工作組

1959　油鈔　簡　B5　59 頁

※ 中央台舊藏　**X-yuj-60**

戰士在故鄉　A

倪競雄、樹人　洛陽市豫劇一團　油鈔　簡　B5　62 頁　**X-yuj-61**

張飛賣肉　又名：張飛小出身　A

1962　許昌專區豫劇名老藝人座談會劇目組抄錄

油鈔　簡　B5　14 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-yuj-62**

1.32. 河南越調

小型現代戲　把關　越調　A

崔夫德　1964　許昌專區現代戲劇赴省觀摩演出代表團　油鈔　簡　B5　21 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-hnyd-1**

斗書場　三場越調　A

編劇：許昌專區商水縣劇目組，執筆：許洪

1965　中南區戲劇觀摩演出大會河南省代表團

油鈔　簡　B5　25 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組稿箋〉　**X-hnyd-2**

父女倆　越調　A

牛夢松　1964　參加中南会演籌備工作辦公室

油鈔　簡　B5　19 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　附〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組劇目審查單〉、〈中央人民廣播電台文藝部戲曲組稿箋〉　**X-hnyd-3**

越調　趕集　A

1979　河南許昌地區　油鈔　簡　B5　43 頁

X-hnyd-4

越調戲　刮海　A

鄭州市越劇團編導組集體整理，陳懷文執筆　鄭州市越劇團　油鈔　簡　B5　26 頁　**X-hnyd-5**

小型現代戲　賣羅筐　越調　A

黃峻岭　1964　許昌專區現代戲劇赴省觀摩演出代表團　油鈔　簡　A5　22 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-hnyd-6**

越調　送燈　A

許昌專區導演組整理劇本　1946?　許昌專署文化科　油鈔　簡　B5　6 頁　**X-hnyd-7**

1.33. 內鄉梆子

啞女泉　代表團導演組集體討論　A

內鄉梆劇團：趙士光原作，整理執筆：王祖培、趙士光、魏荏萍，代表團導演組集體討論　1956　油鈔　簡　B5　38 頁

※ 南陽專區赴省觀摩會演代表團演出本　**X-nxbz-1**

1.34. 大平調

新編歷史故事劇　包公碑　暫定名　A

孫慶雲、李景星　油鈔　簡　B5　47 頁

※ 附〈中央台文藝部稿箋〉　**X-tpd-1**

古老劇種後繼有人　河南濮陽實驗大平調劇團在成長

1983　排　簡　B5　7 頁　**X-tpd-2.1~2**

1.35. 懷梆

收馬岱　懷慶梆子　A

鈔　簡　B5　6 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-huaib-1**

坐樓　懷慶梆子　A

鈔　簡　B5　20 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-huaib-2**

1.36. 懷調

哭頭　安陽懷調　A

鈔　簡　B5　13 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-ayhd-1**

1.37. 河南曲劇

梆毅傳書　曲劇　A

複鈔　簡　B5　65 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-hnqj-1**

報春花　A

河南省曲劇團　1980　油鈔　簡　B5　84 頁

X-hnqj-2

曲劇　鞭打張士貴　A

光化和平劇團鳴騎、王可整理　1956　湖北省第一屆戲曲觀摩演出大會　油鈔　散　B5　38 頁

X-hnqj-3.1~2

吵樓　襄陽專區第一屆戲曲觀摩會演大會節目叢刊　B

棗陽縣人民曲劇團，郝俊修報本記錄，李光德整理，會演大會資料股編選　油鈔　簡　B6　9頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-hnqj-4**

趕腳　河南曲劇　A

1956　洛陽市文化局　油鈔　簡　B5　16頁

X-hnqj-5

趕腳　曲劇，劇本與曲譜　A

鄭州市曲劇團演出整理，音樂整理、記譜：王培瑩　鄭州市曲劇團　油鈔　簡　B5　26頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-hnqj-6**

趕老漢　小型曲劇　A

鄭永昌、王國興　1964　油鈔　簡　B5　18頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-hnqj-7**

好媳婦　河南曲劇　A

蔣振亞　1964　參加中南會演籌備工作辦公室　油鈔　簡　B5　25頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-hnqj-8**

化子罵相　襄陽專區第一屆戲曲觀摩會演大會節目叢刊　B

會演大會資料股編選　油鈔　簡　B6　15頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**X-hnqj-9**

金精戲竇義　曲劇　A

邢台曲劇團演出本　複鈔　簡　B5　8頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏**X-hnqj-10**

六場現代曲劇　李雙雙　根據李淮小說“李雙雙小傳”改編　B

河南省南陽專區曲劇赴京匯報演出團改編　1960　排　洋　B6　45頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏**X-hnqj-11**

洛陽令　河南曲劇　A

路繼賢　1963　洛陽市曲劇團　油鈔　簡　B5　43頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-hnqj-12**

洛陽專區代表團演出，曲劇　殺齋王　A

油鈔　簡　B5　33頁

※ 中央台舊藏　**X-hnqj-13**

玉美人告狀　襄陽專區第一屆戲曲觀摩會演大會演出節目　A

宜城曲劇團挖掘整理，會演大會資料股編選　1956　油鈔　簡　B5　15頁　**X-hnqj-14**

文約計　A

油鈔　簡　B5　33頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏**X-hnqj-15**

小菜園　肅縣曲藝劇團　A

杜慶祥、丁德昭，陳元孝整理，執筆：丁德昭　1956　蚌埠專區代表團　油鈔　簡　B5　20頁

X-hnqj-16

河南曲劇　胭脂　A

原著：蒲松齡，改編：岳軍、張俠生　1956　鄭州市曲劇團　油鈔　簡　B5　38頁　**X-hnqj-17**

掩護　曲劇　A

洛陽市曲劇團集體創作，編劇：申楓　1959　洛陽市曲劇團　油鈔　散　B5　13 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　附〈中央人民廣播電台戲曲節目審查單〉　**X-hnqj-18**

迎春花　河南曲劇　A

話劇原著：翟劍萍，改編：洛陽市曲劇團編導組　1963　洛陽市曲劇團　油鈔　簡　B5　75 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-hnqj-19**

游鄉　戲曲　B

河南省周口專區項城縣劇目組，趙淑忍執筆，張路加工整理　1965　中國戲劇出版社　排　洋　A6　26 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-hnqj-20**

河南曲劇　游鄉　B

編劇：河南省周口專區項城縣劇目組，執筆：趙淑忍，加工整理：張路　1965　中南區戲劇觀摩下鄉節目匯報演出隊　排　洋　B6　17 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-hnqj-21**

河南曲劇　游鄉　曲譜本　B

編劇：河南省周口專區項城縣劇目組（趙淑忍執筆），整理加工：張路　1966　音樂出版社　排　洋　B6　57 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-hnqj-22**

雲樓會　襄陽專區第一屆戲曲觀摩會演大會演出節目　A

隨縣曲劇團演出劇本，會演大會資料股編選　油鈔　散　B5　5 頁

※ 中央電台舊藏　**X-hnqj-23.1~2**

周老漢送女　A

湯陽縣人民曲劇團編導組挖掘整理　1956　油鈔　簡　B5　9 頁　**X-hnqj-24**

1.38. 河南道情

河南道情　借糧　曲譜　A

河南省青年戲曲演員赴京會演代表團音樂組編　1960　鈔　散　B5　45 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-hndq-1**

1.39. 墜子

小李和老趙　墜子小段

王力葉　油鈔　簡　B5　3 頁

※ 附〈曲藝稿簽〉　**X-zhz-1**

1.40. 二夾弦

好媳婦　河南二夾弦　B

排　洋　B6　24 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　花鼓劇本批改為二夾弦　**X-ejx-1**

1.41. 川劇

新編歷史劇　巴山秀才　B

魏明倫、南國　1983　自貢市川劇團　排　洋　B6　57 頁　**X-chj-1**

草莽英雄　川劇高腔　B

1983　四川省宜濱地區文化局　油鈔　洋　B6　60 頁　**X-chj-2.1~2**

現代小川劇，高腔：整理傳統戲，彈戲　丑公公、禹門關　四川省振興傳鉅赴京匯報演出本　B

1983　排　洋　B6　44 頁　**X-chj-3.1~2**

思親送柴　高腔，現代川戲《四川白毛女》選場B

1983　重慶市川劇院　油鈔　洋　B6　13 頁

X-chj-4

思親送柴　川劇　高腔　A

音樂唱腔改編：唐萬福、官光莉　1983　重慶市川劇院　油鈔　簡　B4　20 頁　**X-chj-5**

振興川劇　1983 年第 1 期

省川劇調演辦公室宣傳組編　1983　四川省川劇調演會刊　排　4 頁

※ 報紙　**X-chj-6**

1.42. 劇種未詳、其他

安徽戲劇　3，特大號　A

安會戲劇編委會　1958　安徽人民出版社　排　洋　B5　60 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　廬劇《牛郎織女笑開顏》、泗洲戲《藏鐘記》、豫劇《團圓飯》　**X-etc-1**

[筆記本]

鈔　洋　B6　**X-etc-2**

編劇十講　B

王烈　1958　長安書店　排　洋　B6　26 頁

X-etc-3

地方戲曲的音樂（下）　板式變化結構體系的形成

油排　簡　B5　26 頁　**X-etc-4**

歌唱祖國第二集初選目錄

中國音協　1960　油排　簡　B5　12 頁

※ 演出說明　**X-etc-5**

湖北省第一屆戲曲觀摩節目單　A

油排　簡　B5　46 頁

※ 演出說明　**X-etc-6**

花木蘭　劇詞

油排　簡　B5　32 頁　**X-etc-7**

山西地方戲曲選　日月圖　B

山西實驗劇院藝術室改編　1960　山西人民出版社　排　洋　A6　88 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**X-etc-8**

山東省躍進歌舞匯報演出

油排　簡　B5　4 頁

※ 演出說明　**X-etc-9**

《酸棗接大棗》解說詞

油排　簡　B5　6 頁　**X-etc-10**

大型古裝名劇　西施　根據廣東粵劇演出本改編　A

劉夏生　1982　油鈔　簡　B5　36 頁　**X-etc-11**

戲曲工作簡報　內部參考資料，第 13 期

中國戲曲研究院資料室　1958　中國戲曲研究院

資料室　油鈔　洋　B5　48 頁　**X-etc-12.a**

戲曲工作簡報　內部參考資料，第 1 期

中國戲曲研究院資料室　1959　中國戲曲研究院資料室　油鈔　洋　B5　115 頁　**X-etc-12.b**

戲曲工作簡報　內部參考資料，第 2 期，總第 22 期

中國戲曲研究院資料室　1959　中國戲曲研究院資料室　油鈔　洋　B5　63 頁　**X-etc-12.c**

[戲曲劇本]

油排　簡　B5　88 頁

※ 後部有缺　**X-etc-13**

[戲曲劇本]

油鈔　散　B5　24 頁

※ 殘本　**X-etc-14**

[戲曲劇本]

油排　散　B5

※ 殘本　**X-etc-15**

[戲曲劇本]

鈔　散　B5　3 頁

※ 僅存第 28-30 頁　**X-etc-16**

荀灌娘

天津市小百花劇團　排　簡　B5　5 頁

※ 演出說明書　**X-etc-17**

演出節目

巢縣聯合人民公社文化館印　油鈔　簡　B5　14 頁

※ 演出說明　**X-etc-18**

小型宣傳劇目　張四快（湖南花鼓戲），比比看（豫劇）　戲曲表現現代生活座談會參考資料

許在民，楊蘭春、趙籍身　1958　油鈔　簡　B5　25 頁　**X-etc-19**

趙小蘭　B

油鈔　洋　B6　58 頁　**X-etc-20**

[中國人民第三次赴朝慰問文工團報告]

1951　油排　簡　B4　39 頁　**X-etc-21**

小戲集　追舟　B

碭山縣文化局編　1977　安徽人民出版社　排　洋　B6　169 頁　**X-etc-22**

2. 曲藝

2.1. 京韻大鼓

曲藝（一），京韻大鼓　丑末寅初

演唱者：陸倚琴，伴奏：天津市曲藝團，文化部編注　1975　排　洋　B5　5 頁　**Q-jydg-1**

京韻大鼓　劉寶全唱腔資料（共七盤）　A

文化部編注　1976　排　洋　B5　104 頁

※《戰長沙》選段、《長沙對刀》選段、《寧武關》選段、二本《寧武關》選段、《趙雲截江》選段、

《博望坡》選段、《丑末寅初》、《白山圖》選段、《游武廟》選段、《華容道》選段、《烏龍院》選段、《南陽關》選段、《長坂坡》選段、《群英會》選段、《鬧江州》選段、《李逵奪魚》選段、《馬鞍山》選段、《古城相會》選段、《古城會》選段、《活捉三郎》選段、《徐母罵曹》選段、《單刀會》選段、《白帝城》選段、《審頭刺湯》選段、《大西廂》 **Q-jydg-2**

王邦德 京韻大鼓

白鳳鳴、王決 1959 油鈔 簡 B5 7頁

※附〈曲藝稿簽〉 **Q-jydg-3**

京韻大鼓 小彩舞唱腔資料 （共七盤） A

排 洋 B5 88頁

※《紅梅閣》選段、《博望坡》選段、《桃花莊》、《林冲發配》選段、《正氣歌》、《獨膽英雄呂松山》、《警告美帝國主義》、《紅軍過草原》、《珠峰紅旗》、《風雨歸舟》、《子期聽琴》、《將相和》、《紅梅閣》、《丑末寅初》、《劍閣聞鈴》 **Q-jydg-4**

2.2. 單弦

炮兵阿姨 單弦牌子曲

王決 1980? 油排 簡 B5 8頁

※附〈曲藝稿簽〉 **Q-dx-1**

2.3. 相聲

相聲 光榮的航程

楊昭、劉榮施 1959 海軍業餘演出隊 油鈔 簡 B5 12頁 **Q-xsh-1.1~2**

前沿觀訪記 相聲

宛玉波、陳健民 1959 福州部隊業餘文藝演出隊 油鈔 簡 B5 5頁 **Q-xsh-2**

相聲 人民公社頌

劉榮施、遂志誠 1959 海軍業餘演出隊 油鈔 簡 B5 5頁 **Q-xsh-3.1~3**

相聲講座

鈔 簡 B5

※僅存1-3頁、20-27頁、39-46頁 附〈《今晚八點半》節目稿簽〉 **Q-xsh-4**

小講座 侯寶林談相聲的開場小唱

複鈔 散 B5 1頁 **Q-xsh-5**

2.4. 評書

海鷹之歌 評書

王力葉 1959 油鈔 散 B5 9頁

※附〈曲藝稿簽〉 **Q-psh-1**

2.5. 二人轉

楊宗保問路 二人轉 B

哲里木盟通遼市二人轉劇團整理 1960 北京寶文堂書店 排 洋 B6 16頁

※中央廣播電台文藝部資料組舊藏 **Q-erz-1**

2.6. 評彈

戲曲小叢書 劉蓮英 中篇評彈 B

崔德志原著，潘伯英整理，蘇州市評彈工作團改編 1956 上海文化出版社 排 洋 B7 120頁 **Q-pit-1**

[評彈介紹詞]

複鈔 散 B5 3頁 **Q-pit-2**

2.7. 彈詞

胡德安　彈詞

朱濱龍、陳健民　1959　福州部隊業餘文藝演出隊　油鈔　簡　B5　2 頁　**Q-tc-1**

2.8. 大鼓

愛民模範—王興元　大鼓

張傑　1959　福州部隊業餘文藝演出對　油鈔　簡　B5　8 頁　**Q-dg-1**

2.9. 敘事長詩

彩虹　敘事長詩

傣族歌手波玉溫作，陳貴培譯　1961　景洪縣文藝辦公室　油排　簡　B5　61 頁　**Q-chsh-1**

2.10. 史詩

勒俄特衣　彝族傳說史詩　A

馮元蔚、沈伍己翻譯整理　1959　四川省民間文藝研究會　排　洋　B5　31 頁

※ 中國民間文藝研究會資料室舊藏　**Q-shsh-1**

2.11. 山東快書

老水兵　山東快書

雷鳳鳴、王彭年、李洪基　1959　海軍政治部文藝工作團　油鈔　簡　B5　13 頁　**Q-sdks-1.1~2**

2.12. 河南曲子

河南曲子　蝴蝶杯　投衙　A

油鈔　洋　B5　9 頁

※ 中央廣播電台文藝部資料組舊藏　**Q-hnqz-1**

2.13. 其他

山東省　參加全國小規模優秀曲藝節目匯報演出音樂資料　王二姐摔鏡架　盜靈芝　刮胡子

油鈔　簡　B5　101 頁

※《王二姐摔鏡架》、《盜靈芝》、《刮胡子》　**Q-etc-1.1~2**

山東省　參加全國小規模優秀曲藝節目匯報演出資料

油鈔　簡　B5　62 頁

※《刮胡子》、《新規矩》、《巧取惡狼窩》、《鬧南監》、《盜靈芝》、《老王賣瓜》、《王二姐摔鏡架》、《借髭髭》　**Q-etc-2.1~2**

青島市 1957 年群眾音樂、舞蹈、曲藝創作會演　曲藝創作選　（3）鼓詞

1957　青島市文化局　油鈔　簡　B5　36 頁

※ 鼓詞《冤獄》：鍾昭棟編，鼓詞《玉香恨》：劉金堂、夏麗光，鼓詞《智取生辰綱》（根據水滸編寫的）：智千，西河大鼓《半夜救人》：青島人民廣播電台、張金明編，洋片《回頭是岸》：陽文秋、王鴻禧作，單絃《密件皮包》：張毓麟，西河大鼓《齊會計》：兆乾、趙錫恩　**Q-etc-3**

曲藝知識目錄

複鈔　簡　B5　4 頁　**Q-etc-3**

十年來曲藝工作的發展　初稿

油鈔　簡　B5　36 頁　**Q-etc-4**

說唱團曲藝合訂集　A

中央人民廣播電台說唱團　油鈔　簡　B5　140 頁

Q-etc-5

五八年民歌

油排　散　B5　2 頁

※《紅色風景》、《頭頂共產黨》、《紅旗一舉千里明》　Q-etc-6

優秀傳統曲藝目錄

鈔　簡　B5　12 頁　Q-etc-7

原來是個大木瓜　說唱材料　B

張士禮等箸　1956　中國青年出版社　排　洋　B7　64 頁

※ 中國青年出版社舊藏　Q-etc-8

3. 歌劇

關於新歌劇

油排　簡　B5　38 頁　O-1

4. 話劇

紀念魯迅誕辰一百周年　阿 Q 正傳　七幕滑稽戲

原著：魯迅，編劇：穆尼（執筆）、陸群　1981

上海市人民滑稽劇團　排　洋　B5　97 頁　J-1

[廣播劇劇本]

油排　簡　B5　53 頁

※ 後部有缺　J-2

獨幕話劇　黃花嶺　群眾演唱節目　B

舒慧　1955　通俗讀物出版社　排　洋　B6　36 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　J-3

劇本　話劇專刊，第四輯

劇本月刊社編輯　1956　新文藝出版社　排　洋　B5　134 頁　J-4

北京人民藝術劇院戲劇叢書　莫斯科曙光

阿那托爾　蘇洛福著，英若誠譯　1951　文化生活出版社　排　洋　B6　170 頁　J-5

取經記　民間清唱劇

希揚作詞，李群作曲　中央歌舞團　油鈔　簡　B5　25 頁　J-6

速度

蘇聯尼古拉　鮑戈庭著，芳信譯　1939　世界書局印行　排　洋　B6　129 頁　J-7

問心無愧　五幕七場話劇

油鈔　簡　B5　120 頁

※ 後部有缺　J-8

[戲劇劇本]

油排　簡　B5　73 頁

※ 缺封面　J-9

戲劇學習　資料彙編，第七期　B

中央戲劇學院編輯室編　1959　中國戲劇出版社

排　洋　B6　207 頁　**J-10**

1942-45 年解放區話劇歌劇編目初稿

中國戲劇家協會資料室　1962　油排　簡　B4

12 頁　**J-11**

5. 音樂

安徽民間音樂　第二集草本，革命歌曲

安徽省群眾藝術館編　油鈔　簡　B5　12 頁

M-1.1~2

北京回來　唱北京　山歌　A

興國上社鄉大逕社社員劉承達編　1958　油鈔

簡　B6　8 頁

※ 中國民間文藝研究會研究部舊藏　**M-2**

創作歌曲

王安國　1960　山西監猗藝術學校　油鈔　簡

B5　15 頁　**M-3**

創作歌曲選集

第二屆“哈爾濱之夏”音樂會籌委會編輯　1962

油鈔　簡　B5　22 頁　**M-4**

黨成立到第一次國內革命戰爭期間的革命歌曲和歌名歌謠選編　參考資料

油排　簡　B5　21 頁　**M-5**

東北秧歌　伴奏音樂

1958　文化部北京舞蹈學校資料室　油鈔　簡

B5　22 頁　**M-6.1~2**

東方紅　暫名，音樂舞蹈史詩，腳本提綱

1964　油排　簡　B5　8 頁　**M-7**

東方紅　音樂舞蹈史詩，腳本提綱 ── 第四次修改稿

1964　油排　簡　B5　8 頁　**M-8**

兒童歌曲選

天津市群眾藝術館　1962　油鈔　簡　B5　12 頁

M-9

江西民歌選　公社花開千里香　B

中共江西省委宣傳部編　1958　江西人民出版社

排　洋　B6　64 頁　**M-10**

廣西民間音樂選集

廣西僮族自治區群洲藝術館　1958　油鈔　簡

B5　89 頁　**M-11**

廣西省參加全國專業音樂舞蹈會演音樂資料

桂西僮族自治州歌舞團　1956　油鈔　簡　B5

18 頁　**M-12**

慶祝建國十周年　花燈獻禮節目曲調選編　B

雲南省花燈劇團　排　洋　B6　48 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　**M-13**

每月新歌 一

中國音樂協會理論創作委員會 1958 中國音樂協會理論創作委員會 油鈔 簡 B5 59 頁

M-14

每月新歌 毛主席詩詞歌曲第二輯（六）

中國音樂協會理論創作委員會 1958 中國音樂家協會理論創作委員會 油鈔 簡 B5 43 頁

M-15

民歌選集

上杭縣文化館 1963 油鈔 簡 B5 28 頁 **M-16**

[曲譜]

鈔 散 B5 1 頁 **M-17**

西亞非州地區歌曲選集 A

中華人民共和國文化藝術代表團收集整理 1956 解放軍歌曲選集編輯部 油鈔 簡 B5 18 頁

※ 中國音樂家協會圖書資料舊藏 **M-18**

新民歌選集 B

《歌曲》編輯部編 1959 音樂出版社 排 洋 B6 30 頁

※ 北方交通大學圖書館舊藏 **M-19**

1962 年音樂創作座談會參考資料之一 1958-1961 大中型音樂作品目錄（草） 下

中國音協理論創作委員會編印 1962 油鈔 簡 B5 36 頁

※ 後部有缺 **M-20**

音樂論文集

中國音樂家協會天津分會理論創作委員會 1959 油鈔 簡 B5 87 頁 **M-21**

《青年詩叢》之二 在躍進的日子裡

孫友田、陳官煊、李成榮、沈國樑 1959 上海文藝出版社 排 洋 B6 79 頁 **M-22**

6. 電影

6.1. 劇本

6.1.1. 故事片

電影文學劇本 闖將頌 二稿

朱贊平、于彥夫 1964 長春電影製片廠 油排 簡 B5 90 頁 **C-scr-a-1**

東方紅 打土豪、分田地 大型音樂舞蹈史詩，分鏡頭劇本

1965 油鈔 簡 B5 22 頁 **C-scr-a-2**

電影文學劇本 大浪淘沙 暫名，修改本

朱道南、于炳坤、伊琳 1965 珠江電影製片廠 油鈔 簡 B5 78 頁 **C-scr-a-3.1~2**

大浪淘沙 暫名，影片改後情節提要、全部台詞及修改方法

1965 珠江電影製片廠“大浪”攝制組印 油鈔 簡 B4 54 頁

※ 附預審申請書信 **C-scr-a-4**

電影文學劇本 第二個春天 二稿
劉川 1964 天馬電影製片廠 油排 簡 B5 56 頁 **C-scr-a-5.1~2**

飛行員事件 中文字幕台本
1956 中國電影友行公司字幕工場印刷 油鈔 簡 A5 32 頁 **C-scr-a-6**

電影文學劇本 海燕三號輪 開往寧波
上海電影製片廠 油鈔 簡 B5 1 頁
※ 僅存封面 **C-scr-a-7**

電影文學劇本 激流勇進 四稿，根據胡廳春小說《內部問題》改編
胡廳春、劉月楓 1965 上海天馬電影製片廠 油排 簡 B5 56 頁 **C-scr-a-8**

分鏡頭劇本 南海長城
1965 八一電影製片廠 油排 簡 B5 74 頁 **C-scr-a-9**

霓虹燈下的哨兵 根據同名話劇改編，三稿
沈西蒙 1964 上海市電影局 天馬電影製片廠 油排 簡 B5 61 頁 **C-scr-a-10**

東方紅 情深誼長 大型音樂舞蹈史詩，分鏡頭劇本
1965 油鈔 簡 B5 10 頁 **C-scr-a-11**

電影文學劇本 三進山城 暫名，第三稿
賽時禮 1965 長春電影製片廠 油排 簡 B5 69 頁 **C-scr-a-12.1~2**

電影分鏡頭劇本 三進山城
1965 長春電影製片廠 油排 簡 B5 107 頁 **C-scr-a-13.1~3**

“三進山城”電影文學劇本 三稿，故事梗概
油鈔 簡 B5 3 頁 **C-scr-a-14**

電影文學劇本 十天
編劇：白沉（執筆）、李英敏、王性懷、費良瓊、胡樹功 1978 廣西電影製片廠 油鈔 簡 B5 95 頁 **C-scr-a-15**

世界上有鬼神嗎？ 文學劇本提綱
1965 上海科學教育電影製片廠 油排 簡 B5 26 頁 **C-scr-a-16**

水兵之歌 歌劇組戲——《一家人》，分鏡頭劇本
1966 北京電影製片廠 油排 簡 B5 35 頁 **C-scr-a-17.1~3**

電影文學劇本 鐵肩重任 三稿 暫名
1965 珠江電影製片廠 油排 簡 B5 89 頁 **C-scr-a-18**

韋拔群 電影分鏡頭劇本，上集
1963 北京電影製片廠 油排 簡 B5 136 頁 **C-scr-a-19.1~2**

分鏡頭劇本 香飄四季 根據同名小說改編
陳殘雲、方熒 1964 長春電影製片廠 油鈔

簡　B5　132 頁　**C-scr-a-20**

血誓　暫名

1963　油排　簡　B5　77 頁　**C-scr-a-21**

艷陽天　上集，根據浩然同名長篇小說改編

浩然、湯汝雁　1966　長春電影製片廠　油排　簡　B5　106 頁　**C-scr-a-22**

養路工之歌　電影劇本故事梗概

油鈔　散　B5　5 頁

※ 缺第 2 ～ 3 頁　**C-scr-a-23**

電影文學劇本　戰洪圖　根據河北省話劇院同名話劇改編

魯速、素乃晨　1965　長春電影製片廠　油排　簡　B5　101 頁　**C-scr-a-24**

電影分鏡頭劇本　戰洪圖

魯速、素乃晨　長春電影製片廠　油排　簡　B5　108 頁

※1 缺第 6 ～ 8 頁　**C-scr-a-25.1~2**

6.1.2. 紀錄片

阿爾巴尼亞在革命化大道上

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　14 頁　**C-scr-d-1**

半工半讀育新人

1965　中央新聞紀錄電影製片廠攝制　油排　簡　B5　8 頁　**C-scr-d-2**

并肩前進

陳殘雲　中華人共和國中央新聞紀錄電影製片廠、阿爾巴尼亞人民共和國“新阿爾巴尼亞”電影製片廠　油鈔　簡　B5　41 頁　**C-scr-d-3**

電影分鏡頭劇本　大寨田

1965　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　24 頁　**C-scr-d-4.1~2**

第 28 屆世界乒乓球錦標賽　上集

北京電視台出品　油排　簡　B5　43 頁**C-scr-d-5**

翻身農奴見太陽

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　14 頁　**C-scr-d-6**

廢品不廢

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　16 頁　**C-scr-d-7**

敢教日月換新天　大型紀錄影片台本

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　48 頁　**C-scr-d-8**

敢想敢幹的大慶人

中央新聞紀錄電影製片廠攝制　油鈔　簡　B5　17 頁　**C-scr-d-9**

敢想敢幹的大慶人

中央新聞紀錄電影製片廠攝制　油鈔　簡　B5　17 頁　**C-scr-d-10**

紀錄片　鋼鐵戰士麦顯得　完成台本

1966　八一電影製片廠　油排　簡　B5　17 頁

C-scr-d-11

革舊創新的工廠

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　6 頁　C-scr-d-12

光輝的榜樣　毛主席的好學生焦裕祿

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　36 頁　C-scr-d-13

紅色郵路　分鏡頭劇本

1965　北京電影製片廠　油排　簡　B5　98 頁　C-scr-d-14.1~3

胡北水利　山河巨變，藝術性記錄片劇本初稿

1966　油排　簡　B5　14 頁　C-scr-d-15

今日中國　第二號

1965　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　7 頁　C-scr-d-16

今日中國　第五號

中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　9 頁　C-scr-d-17.1~2

緊握手中槍

1965　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　14 頁　C-scr-d-18

《覺醒的非洲》說明詞

何鍾辛、郝玉生　1965　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　13 頁　C-scr-d-19

礦山工人鬧革新

1965　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　8 頁　C-scr-d-20

蘭考人民多奇志

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　11 頁　C-scr-d-21

黎坪山上有志人

1965　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　10 頁　C-scr-d-22

蘆席棚下鬧革命

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　7 頁　C-scr-d-23

馬鋼工人趕大慶　黑白兩本

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　13 頁　C-scr-d-24

茅棚飛出金鳳凰

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　13 頁　C-scr-d-25

彩色風景片分鏡頭劇本　千山風光　暫名

編劇：李榮滋　1957　油排　簡　B5　13 頁　C-scr-d-26

風景片　千山風光

編劇：李榮滋　長春電影製片廠　油排　簡　B5　21 頁　C-scr-d-27

全國人民學王傑

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　12 頁　**C-scr-d-28**

全國先進工具展覽會

1965　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　7 頁　**C-scr-d-29**

全國學大寨　大寨怎麼辦

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　24 頁　**C-scr-d-30**

賽刀會

1965　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　15 頁　**C-scr-d-31**

歡迎在巴西受迫害的九位同志　勝利歸來

1965　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　16 頁　**C-scr-d-32**

世界人民公敵　絞刑架下的迷夢

1963　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　34 頁

※ 附書皮一張　**C-scr-d-33**

電影鏡頭紀錄本　禿魯江畔的新歌

編劇：李正根，翻譯：潘耀華　1965　長春電影製片廠　油排　簡　B5　12 頁

※ 朝鮮電影翻譯劇本　**C-scr-d-34.1~2**

團結就是力量　第一屆中日青年友好大聯歡續集，彩色長片、七本

1966　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　48 頁　**C-scr-d-35**

萬隆精神萬歲　慶祝萬隆會議十周年

中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　23 頁　**C-scr-d-36**

彩色風景片分鏡頭劇本　無錫景　暫名

1957　長春電影製片廠　油鈔　簡　B5　14 頁　**C-scr-d-37**

下丁家大隊

中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　15 頁　**C-scr-d-38**

學大寨趕大寨　台本

中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5　9 頁　**C-scr-d-39**

學大寨趕大寨　台本

中央新聞紀錄電影製片廠攝制　油鈔　簡　B5　9 頁　**C-scr-d-40**

一九六五年五一節

1965　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　15 頁　**C-scr-d-41**

一九六五年國慶節

1965　中央新聞紀錄電影製片廠　油排　簡　B5　25 頁　**C-scr-d-42**

英雄海軍再獲大捷

1965　中央新聞紀錄電影製片廠　油鈔　簡　B5

12 頁 **C-scr-d-43**

電影鏡頭紀錄本 游擊隊的布谷鳥

編劇：李明源、李泰華，翻譯：胡伯胤 1965 長春電影製片廠 油排 簡 B5 27 頁

※ 朝鮮電影翻譯劇本 **C-scr-d-44.1~2**

中華人民共和國第二屆運動會 完成台本

1965 中央新聞紀錄電影製片廠 油排 簡 B5 53 頁 **C-scr-d-45**

6.1.3. 教育片

科學普及片分鏡頭劇本 半旱育秧 原名《濕潤育秧》

1965 北京科學教育電影製片廠 油排 簡 B5 18 頁 **C-scr-e-1.1~2**

科普片文學劇本 “寶草”試種記

1963 北京科學教育電影製片廠 油排 簡 B5 18 頁

※ 書皮寫有「電影局」 **C-scr-e-2**

科學普及電影 踩水 分鏡頭劇本

1965 北京科學教育電影製片廠 油排 簡 B5 6 頁 **C-scr-e-3**

《城市人民防空──防空洞》解說詞

1966 油排 簡 B5 10 頁 **C-scr-e-4**

科教片 打壩淤地 完成台本

1965 西安電影製片廠 油鈔 簡 B5 13 頁 **C-scr-e-5**

科教片分鏡頭劇本 打草貯草奪豐收 暫定名，初稿

1966 北京科學教育電影製片廠 油排 簡 B5 14 頁 **C-scr-e-6**

科學教育片分鏡頭劇本 大壩淤地 黃河中游水土保持組片

吳永直、韓端 1965 西安電影製片廠 油排 簡 B5 15 頁 **C-scr-e-7**

科學教育電影劇本 傣族社會

陳大鳴、劉咏 1956 上海科學教育電影製片廠 油鈔 簡 B5 29 頁 **C-scr-e-8**

科學普及電影文學劇本 帶翅膀的媒人 或《蜜蜂做媒》

李大康、王曉鳴 1962 上海科學教育電影製片廠 油排 簡 B5 11 頁

※ 附北京科學教育電影製片廠致電影局、上海科學教育電影製片廠致文化部電影事業管理局書信 **C-scr-e-9**

科學普及電影分鏡頭劇本 到江河湖海鍛煉去

1965 北京科學教育電影製片廠 油排 簡 B5 13 頁 **C-scr-e-10**

科學教育片分鏡頭劇本，城市人民防空 對空射擊 四稿

1965 上海科學教育電影製片廠第五攝制隊 油排 簡 B5 17 頁 **C-scr-e-11.1~2**

科教片分鏡頭劇本 多種優良牧草 暫定名，初

稿

欒心昌、張天紀　1966　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　24 頁　**C-scr-e-12**

科學普及教育影片文學劇本　防空救護　暫定名，二稿

1965　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　21 頁　**C-scr-e-13**

科學普及片完成台本　防止馬結症

1964　北京科學教育電影製片廠　油鈔　簡　B5　15 頁　**C-scr-e-14.1~2**

科學普及電影分鏡頭劇本　防止棉種退化　初稿

伍廷根　1965　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　23 頁　**C-scr-e-15**

科普片分鏡頭劇本　防治頭癬

朱鳳安　1965　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　14 頁　**C-scr-e-16.1~2**

科學普及片分鏡頭劇本　滑翔運動　第三稿

1965　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　18 頁　**C-scr-e-17**

火焰噴槍　完成台本

夏樹人翻譯　1963　上海科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　8 頁　**C-scr-e-18**

科學教育電影分鏡頭劇本　機械工人速成畫圖

華中工學院制圖教研室　1958　上海科學教育電影製片廠攝制　油鈔　簡　B5　35 頁　**C-scr-e-19**

科學教育電影分鏡頭劇本，城市人民防空　急救

1965　上海科學教育電影製片廠第五攝制隊　油排　簡　B5　17 頁　**C-scr-e-20.1~2**

科學普及片　顆粒 防治玉米螟　完成片台本

1962　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　7 頁　**C-scr-e-21**

科學教育片分鏡頭劇本，城市人民防空　空襲警報後的行動

1966　上海科學教育電影製片廠第五攝制隊　油排　簡　B5　15 頁　**C-scr-e-22**

科學普及片完成台本　麥類黑穗病

1964　北京科學教育電影製片廠　油鈔　簡　B5　26 頁　**C-scr-e-23**

科學普及片完成台本　蘋果樹的正形

1964　北京科學教育電影製片廠　油鈔　簡　B5　14 頁　**C-scr-e-24**

科普片文學劇本　曲耀離看苗管棉　初稿

1963　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　11 頁　**C-scr-e-25**

陳永康晚粳稻高產田後期看苗施肥定水經驗　三黑三黃　分鏡頭劇本初稿

1965　上海科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　17 頁　**C-scr-e-26**

科學教育片分鏡頭劇本，黃河中游水土保持組片之四　水平梯田

編劇：李光道，張濟美　1965　西安電影製片廠
油排　簡　B5　17 頁
※ 後部有缺　**C-scr-e-27**

科教片　水平梯田　完成台本
1965　西安電影製片廠　油鈔　簡　B5　18 頁
C-scr-e-28

科學教育電影完成本　送瘟神
1965　上海科學教育電影製片廠　油排　簡　B5
79 頁　**C-scr-e-29**

科教片分鏡頭劇本　酸棗接大棗
1965　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5
12 頁　**C-scr-e-30**

科學大綱影片文學劇本　我們的身體　第一集：勞動與健康　初稿
上海第一醫學院　1965　上海科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　26 頁　**C-scr-e-31.1~2**

科學大綱影片文學劇本　我們的身體　第一集：勞動與健康　修改稿
上海第一醫學院　1966　上海科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　24 頁　**C-scr-e-32**

科普片分鏡頭劇本　稀土元素的應用　初稿
1966　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5
25 頁　**C-scr-e-33**

科學普及片完成台本　消滅羊疥
1964　北京科學教育電影製片廠　油鈔　簡　B5
17 頁　**C-scr-e-34**

科普片分鏡頭劇本　小麥因苗管理　初稿
1966　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5
31 頁　**C-scr-e-35**

技術推廣片　鹽鹹地上巧種麥　台本
1964　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5
21 頁　**C-scr-e-36**

科學教育電影文學劇本　楊談旱地好棉花　暫名，初稿
1965　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5
19 頁　**C-scr-e-37**

影片“彩色電影原理”的鏡頭劇本
1953　列寧格勒科學譜及片電影製片廠　油鈔
簡　B5　23 頁　**C-scr-e-38**

雜交高梁　完成台本
1965　北京科學教育電影製片廠　油鈔　簡　B5
26 頁　**C-scr-e-39**

科普片分鏡頭劇本　雜交高梁的制種　暫定名，第二稿
1965　北京科學教育電影製片廠　油排　簡　B5
14 頁　**C-scr-e-40**

科學教育電影分鏡頭劇本，城市人民防空　怎樣修建防空洞　二稿
1966　上海科學教育電影製片廠第五攝制隊　油排　簡　B5　16 頁　**C-scr-e-41**

科學教育電影劇本大綱　珠穆朗瑪峰

1966　中國科學院西藏綜合考察隊、上海科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　14 頁 **C-scr-e-42**

科學教育電影文學劇本，初稿 作物的生活 作物的生活編寫小組

1965　中國科學院植物研究所、中國農業科學院作物研究所、北京大學、北京農業大學、上海科學教育電影製片廠　油排　簡　B5　50 頁

C-scr-e-43

6.1.4. 其他

[電影劇本]

油鈔　簡　B5　1 頁

※ 殘本 **C-scr-etc-1**

[幻燈劇本]

油排　簡　B5　12 頁

※ 僅存 3 ～ 12 頁 **C-scr-etc-2**

6.2. 其他

彩色多層正片的聲帶及其處理法

上影洗印車間萬國強　1958　洗印輪訓班　油鈔　簡　B5　22 頁 **C-etc-1**

彩色活動馬斯克簡介

油鈔　簡　B5　31 頁 **C-etc-2.1~8**

電影半路出家記 B

歐陽予倩　1962　中國電影出版社　排　洋　B6　61 頁

※ 中央廣播事業局資料室舊藏 **C-etc-3**

湖南省文化系統先進集體和先進工作者代表大會發言材料 電影部分

1960　大會秘書處編印　排　洋　B5　58 頁

C-etc-4

電影放映戰線上的紅旗

1960 序　四川省電影公司編印　排　洋　B6　101 頁 **C-etc-5**

電影放映

1964　排　散　B5　4 頁

※ 電影《光輝的節日——一九六四年國慶》、《一個優秀的放映隊》、《我們村裡的年輕人》介紹

C-etc-6

[電影技術解說]

油鈔　散　B5

※ 僅存 27 ～ 28 頁 **C-etc-7**

北京電影演員劇團 方針、任務、機構、編製方案 附：學習計劃、學習辦法

1953　油排　簡　B5　18 頁 **C-etc-8**

“風從東方來”特技工作心得

長影特技間　1962　油鈔　簡　B5　23 頁**C-etc-9**

關於伊思曼柯達新八毫米

技術部研究室　小林行雄　油排　簡　B5　2 頁

C-etc-10.1~11

科教片 觀眾反映 1964 年第 2 輯

1964　北京科學教育電影製片廠宣傳發行科編印　油排　簡　B5　52 頁

※ 中國藝術研究院資料館舊藏 **C-etc-11**

科教片 觀眾反映 1964 年第 3 輯

1964 北京科學教育電影製片廠 油排 簡 B5 56 頁 **C-etc-12**

觀眾反映 1965 年第三輯附件，四川調查組第一批材料

1965 北京科學教育電影製片廠宣發科編印 油排 簡 B5 15 頁 **C-etc-13**

故事片 槐樹莊 農村放映隊宣傳參考材料

1963 江蘇省電影發行放映公司編印 油鈔 簡 B5 11 頁 **C-etc-14**

中國幻燈公司計畫彙集 幻燈業務學習資料

1952 油鈔 簡 B5 33 頁 **C-etc-15**

國外電影參考資料，單行本，第 6 號 美國坦坡大學的電影生產設施

北京電影學院編譯 1978 油排 簡 B5 8 頁 **C-etc-16**

國際攝影資料摘編 日本幾個主要的攝影團體

1962 中國攝影學會理論研究部編印 油排 簡 B5 12 頁 **C-etc-17**

北影技術資料第 8 號 TK830U 型格侖迪格磁帶錄音機說明書

吳定洪譯 油排 簡 B5 34 頁 **C-etc-18**

文學劇本及其特點

著者：Б.Г. 伊萬諾夫，譯者：裴未如、曹仲文，校著：梅文 北京電影學院 油排 簡 B5 26 頁

※ 僅存 1 ～ 26 頁 **C-etc-19**

[影片成本計算、目錄]

鈔 散 B5 2 頁 **C-etc-18**

7. 廣播

春聯介紹 一～五

鈔 簡 B5 18 頁

※1：附介紹詞殘稿一頁，4：第缺 17 頁，5：附廣播審批、書信一封 **B-1.1~5**

“燈謎知識”播講提綱

鈔 簡 B5 2 頁

※ 附審批 **B-2**

廣播電視資料 第 1 號至 24 號總目錄

廣播事業局研究室編印 1965 排 簡 B5 32 頁 **B-3**

《今晚八點半》節目稿簽

鈔 簡 B5 3 頁

※ 三種 **B-4**

前言、後記、內容提要中的問題

1959 油鈔 簡 B5 7 頁 **B-5**

深縣抗日時期群眾武裝鬥爭史 回憶

1984　油排　簡　B5　15 頁　**B-6**

聽者來信匯編　第十、十一期

1983　油排　簡　B5　14 頁

※ 附廣播審批　**B-7**

8. 文史哲

川藏遊蹤彙編

中央民族學院圖書館編　1981　油鈔　簡　B5　126 頁

※《西輶日記》、《使廓紀略》、《爐察道里考》、《川藏哲印水陸記異》　**L-1**

新群文藝叢書　嚎呼

沙汀　1946　新群出版社　排　洋　B6　87 頁

※《訪問》、《范老老師》、《呼嚎》、《蘇大個子》、《催糧》、《煩惱》　**L-2**

文藝作品選第二輯　六十五夜

風章等著　作家出版社　排　洋　B6　37 頁

※《六十五夜》、《生龍活虎》、《"躍進"號的誕生》　**L-3**

秦兆陽言論　第二輯

1958　排　簡　B5　61 頁　**L-4**

熱愛我們的祖國

馬哲　1951　華南人民出版社　排　洋　B6　68 頁　**L-5**

肖洛霍夫言論選輯　第二部分，赫魯曉夫修正主義時期（下）

外國文學研究所資料編輯室，北京師範大學外國問題研究所，編印　1966　排　簡　洋　61 頁 **L-6**

9. 其他

北京市文化處一九五四年第三季度工作總結

1954　油排　簡　B5　10 頁　**Z-1**

第二批全國重點文物保護單位名單　草案

油排　散　B5　4 頁　**Z-2**

第二批全國重點文物保護單位名單　草案

油排　散　B5　7 頁　**Z-3**

關於博物館和文物工作的幾點意見　草稿

1962　油排　散　B5　5 頁　**Z-4**

關於一九六七年國慶節文藝活動計劃安排　草稿

油鈔　簡　B5　6 頁　**Z-5**

國慶節外賓情況彙報　第十六號

1954　排　散　B5　7 頁

※ 蓋「國慶節外賓接待委員會辦公室」印　**Z-6**

[湖南文藝工作介紹]

簡　B5　28 頁

※《林海中的輕騎兵 —— 介紹江華縣電影隊》、《為三湘生色的省湘劇團》、《群眾行的革命的文化運動的旗幟 —— 衡山縣的群眾文藝工作》、《一面永不褪色的紅旗 —— 衡陽縣英陂公社星光俱樂部》、《電力戰線上的文化勁旅 —— 衡陽電廠的宣傳文化工作》、《公社書店一枝花 —— 衡陽縣大浦公社書店的工作》、《躍進中圖書發行工作的紅旗 —— 道縣新華書店的工作經驗》 **Z-7**

[美術出版目錄]

排　簡　B6　38 頁

※ 僅存 5 ～ 42 頁 **Z-8**

三年來東北文藝工作總結　草稿

1953　油排　簡　B4　8 頁 **Z-9**

[書信]

鈔　簡　B5　1 頁 **Z-10**

雙比　劇本 B

相玉蘭等著　1958　河北人民出版社　排　洋　B6　38 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏　評劇《為誰勞動為誰幹》、獨幕話劇《雙比》、獨幕話劇《躍進之花》、小評劇《鐘聲響了》 **Z-11**

小劇本　1959 年 19 期 B

1959　排　洋　B6　33 頁

※ 中央人民廣播電台音樂部資料室舊藏 **Z-12**

[1950 年代外國會議出席者名單]

排　簡　B5　12 頁

※ 僅存 130 ～ 142 頁 **Z-13**

藝術研究通訊　13，慶祝建國十周年

中國藝術科學研究院編　1959　排　洋　B5　28 頁 **Z-14**

中文提要

道情皮影戲在陝西省南部地區的分布與傳播

山下　一夫

陝西省南部地區有兩種道情皮影戲：“商洛道情”和“安康道情”。筆者通過分析，證明兩者均來自關中地區。關中地區道情皮影戲現在已不存在了，可是過去卻流傳得很廣泛，禮泉縣的弦板腔皮影戲便是她的後裔；富平縣的阿宮腔皮影戲也在其形成過程中曾經受到她的影響。後來隨著碗碗腔皮影戲的流行，舊有的老腔皮影戲和道情皮影戲漸漸地消失，形成了陝西省幾種皮影戲目前的分布情況。

拉戲的出現——關於民國前期音響享受的考察

尾高 曉子

拉戲是拉奏弦樂器來模擬人聲的一種的器樂。它不僅模仿京劇各種行當的聲調惟妙惟肖，還能模仿其他地方戲以及曲藝等聲調。它很可能跟華北地區的咔戲——以器樂音響模仿演唱的民間藝術——的傳統有密切關係。拉戲曾經盛行於民國前期南北大城市的遊藝場所，尤其在20世紀20年代的上海，各種業餘團體的娛樂活動當中也很受歡迎。它的確體現以京劇為首的當時民間藝術繁榮。

北京潘家園所得戲曲、曲藝、電影資料目錄　附：解說

千田　大介

筆者於2000年代初期，在北京潘家園舊貨市場購得多部有關戲曲、曲藝、電影等的文獻資料。其大部分為解放後十七年期的各種刊物，其中不乏有研究價值的資料，如：地方戲傳統劇目的整理本、十七年期新編地方戲曲劇本、革命樣板戲等新編戲的未定稿、電影科教片劇本，以及中央人民廣播電台播送審查單等等。

執筆者紹介

尾高　暁子（おだか　あきこ）

【生年】1960 年

【最終学歴】東京芸術大学大学院修士課程修了

【現職】東京芸術大学音楽学部講師

【論著】「せめぎあう多民族の文化――中国の伝統歌謡と音楽」（櫻井哲男他編『諸民族の音楽を学ぶ人のために』、京都、世界思想社、2005）、「従黎錦暉編的『倹徳歌集』来看 1930 年代上海」（『中日音楽比較国際学術研討会論文集』2007 年 9 月 8 日－ 11 日、於武漢音楽学院開催、2007）、「両大戦間期の中日ハーモニカ界にみる大衆音楽の位置づけ」（『東京芸術大学音楽学部紀要』第 32 集 、2008 年 3 月刊行予定）

川　浩二（かわ　こうじ）

【生年】1976 年

【最終学歴】早稲田大学大学院文学研究科中国語・中国文学専攻博士後期課程中退

【現職】早稲田大学講師

【論著】「『通俗皇明英烈伝』と和刻本『晩笑堂竹荘画伝』」（『アジア遊学』第 105 号、2007 年 12 月）、「『通俗皇明英烈伝』の「通俗」――歴史小説『英烈伝』の日本における受容から――」（『中国文学研究』第三十一期、2005 年 12 月）、「一矢、晴を貫く――史書『皇明通紀』と歴史小説『英烈伝』の語り――」（『中国文学研究』第三十期、2004 年 12 月）

千田　大介（ちだ　だいすけ）

【生年】1968 年

【最終学歴】早稲田大学大学院文学研究科中国文学専攻博士課程中退

【現職】慶應義塾大学経済学部准教授

【論著】「北京西派皮影戯をめぐって」（科研費報告書『近代中国都市芸能に関する基礎的研究』、2001 年 3 月）、「乾隆期の観劇と小説～歴史物語の受容に関する試論～」（『中国文学研究』第二十四期、1998 年 12 月）、『チャイニーズ・カルチャー・レビュー』1 ～ 4（共同監訳、好文出版、2005 ～ 2007 年）

氷上　正（ひかみ　ただし）

【生年】1953 年

【最終学歴】東京都立大学人文研究科中国文学専攻博士課程単位取得満期退学

【現職】慶應義塾大学総合政策学部教授

【論著】『中国の禁書』（共訳、新潮社、1994 年 9 月）、『性愛の中国史』（共訳、徳間書店、2000 年 6 月）、『インテンシブ中国語――集中型中国語講座』（共著、東方書店、2000 年 10 月）

山下　一夫（やました　かずお）

【生年】1971 年

【最終学歴】慶應義塾大学文学研究科中国文学専攻博士課程単位取得退学

【現職】神田外語大学外国語学部専任講師

【論著】「道情戏中韩湘子故事的发展与传播」（『赛社与乐户文集――“长治赛社与乐户国际学术研讨会”论文集』、2007 年）、「部陽木偶戯初探」（『中国都市芸能研究』第五輯、2006 年）、「日本學者研究中国皮影戯的現状與問題」（『民間文學研究通訊』創刊號、2005 年）

中国都市芸能研究会 2006 年度活動記録

2006 年 4 月 16 日

2006 年度春期関東打合会

ところ：慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎 402 研究室

内容：本年度研究予定等に関する打ち合わせ

2006 年 5 月 5 日～ 5 月 6 日

2006 年度春季大会

ところ：蓼科山荘

内容：「張次渓編『清代燕都梨園史料』正続編注釈に関して」（藤野）、「陝西省洋県祈子山廟会ノート」（山下）

2006 年 7 月 24 日

華北プロジェクト夏期現地調査打合会

ところ：早稲田大学西早稲田キャンパス 8 号館 6 階 624 室　平林研究室

内容：夏期現地調査準備

2006 年 8 月

華北プロジェクト夏期現地調査

2006 年 8 月 23 日～ 9 月 1 日

内容：陝西・河南皮影戯調査

参加者：氷上・千田・山下・川・戸部

2006 年 9 月 12 日

2006 年度関西第 1 回例会（科研費特定領域東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成――寧波を焦点とする学際的創生：民俗信仰班 2006 年度第 2 回研究例会、と共催）

ところ：関西大学千里山キャンパス以文館 3Ｆアジア交流文化研究センター（CSAC）プロジェクト研究室（2）

内容：「招宝山と招宝七郎神」（二階堂）、「大規模漢籍データベースセミナー」（二階堂）

2006 年 12 月 17 日

2006 年度冬季大会および科研費研究「近現代華北地域における伝統芸能文化の総合的研究」合同研究集会

ところ：関西学院大学大阪梅田キャンパス K.G. ハブスクエア大阪

内容：「新中国建国前後の上海戯曲関係資料について」（藤野・三須）、「部陽木偶戯の演目と上演形態について」（山下）